

亀岡市
子どもたちのより良い教育環境について
考えるアンケート調査

集計結果

目 次

I. 調査実施概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査期間	1
3. 調査設計・調査方法	1
4. 調査項目	2
5. 回収結果	3
6. 報告書記載事項について	3
II. 回答者の属性	4
1. 市民調査の回答者属性	4
2. 保護者調査の回答者属性	6
3. 学校関係者調査の回答者属性	7
III. 調査結果	9
1. 学級人数・学級数について 〈市民調査・保護者調査・学校関係者調査〉	9
1-1 学級人数・学級数の現状	9
1-2 理想の学級人数・学級数	17
2. 学校規模による強み・弱みについて 〈学校関係者調査〉	21
3. 通学時間等について 〈市民調査・保護者調査〉	22
3-1 小学校の通学時間等	22
3-2 中学校の通学時間等	24
4. 地域と学校の関わりについて 〈市民調査・保護者調査・学校関係者調査〉	26
4-1 学校への愛着	26
4-2 小学校・中学校が地域に果たしている役割	27
5. 学校配置について 〈市民調査・保護者調査・学校関係者調査〉	31
6. 学校生活の状況について 〈保護者調査〉	34

別 紙

別紙1：学校規模による強み・弱みについての考え（学校関係者調査）

I. 調査実施概要

1. 調査目的

今後の「子どもたちのより良い教育環境づくり」を具体的に検討するための資料とすることを目的として実施した。

2. 調査期間

平成26年11月19日～平成26年12月10日

3. 調査設計・調査方法

表 1 調査対象者および調査方法

調査対象	市民	保護者（＋児童・生徒）	学校関係者
	市内在住の 20歳以上の男女	市内18小学校(2年生・5年生)、 8 中学校 (2年生) 各校 1 クラス	市内18小学校・8 中学校 教員・校長・教頭・教務・そ の他 各校教職員の半数
標本数	1,800人	1,030人	295人
抽出台帳	住民基本台帳		
抽出方法	無作為抽出	当該クラス全員	各学校で任意抽出
方法	郵送配布・回収	学校を通じて配布・回収	学校を通じて配布・回収
督促状	無し	無し	無し

4. 調査項目

表 2 調査項目

調査項目		市民	保護者	学校関係者
①属性	回答者の性別・年齢	○		
	子どもの学年		△※1	
	回答者の小学校・中学校	○	△※1	△※1
	居住地の小学校への在校有無	○		
	同居家族の子ども有無	○		
	現在の役職			○
	担任の有無			○
②学級人数・学級数について	現在の児童数・生徒数		○	
	児童数・生徒数の適正状況		○	○
	人数の適正状況（子ども意見※2）		○	
	現在の学級数		○	
	学級数の適正状況		○	○
	学級数の適正状況（子ども意見）		○	
	理想の児童数・生徒数	○	○	○
	理想の学級数	○	○	○
③学校規模による強み・弱みについて	児童・生徒の立場、教員の立場から考える大規模校、小規模校の強み・弱み（自由記述）			○
④通学時間等について	現在の通学距離		○	
	現在の通学時間		○	
	現在の通学方法		○	
	理想の通学時間	○		
	理想の通学方法	○	○	
⑤地域と学校の関わりについて	小学校・中学校への愛着	○	○	
	果たしている学校の役割	○	○	○
	特に重要だと思う学校の役割	○		○
⑥学校配置について	学校配置の見直しの必要性	○	○	○
	現在の学校配置の適正状況	○	○	○
	見直す上で配慮すべきこと		○	
⑦学校生活の状況について	学校生活の状況（子ども意見）		○	
⑧教育全般について	教育環境や市の教育等に関する意見（自由記述）	○	○	○

※1 △は、調査票回収時に把握

※2 子ども意見は、保護者が子どもに聞き取り記入

5. 回収結果

表 3 有効回答数および有効回収率

	標本数 (人)	有効回収数 (件)	有効回収率 (%)
市民	1,800	625	34.7
保護者	1,030	789	76.6
学校関係者	295	292	99.0

6. 報告書記載事項について

- ・図表中の「N」は、各設問の集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出している。
- ・比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（副問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。
- ・比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。そのため、1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）でも、四捨五入の関係上各選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、比率の合計は、100.0%を超える場合がある。
- ・本文やグラフ・表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。
- ・グラフ中の比率表示は、0.0%を省略している場合がある。

Ⅱ. 回答者の属性

1. 市民調査の回答者属性

<市民>問1 性別・年齢 ①性別(1つ)、②年齢(1つ)

○市民調査の回答者性別は、「女性」が6割、「男性」が4割となっている。

○市民調査の回答者年齢は、「60歳代」が最も多く24.0%、次いで、「70歳代」(19.0%)、「50歳代」(16.3%)となっている。

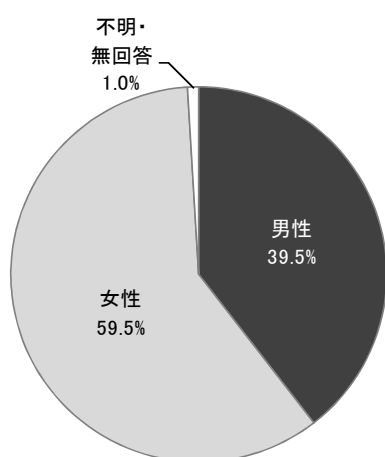


図 1 回答者の性別<市民調査>

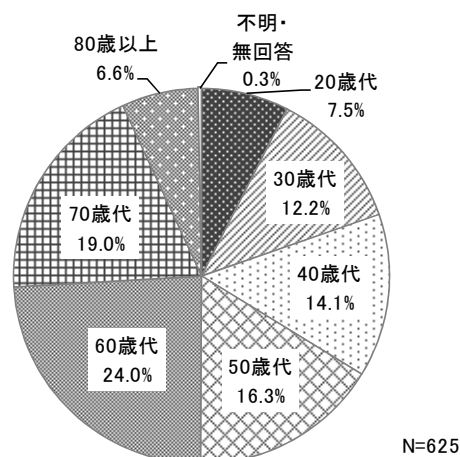


図 2 回答者の年齢<市民調査>

<市民>問2 居住小学校区 ①現在お住まいの小学校区(1つ)

○市民調査の居住している小学校区は、「亀岡」が最も多く16.6%、次いで、「安詳」(12.8%)、「つつじヶ丘」(11.7%)となっている。

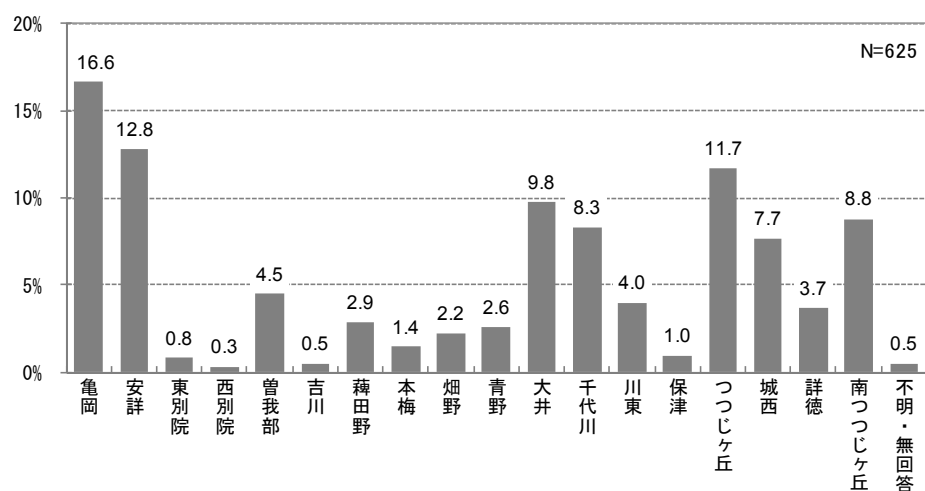


図 3 回答者の居住小学校区<市民調査>

<市民>問2 ②あなたは、現在お住まいの地域の小学校に在籍しましたか？(1つ)

○市民調査の回答者が居住している小学校に在籍したか否かは、「在籍した」が27.2%となっている。

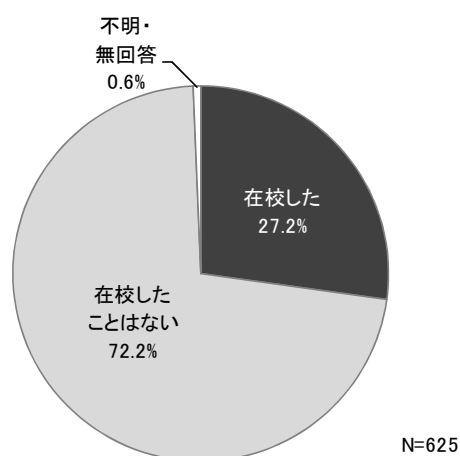


図 4 居住地の小学校への在籍有無<市民調査>

<市民>問3 同居家族に中学生までのお子様はいらっしゃいますか。(1つ選び、「いる」場合は()内のあてはまるものすべてに○)

○市民調査の同居家族の子ども有無は、「いる」が26.1%となっている。

○子どもが「いる」と回答した人の同居している子どもの年代は、「小学生」が49.7%、「未就学児」が36.2%、「中学生」が31.9%となっている。

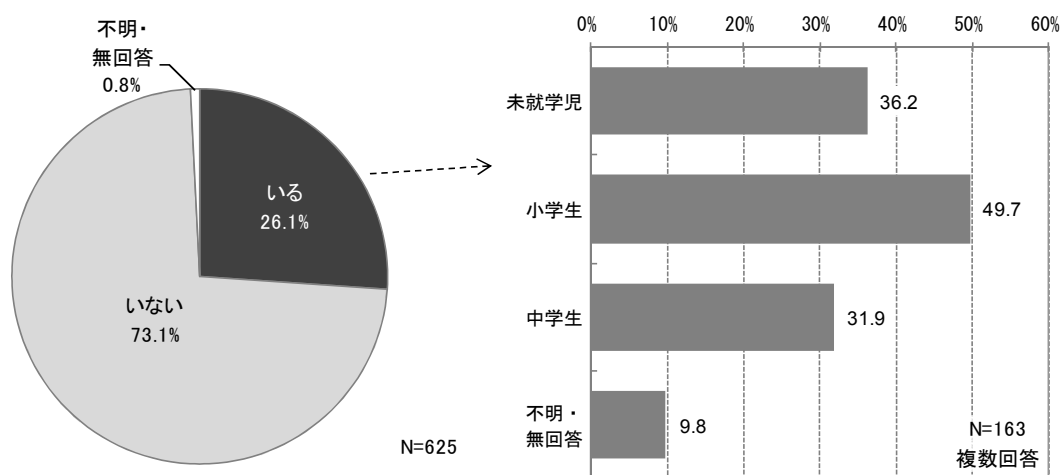


図 5 同居家族の子ども有無<市民調査>

2. 保護者調査の回答者属性

＜保護者＞ 子どもの学年

○保護者調査の学年は、「小学5年生」が約55%、「小学2年生」が約45%となっている。

【小学校】

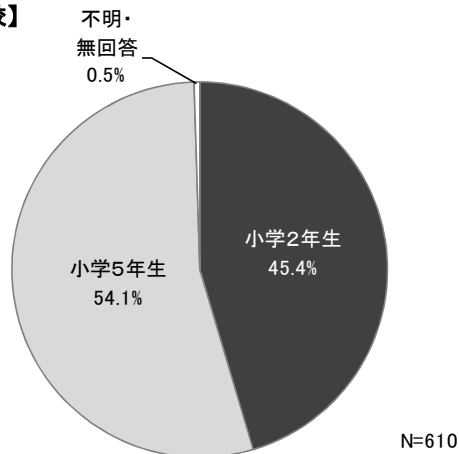


図 6 子どもの学年＜保護者調査＞

＜保護者＞ 子どもが通学する学校

○子どもが通学する小学校は、「大井小学校」が最も多く9.2%、次いで、「安詳小学校」(8.5%)、「曾我部小学校」(8.5%)となっている。

○子どもが通学する中学校は、「亀岡中学校」と「大成中学校」が15.6%と多くなっている。

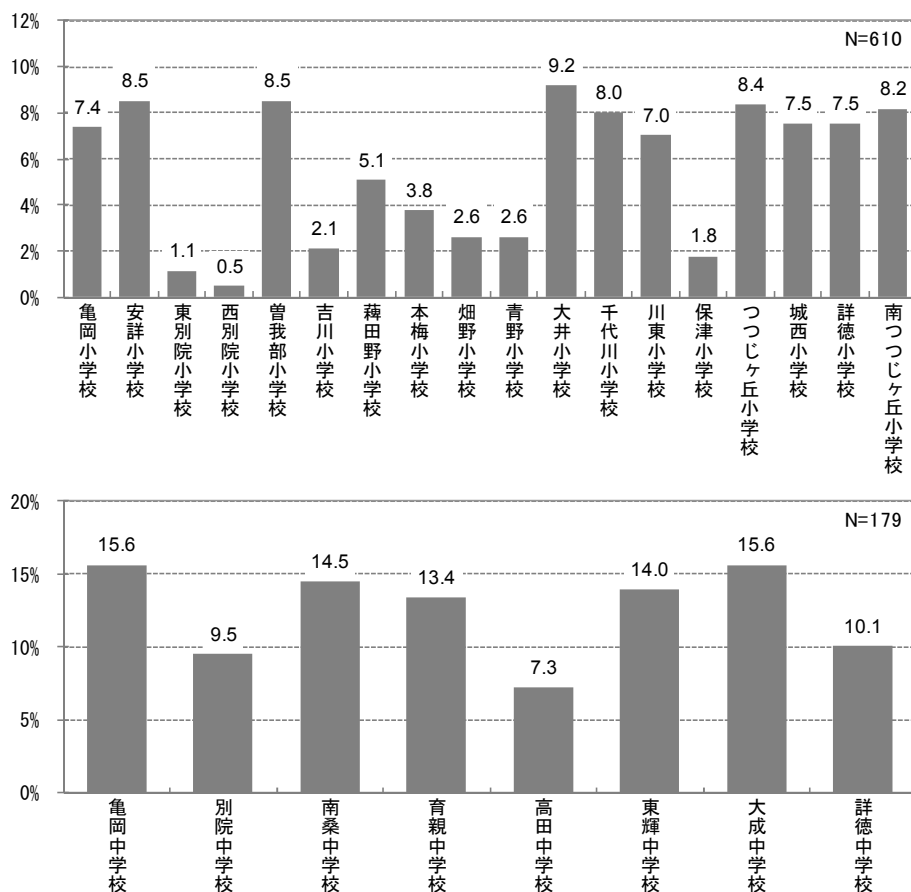


図 7 子どもが通学する学校＜保護者調査＞

3. 学校関係者調査の回答者属性

＜学校＞ 学校

○学校関係者調査の在籍する小学校は、「安詳小学校」が最も多く11.0%、次いで、「千代川小学校」(10.5%)、「亀岡小学校」(9.9%)、「つつじヶ丘小学校」(9.9%)となっている。

○在籍する中学校は、「東輝中学校」が最も多く20.7%、次いで、「亀岡中学校」(18.9%)となっている。

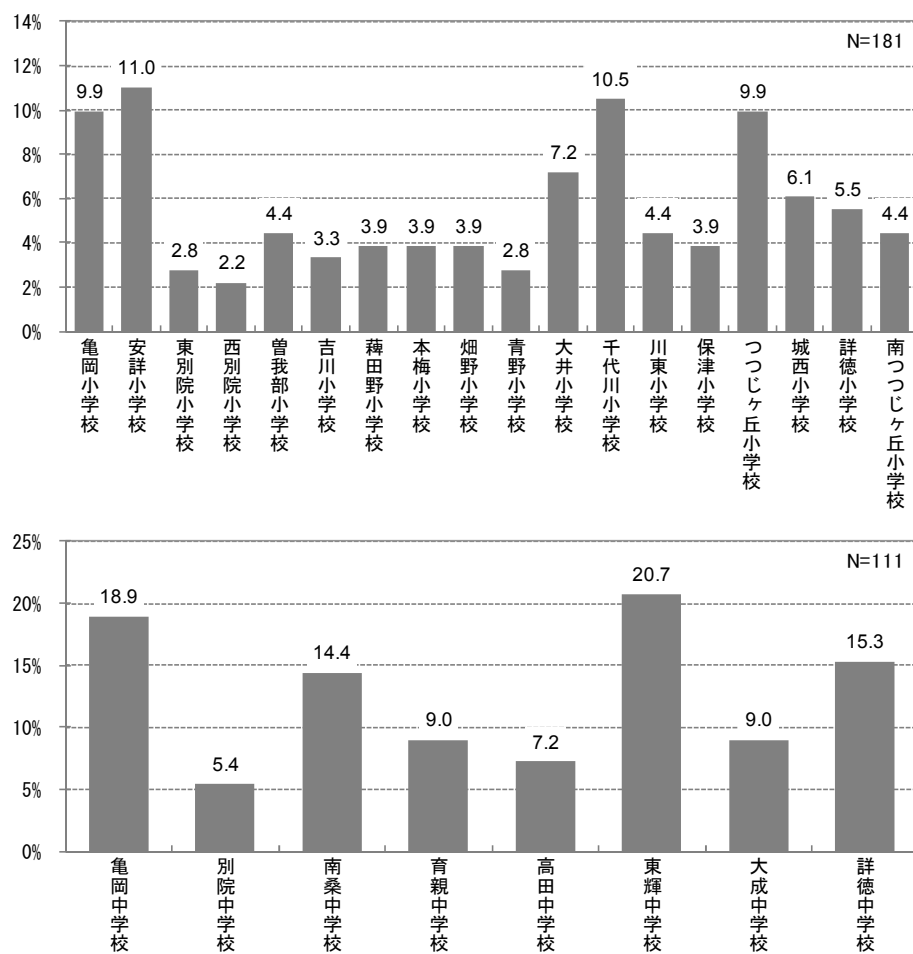


図 8 在籍する学校＜学校関係者調査＞

＜学校＞問1 現在の立場についてお答えください。 ① 役職(1つ)

○学校関係者調査の現在の役職は、小学校、中学校ともに教諭が最も多く、それぞれ約7割、約8割を占めている。

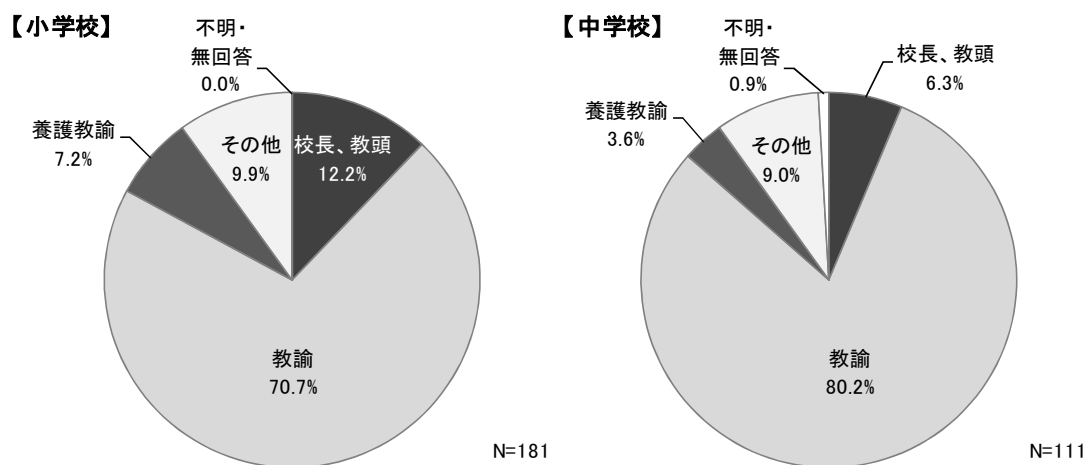


図 9 現在の役職＜学校関係者調査＞

＜学校＞問1 ② 担任の有無(1つ)

○学校関係者調査の担任の有無は、「担任有り」が小学校は60.8%、中学校は44.1%となっている。

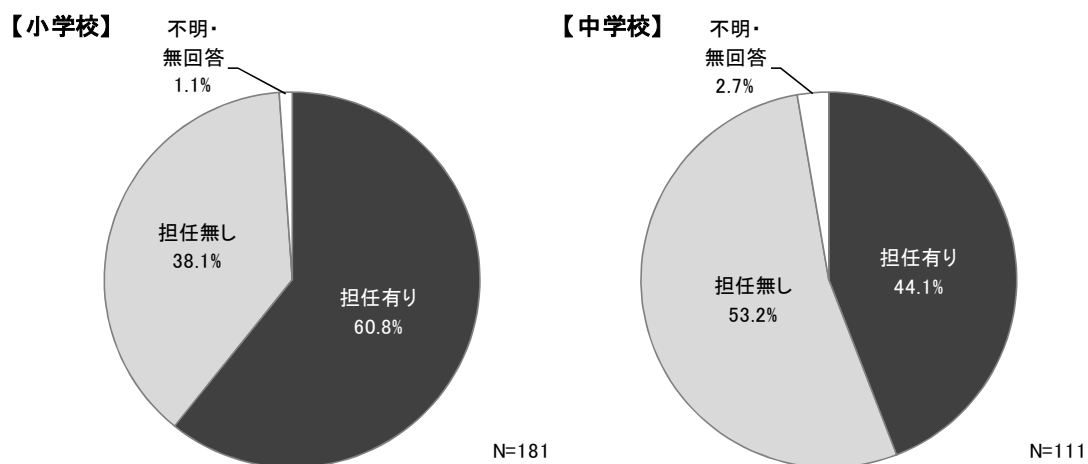


図 10 担任の有無＜学校関係者調査＞

Ⅲ. 調査結果

1. 学級人数・学級数について 〈市民調査・保護者調査・学校関係者調査〉

1-1 学級人数・学級数の現状

(1) 現在の児童数・生徒数

〈保護者〉問1 あなたのお子様の学級の児童数は何人ですか？(1つ)

○現在の小学校の1学級あたりの児童数は、「30～34人」が最も多く31.1%、次いで、「25～29人」(27.7%)となっており、25～34人が6割弱を占める。

○中学校の1学級あたりの生徒数は、「35～39人」が最も多く32.4%、次いで、「30～34人」(29.1%)となっており、30～39人が6割強を占める。

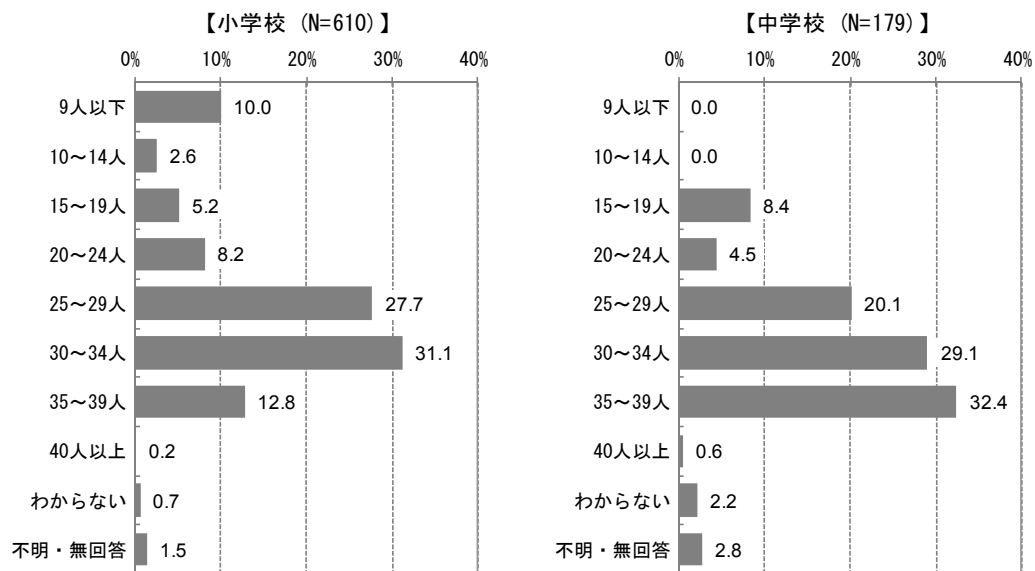


図 11 現在の1学級あたりの児童数・生徒数〈保護者調査〉

(2) 現在の児童数・生徒数の適正状況

＜保護者/子ども聞き取り＞問14 あなたの学級の児童数・生徒数についてどのように感じますか？
(1つ)

＜保護者＞問2 あなたのお子様の学級の児童数・生徒数について、どのように感じておられますか？(1つ)

＜学校＞問2 あなたが勤務する学校の1学級あたり児童数・生徒数について、どのように感じておられますか？(1つ)

- 現在の小学校の児童数の適正状況は、【子ども（※保護者による聞き取り）】の7割弱、【保護者】の6割弱が「ちょうど良い」と回答している。一方、【学校関係者】では、5割弱が「もっと少ない方が良い」と回答している。
- 実際の小学校の1学級あたりの児童数との関係でみると、15人未満では「もっと多い方が良い」の割合が高く、35～39人では「もっと少ない方が良い」の割合が高くなっている。
- 現在の中学校の生徒数の適正状況は、【子ども（※保護者による聞き取り）】の8割弱、【保護者】の6割強が「ちょうど良い」と回答している。一方、【学校関係者】では、6割弱が「もっと少ない方が良い」と回答している。
- 実際の中学校の1学級あたりの生徒数との関係でみると、20人未満では「もっと多い方が良い」の割合が高くなっている。

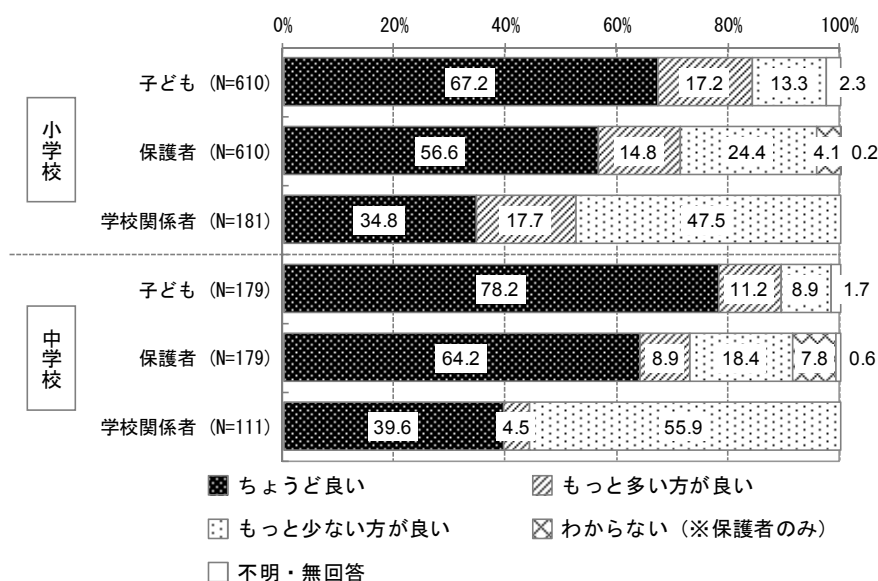


図 12 現在の1学級あたりの児童数・生徒数の適正状況＜保護者調査・学校関係者調査＞

表 4 実際の1学級あたりの児童数・生徒数と適正状況の関係<保護者調査>

【小学校】	件数	ちょうど良い	もっと多い 方が良い	もっと少ない 方が良い	わからない	不明・無回答
9人以下	61	18.0 %	77.0 %	0.0 %	4.9 %	0.0 %
10～14人	16	31.3 %	62.5 %	0.0 %	6.3 %	0.0 %
15～19人	32	50.0 %	43.8 %	3.1 %	3.1 %	0.0 %
20～24人	50	74.0 %	16.0 %	6.0 %	2.0 %	2.0 %
25～29人	169	81.7 %	3.0 %	12.4 %	3.0 %	0.0 %
30～34人	190	56.3 %	2.6 %	38.4 %	2.6 %	0.0 %
35～39人	78	29.5 %	0.0 %	62.8 %	7.7 %	0.0 %
40人以上	1	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
わからない	4	25.0 %	0.0 %	0.0 %	75.0 %	0.0 %
不明・無回答	9	66.7 %	11.1 %	22.2 %	0.0 %	0.0 %
合 計	610	56.6 %	14.8 %	24.4 %	4.1 %	0.2 %

【中学校】	件数	ちょうど良い	もっと多い 方が良い	もっと少ない 方が良い	わからない	不明・無回答
9人以下	0	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
10～14人	0	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
15～19人	15	40.0 %	46.7 %	0.0 %	13.3 %	0.0 %
20～24人	8	87.5 %	12.5 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
25～29人	36	77.8 %	13.9 %	2.8 %	5.6 %	0.0 %
30～34人	52	75.0 %	1.9 %	17.3 %	5.8 %	0.0 %
35～39人	58	50.0 %	0.0 %	39.7 %	8.6 %	1.7 %
40人以上	1	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
わからない	4	50.0 %	0.0 %	0.0 %	50.0 %	0.0 %
不明・無回答	5	80.0 %	20.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
合 計	179	64.2 %	8.9 %	18.4 %	7.8 %	0.6 %

＜保護者/子ども聞き取り＞副問「2」又は「3」と答えた方におたずねします。それはなぜですか？ ※自由記述整理中

＜保護者＞副問「もっと多いほうがよい」又は「もっと少ない方がよい」と回答された方におたずねします。主な理由は何でしょう？（2つまで）

＜学校＞副問「もっと多いほうがよい」又は「もっと少ない方がよい」と回答された方におたずねします。主な理由は何でしょう？（2つまで）

○児童・生徒数が増える方がよいと思う理由は、【保護者】、【学校関係者】ともに「多様な考え方に触れ、社会性や協調性が身につく」が最も多くなっている。次いで、小学校の【保護者】、【学校関係者】、中学校の【学校関係者】では「クラス内の人間関係に変化が持てる」が多くなっている。一方、中学校の【保護者】では「競争意識が働き、運動や学習意欲が向上する」が多くなっている。

○もっと少ない方がよいと思う理由は、【保護者】、【学校関係者】ともに「児童・生徒の一人ひとりに教職員の目が届きやすく、きめ細やかな指導が行える」が最も多くなっている。

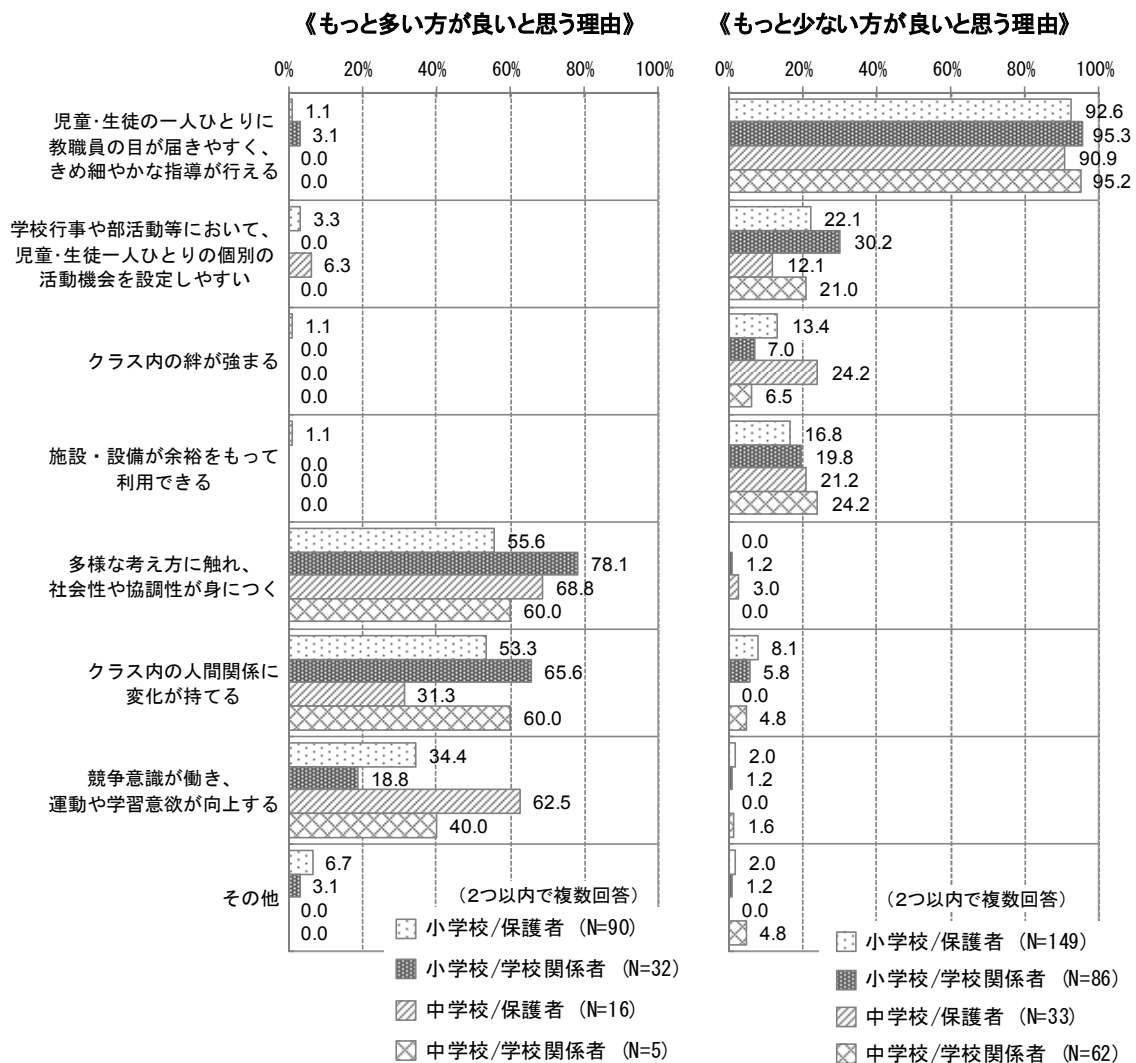


図 13 児童数・生徒数が『多い・少ない方がよい』と思う理由＜保護者調査・学校関係者調査＞

(3) 現在の学級数

＜保護者＞問4 あなたのお子様の学年の学級数は何学級ですか？(1つ)

○現在の小学校の1学年あたりの学級数は、「2～3学級」が最も多く44.4%、次いで、「1学級」(36.2%)となっており、3学級以下が約8割を占める。

○中学校の1学年あたりの学級数は、「4～6学級」が最も多く58.1%、次いで、「2～3学級」(23.5%)となっている。

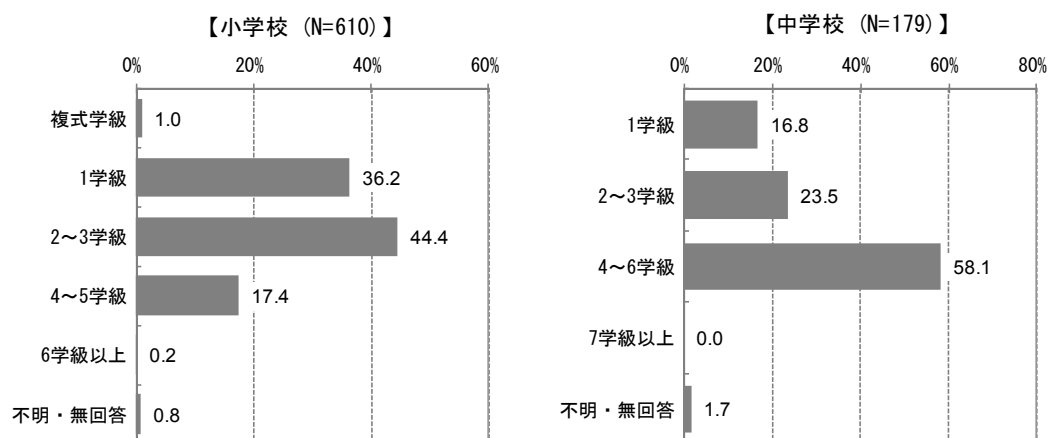


図 14 現在の1学年あたりの学級数＜保護者調査＞

(4) 現在の学級数の適正状況

＜保護者/子ども聞き取り＞問15 あなたの学年の学級数についてどのように感じますか？(1つ)

＜保護者＞問5 あなたのお子様の学年の学級数について、どのように感じておられますか？(1つ)

＜学校＞問4 あなたが勤務する中学校の学級数についてどのように感じておられますか？(1つ)

- 現在の小学校の学級数の適正状況は、【子ども（※保護者による聞き取り）】の8割弱、【保護者】、【学校関係者】の5割強が「ちょうど良い」と回答している。
- 【学校関係者】では、「もっと少ない方が良い」という回答が2割弱あり、その割合は【子ども】、【保護者】に比べて高くなっている。
- 実際の小学校の学級数との関係でみると、複式学級、1学級では「もっと多い方が良い」の割合が高くなっている。
- 現在の中学校の学級数の適正状況は、【子ども（※保護者による聞き取り）】の約8割、【保護者】の5割強、【学校関係者】の6割弱が「ちょうど良い」と回答している。
- 【学校関係者】では、「もっと少ない方が良い」という回答が2割弱あり、その割合は【子ども】、【保護者】に比べて高くなっている。
- 実際の中学校の学級数との関係でみると、1学級では「もっと多い方が良い」の割合が高くなっている。

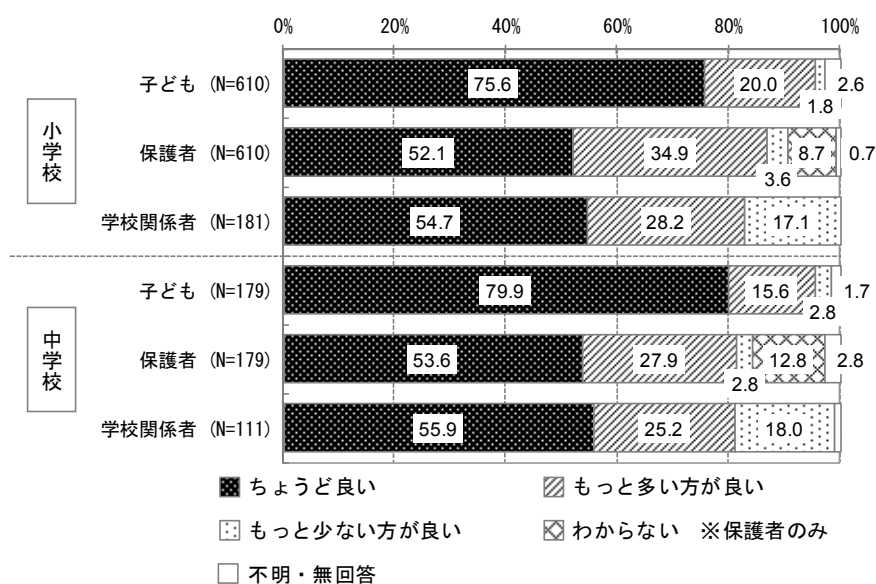


図 15 現在の1学年あたりの学級数の適正状況＜保護者調査・学校調査＞

表 5 実際の1学年あたりの学級数と適正状況の関係<保護者調査>

【小学校】	件数	ちょうど良い	もっと多い方が良い	もっと少ない方が良い	わからない	不明・無回答
複式学級	6	0.0 %	83.3 %	0.0 %	16.7 %	0.0 %
1学級	221	28.1 %	62.0 %	1.4 %	8.1 %	0.5 %
2～3学級	271	69.4 %	22.5 %	1.5 %	6.6 %	0.0 %
4～5学級	106	63.2 %	9.4 %	14.2 %	13.2 %	0.0 %
6学級以上	1	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
不明・無回答	5	0.0 %	0.0 %	0.0 %	40.0 %	60.0 %
合 計	610	52.1 %	34.9 %	3.6 %	8.7 %	0.7 %

【中学校】	件数	ちょうど良い	もっと多い方が良い	もっと少ない方が良い	わからない	不明・無回答
1学級	30	20.0 %	70.0 %	0.0 %	10.0 %	0.0 %
2～3学級	42	47.6 %	42.9 %	0.0 %	9.5 %	0.0 %
4～6学級	104	67.3 %	10.6 %	4.8 %	15.4 %	1.9 %
7学級以上	0	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
不明・無回答	3	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
合 計	179	53.6 %	27.9 %	2.8 %	12.8 %	2.8 %

＜保護者＞副問「もっと多いほうがよい」又は「もっと少ないほうがよい」と回答された方におたずねします。主な理由は何でしょう？（2つまで）

＜学校＞副問「もっと多いほうがよい」又は「もっと少ないほうがよい」と回答された方におたずねします。主な理由は何でしょう？（2つまで）

○学級数をもっと多い方がよいと思う理由は、【保護者】、【学校関係者】ともに「クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる」が最も多くなっている。次いで、「集団の中で、多様な考え方に触れ、社会性や協調性を身につけられる」となっている。また、中学校では「さまざまな種類の部活動が可能となり、選択の幅が広がる」も多くなっている。

○もっと少ない方がよいと思う理由は、【保護者】、【学校関係者】ともに「児童・生徒の一人ひとりに教職員の目が届きやすく、きめ細かな指導が行える」が最も多くなっている。また、学校関係者では「運動場・体育館などの施設や特別教室、教材備品など余裕をもって利用できる」も多くなっている。

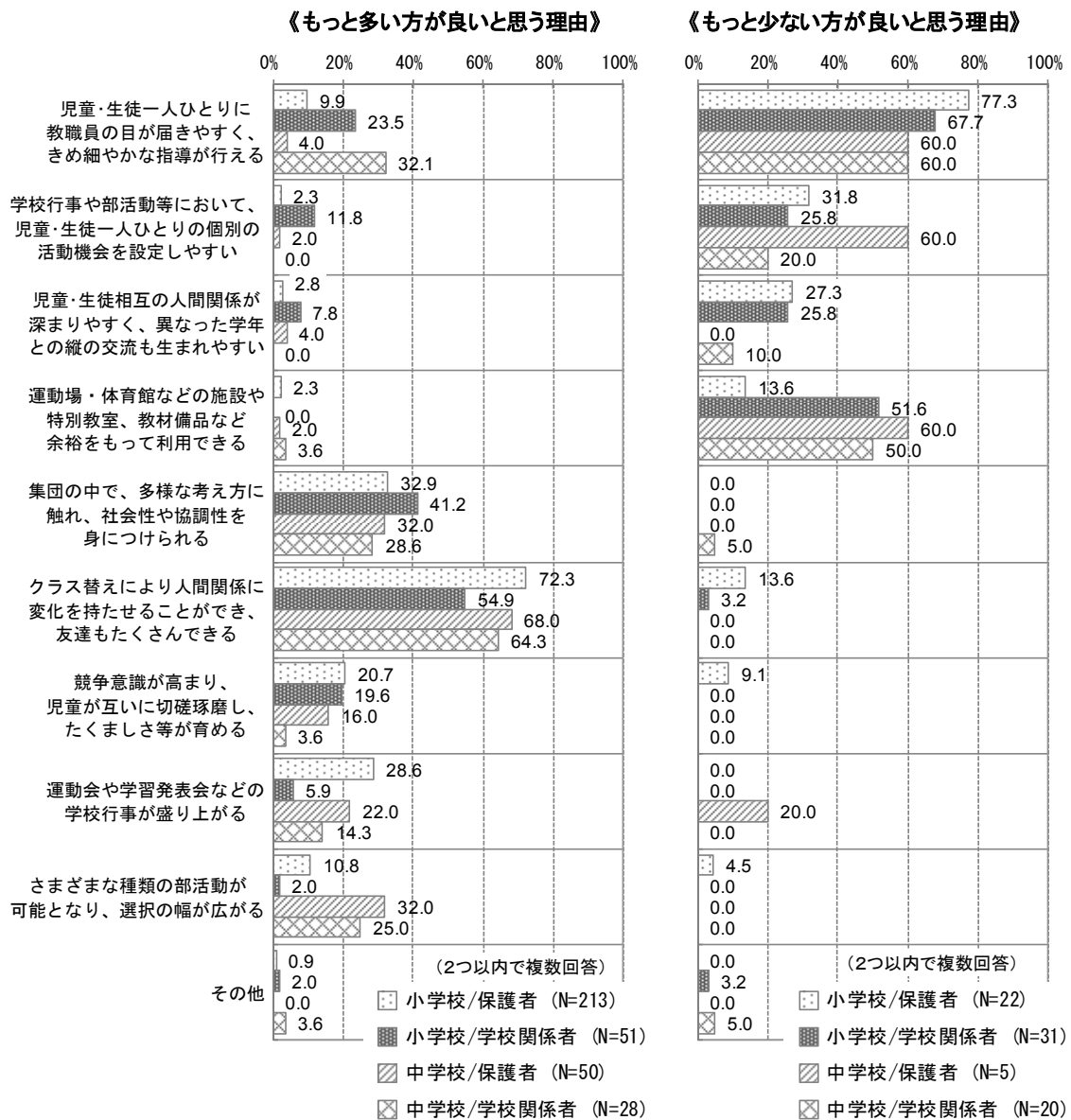


図 16 学級数が『多い・少ないほうが良い』と思う理由<保護者調査・学校関係者>

1-2 理想の学級人数・学級数

(1) 小学校の理想の児童数

＜市民＞問4 あなたが理想と思う、1学級あたりの児童数、1学年あたりの学級数をお答えください。
 ①小学校:1学級あたりの児童数(1つ)

＜保護者＞問3 あなたが理想と思う、小学校の1学級あたりの児童数は何人ですか？(1つ)

＜学校＞問3 あなたが理想と思う、1学級あたり児童数は何人ですか？(1つ)

○理想の小学校1学級あたりの児童数は、【市民】では「30～34人」(32.8%)と「25～29人」(32.2%)が同程度を占めている。また、【保護者】では「25～29人」が最も多く37.4%となっている。

○一方、【学校関係者】では「20～24人」(53.0%)が最も多く、【市民】、【保護者】に比べて、少ない人数の割合が高くなっている。

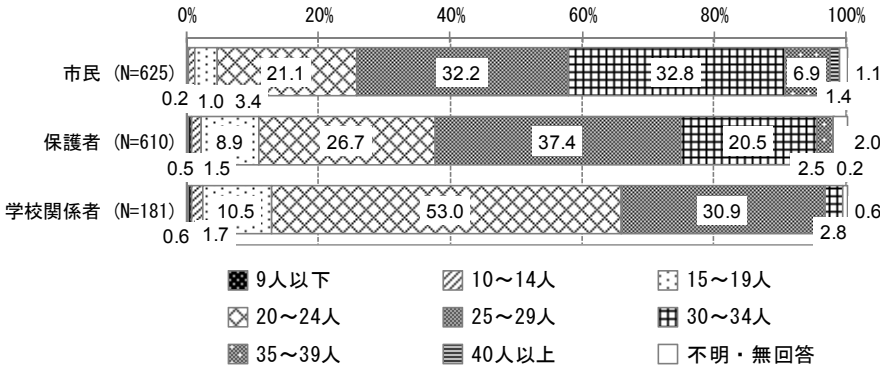


図 17 理想の小学校1学級あたりの児童数＜市民調査・保護者調査・学校関係者調査＞

(2) 小学校の理想の学級数

＜市民＞問4 あなたが理想と思う、1学級あたりの児童数、1学年あたりの学級数をお答えください。
②小学校:1学年あたりの学級数(1つ)

＜保護者＞問6 国の基準では、1学年2学級～3学級が望ましいとされていますが、あなたが理想と思う、小学校の1学年あたり学級数は何学級ですか？(1つ)

＜学校＞問5 あなたが理想と思う、1学年あたり学級数は何学級ですか？(1つ)

○理想の小学校1学年あたりの学級数は、【保護者】では「2～3学級」(73.3%)、【学校関係者】では「3学級」(56.4%)が最も多くなっている。

○また、【市民】でも「3学級」(44.5%)が最も多いが、4学級以上も4割弱を占めており、【保護者】、【学校関係者】に比べて、多学級の割合が高くなっている。

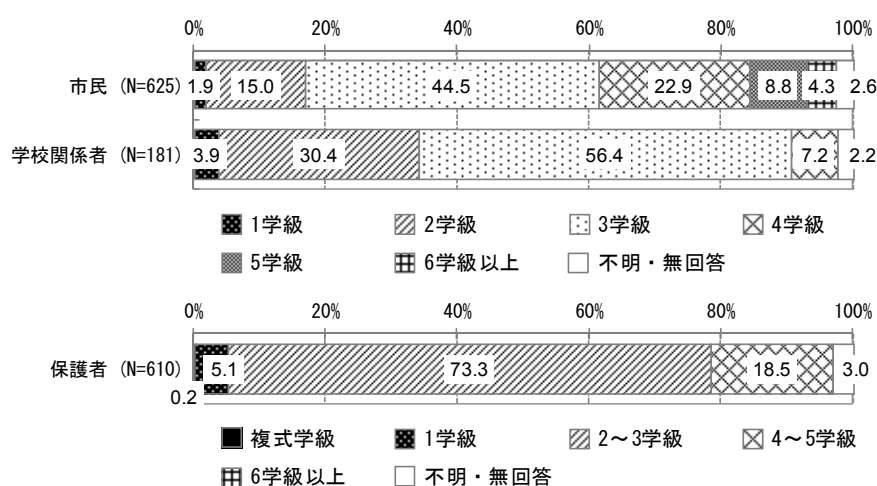


図 18 理想の小学校1学年あたり学級数＜市民調査・保護者調査・学校関係者調査＞

(3) 中学校の理想の生徒数

＜市民＞問4 あなたが理想と思う、1学級あたりの生徒数、1学年あたりの学級数をお答えください。
③中学校:1学級あたりの生徒数(1つ)

＜保護者＞問3 あなたが理想と思う、小学校の1学級あたりの生徒数は何人ですか？(1つ)

＜学校＞問3 あなたが理想と思う、1学級あたり生徒数は何人ですか？(1つ)

○理想の中学校の1学級あたり生徒数は、【市民】、【保護者】では「30～34人」が最も多く、それぞれ37.4%、35.2%となっている。

○一方、【学校関係者】では「25～29人」が最も多く45.9%となっている。

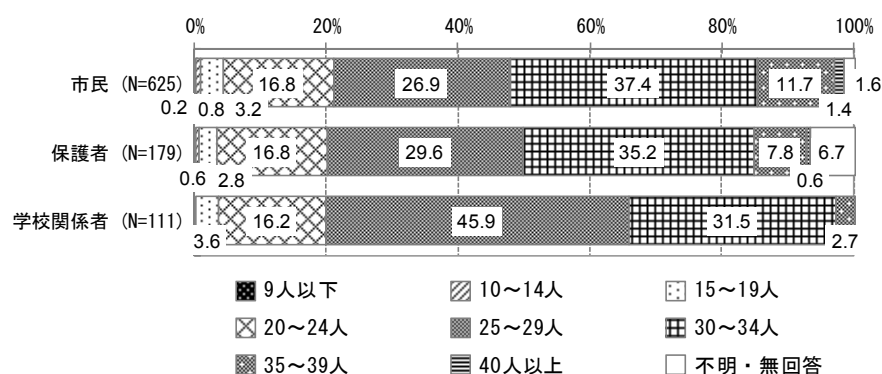


図 19 理想の中学校1学級あたりの生徒数＜市民調査・保護者調査・学校関係者調査＞

(4) 中学校の理想の学級数

＜市民＞問4 あなたが理想と思う、1学級あたりの生徒数、1学年あたりの学級数をお答えください。
④中学校:1学年あたりの学級数(1つ)

＜保護者＞問6 国の基準では、1学年2学級～3学級が望ましいとされていますが、あなたが理想と思う、小学校の1学年あたり学級数は何学級ですか？(1つ)

＜学校＞問5 あなたが理想と思う、1学年あたり学級数は何学級ですか？(1つ)

○理想の中学校の1学年あたりの学級数は、【市民】では「4学級」、「3学級」、「5学級」がそれぞれ25%前後を占めている。

○また、【学校関係者】では「4学級」が最も多く43.2%となっている。【保護者】では「4～6学級」が最も多く66.5%を占めている。

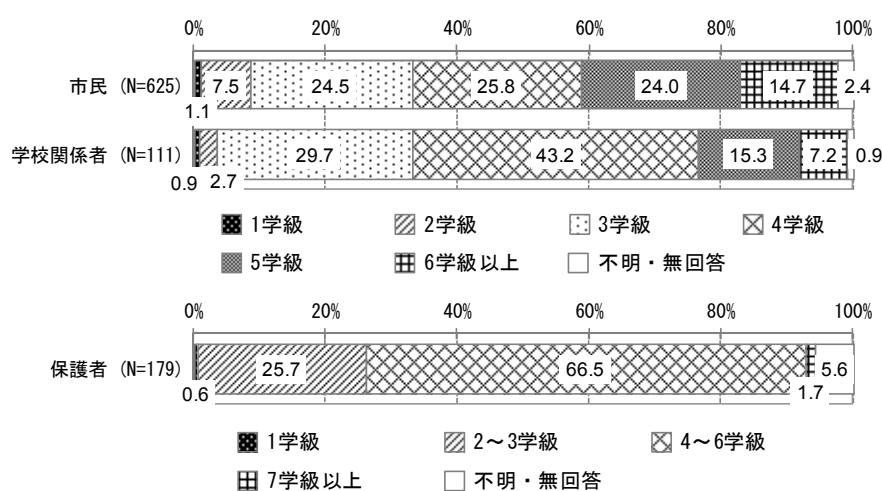


図 20 理想の中学校1学校あたりの学級数＜市民調査・保護者調査・学校関係者調査＞

2. 学校規模による強み・弱みについて 〈学校関係者調査〉

＜学校＞問6 あなたは、大規模校、小規模校それぞれの強みおよび弱みについてどのようにお考えですか？ 教育を受ける生徒の立場と、教育を行う教員の立場の両面から主なものを具体的にご記入ください。

○それぞれの意見は、別紙1のとおりである。

3. 通学時間等について 〈市民調査・保護者調査〉

3-1 小学校の通学時間等

(1) 小学校の現在の通学時間等

＜保護者＞問7 あなたのお子様の通学距離・時間・方法をお答えください。

①通学距離(1つ)、②通学時間(1つ)、③通学方法(あてはまるものすべて)

○現在の小学校の通学距離は、「1km以上2km未満」が最も多く40.3%、次いで、「1km未満」(33.3%)となっており、2km未満が7割強を占めている。

○現在の小学校の通学時間は、「15分未満」が最も多く47.0%、次いで、「15分以上30分未満」(44.4%)となっており、30分未満が約9割を占めている。

○現在の小学校の通学方法は、「徒歩のみ」が92.5%となっている。

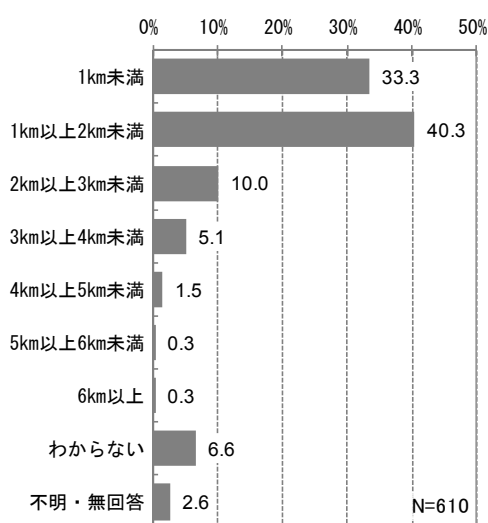


図 21 現在の小学校の通学距離＜保護者調査＞

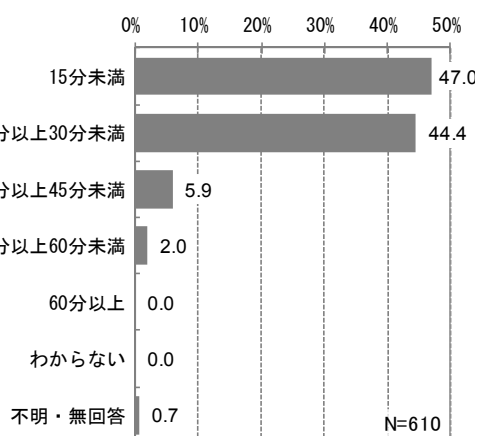


図 22 現在の小学校の通学時間＜保護者調査＞

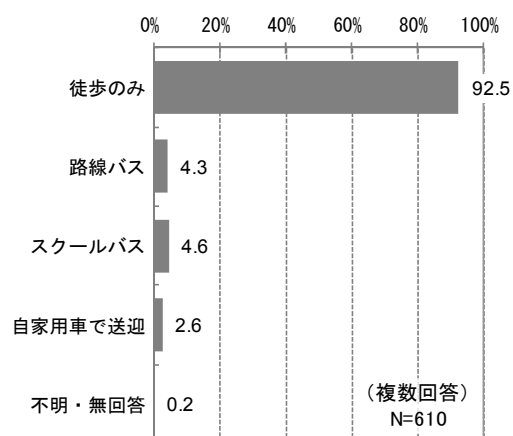


図 23 現在の小学校の通学方法＜保護者調査＞

(2) 小学校の理想の通学時間等

＜市民＞問5 あなたが理想と思う、学校までの通学時間と方法についてお答えください。

①小学校:通学時間(1つ)、②小学校:通学方法(1つ)

＜保護者＞問8 あなたが理想と思うお子様の通学方法は何でしょうか？(1つ)

○理想の小学校への通学時間は、「30分まで」が最も多く55.0%、次いで、「15分まで」(38.7%)となっており、30分未満が9割強を占めている。

○理想の小学校への通学方法は、【市民】、【保護者】ともに「徒歩のみ」が最も多く8割強を占めている。

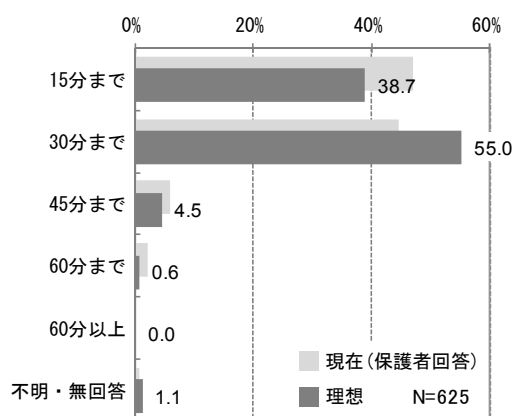


図 24 理想の小学校への通学時間＜市民調査＞

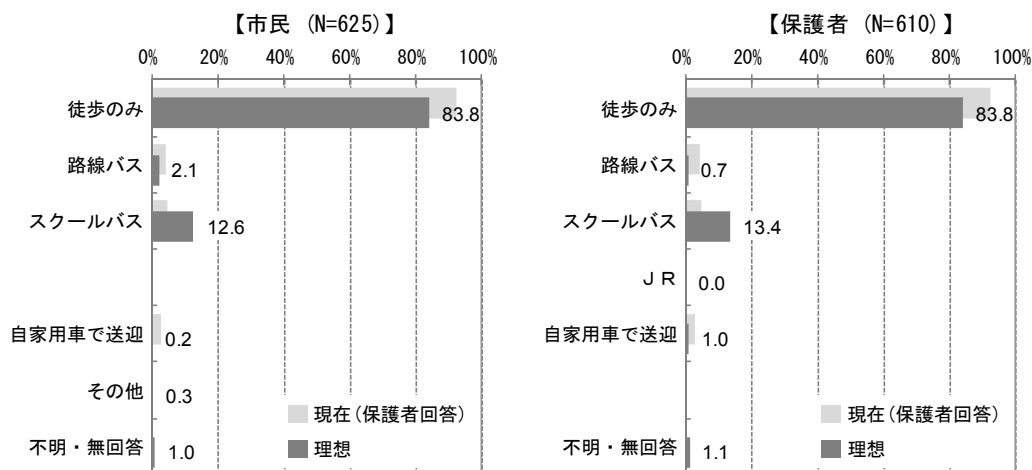


図 25 理想の小学校への通学方法＜市民調査・保護者調査＞

3-2 中学校の通学時間等

(1) 中学校の現在の通学時間等

＜保護者＞問7 あなたのお子様の通学距離・時間・方法をお答えください。

①通学距離(1つ)、②通学時間(1つ)、③通学方法(あてはまるものすべて)

- 現在の中学校の通学距離は、「1km以上2km未満」が最も多く34.1%、次いで、「1km未満」(21.8%)、「2km以上3km未満」(17.3%)となっており、3km未満が7割強を占めている。
- 現在の中学校の通学時間は、「15分以上30分未満」が最も多く51.4%、次いで、「15分未満」(38.0%)となっており、30分未満が約9割を占めている。
- 現在の中学校の通学方法は、「徒歩のみ」が最も多く65.4%、次いで、「自転車」が27.4%

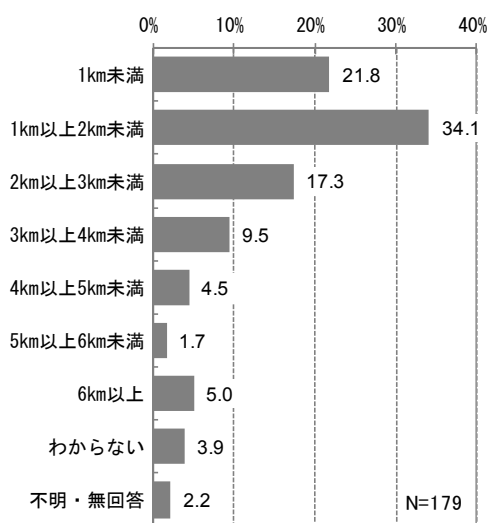


図 26 現在の中学校の通学距離＜保護者調査＞

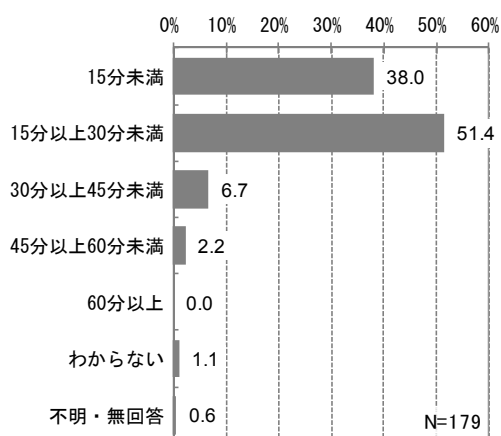


図 27 現在の中学校の通学時間＜保護者調査＞

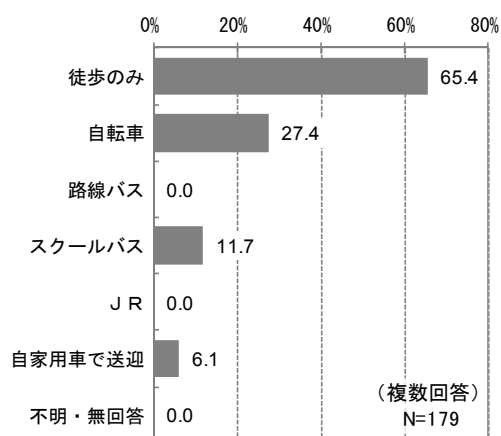


図 28 現在の中学校の通学方法＜保護者調査＞

(2) 中学校の理想の通学時間等

＜市民＞問5 あなたが理想と思う、学校までの通学時間と方法についてお答えください。

③中学校:通学時間(1つ)、④中学校:通学方法(1つ)

＜保護者＞問8 あなたが理想と思うお子様の通学方法は何でしょうか？(1つ)

○理想の中学校への通学時間は、「30分まで」が最も多く65.0%となっている。

○理想の中学校への通学方法は、【市民】では「徒歩のみ」(45.1%)と「自転車」(42.1%)が同程度となっている。一方、【保護者】では「徒歩のみ」が最も多く70.9%となっている。

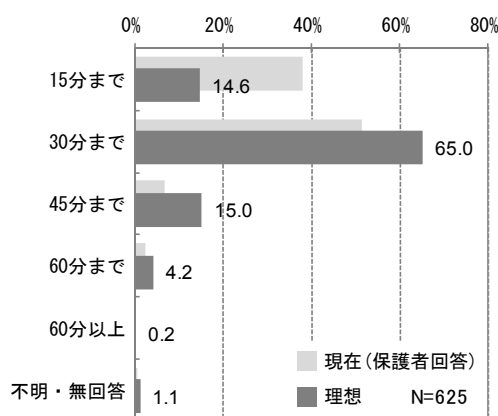


図 29 理想の中学校への通学時間＜市民調査＞

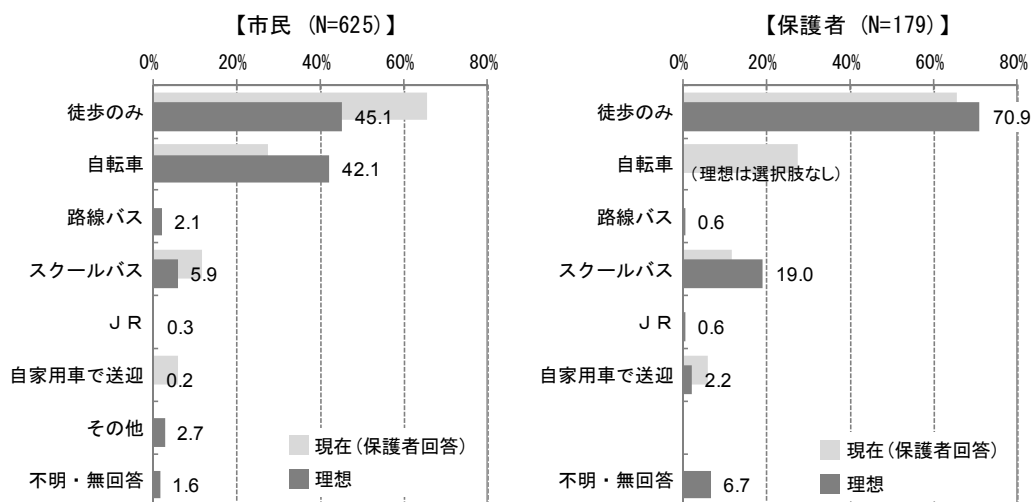


図 30 理想の中学校への通学方法＜市民調査・保護者調査＞

4. 地域と学校の関わりについて 〈市民調査・保護者調査・学校関係者調査〉

4-1 学校への愛着

〈市民〉問6 あなたは、現在お住まいの地域の小学校に愛着を感じておられますか？(1つ)

〈保護者〉問9 あなたは、現在お住まいの地域の小学校(※中学校の保護者は「中学校」)に愛着を感じておられますか？(1つ)

○小学校への愛着は、【市民】、【保護者】ともに「少し愛着を感じる」が最も多くなっている。「愛着を感じる」と合わせると、【市民】では8割弱、【保護者】では約9割が愛着を感じている。

○中学校への愛着は、小学校と同様、「少し愛着を感じる」が最も多く、「愛着を感じる」と合わせるとの8割弱が愛着を感じているが、【保護者/小学校】に比べると愛着を感じている割合はやや低くなっている。

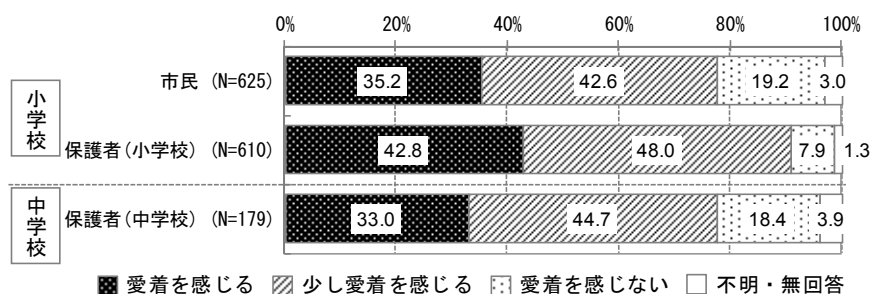


図 31 地域の小学校・中学校への愛着〈市民調査・保護者調査(小学校)〉

4-2 小学校・中学校が地域に果たしている役割

(1) 学校が果たしている役割

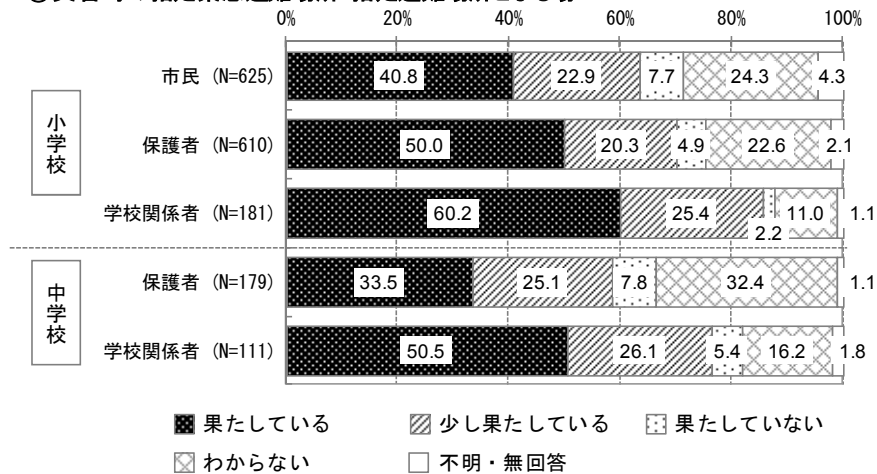
＜市民＞問7 あなたがお住まいの地域において、小学校はどのような役割を果たしていると思いますか。(①～⑥についてそれぞれ1つ)

＜保護者＞問10 あなたがお住まいの地域において、小学校(※中学校の保護者は「中学校」)は子どもの学校教育活動以外にどのような役割を果たしていると思いますか。(①～⑤について、それぞれ1つ)

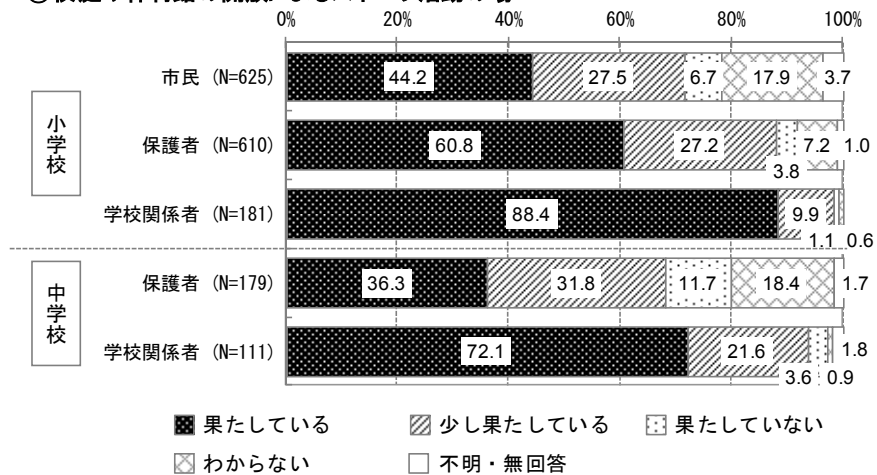
＜学校＞問7 あなたが勤務する小学校(※中学校の学校関係者は「中学校」)は、地域においてどのような役割を果たしていると思いますか。(①～⑤それぞれについて1つ)

- 小学校が果たしている役割として、「果たしている」と回答した割合が最も高いのは、【市民】、【保護者】では『③運動会やお祭など地域のコミュニケーションの場』(それぞれ51.2%、62.6%)、【学校関係者】では『②校庭や体育館の開放によるスポーツ活動の場』(88.4%)となっている。
- 中学校が果たしている役割として、「果たしている」と回答した割合が最も高いのは、【保護者】、【学校関係者】ともに『②校庭や体育館の開放によるスポーツ活動の場』(それぞれ36.3%、72.1%)となっている。
- 一方、小学校、中学校ともに、『⑤地域の伝統・歴史文化を継承し地域のシンボルとなる場』は、「果たしている」と回答した割合が低くなっている。
- また、いずれの役割も他の回答者に比べて、【学校関係者/小学校】で「果たしている」と回答した割合が高くなっている。

①災害時の指定緊急避難場所・指定避難場所となる場



②校庭や体育館の開放によるスポーツ活動の場



③運動会やお祭など地域のコミュニケーションの場

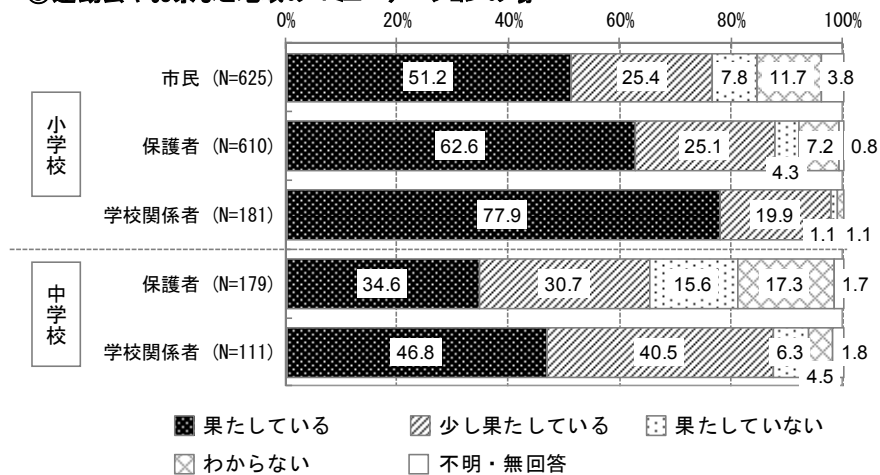
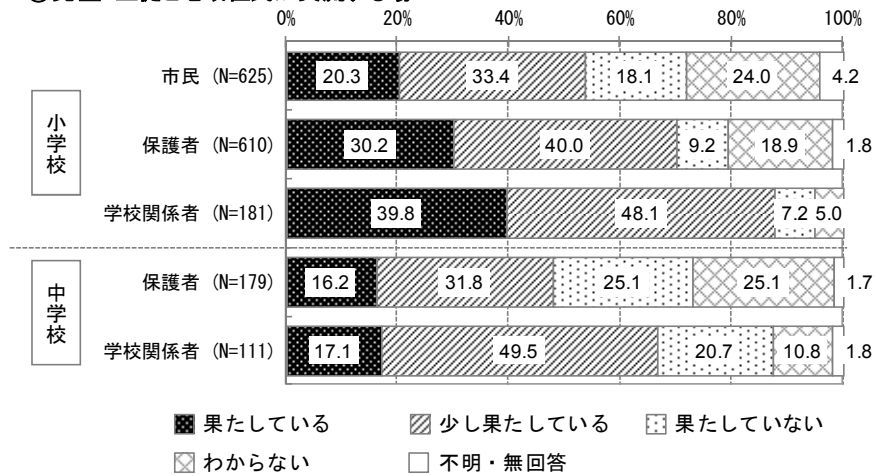


図 32 小学校・中学校が果たしている役割<市民調査・保護者調査・学校関係者調査>その 1

④児童・生徒と地域住民が交流する場



⑤地域の伝統・歴史文化を継承し地域のシンボルとなる場

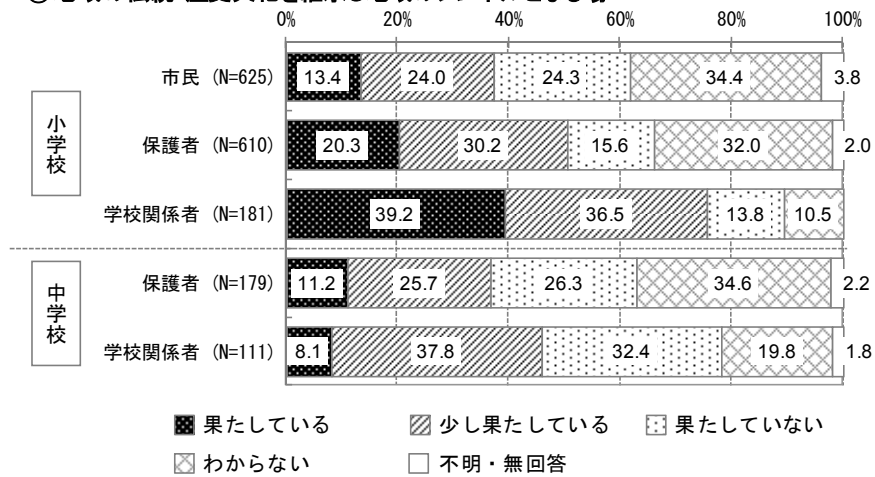


図 33 小学校・中学校が果たしている役割⑤<市民調査・保護者調査・学校関係者調査>その2

(2) 特に重要だと思う学校の役割

＜市民＞問8 地域における小学校の役割の中で重要だと思うものは何でしょうか？(2つまで)

＜学校＞問8 地域における小学校(※中学校の学校関係者は「中学校」)の役割の中で重要だと思うものは何でしょうか？(2つまで)

○地域における小学校の役割の中で重要だと思うものは、【市民】では「災害時の指定緊急避難場所・指定避難場所となる場」が最も多く65.8%、次いで、「運動会やお祭など地域のコミュニケーションの場」(41.1%)となっている。一方、【学校関係者】では「児童と地域住民が交流する場」が最も多く45.3%、次いで、「災害時の指定緊急避難場所・指定避難場所となる場」(43.6%)となっている。

○地域における中学校の役割の中で重要だと思うものは、「災害時の指定緊急避難場所・指定避難場所となる場」が最も多く58.6%、次いで、「校庭や体育館の開放によるスポーツ活動の場」(42.3%)となっている。

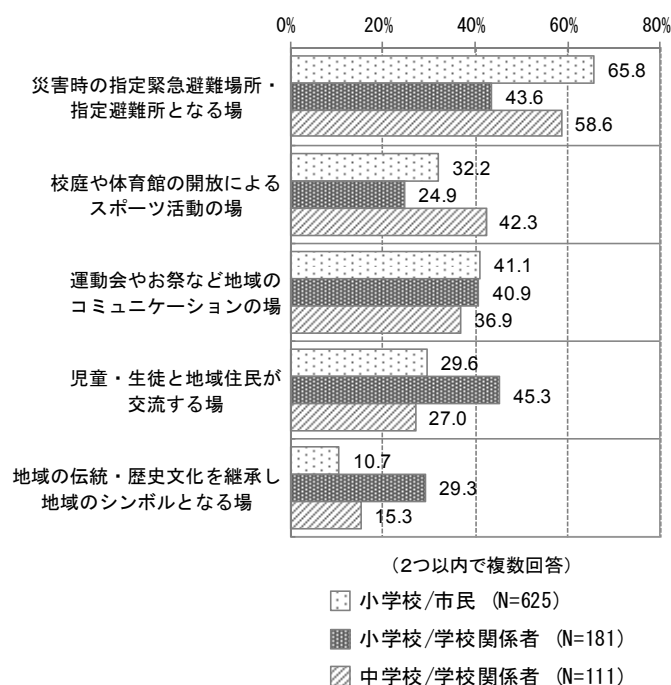


図 34 特に重要だと思う地域における学校の役割＜市民調査＞

5. 学校配置について 〈市民調査・保護者調査・学校関係者調査〉

(1) 学校配置の見直しの必要性

〈市民〉問9 あなたが現在お住まいの小学校区について、より良い教育環境を実現するため、通学区域の見直し等、学校配置について検討する必要があると思いますか？(1つ)

〈保護者〉問11 あなたのお子様の小学校(※中学校の保護者は「中学校」)について、より良い教育環境を実現するため、通学区域の見直し等、学校配置について検討する必要があると思いますか？(1つ)

〈学校〉9 あなたの勤務する小学校(※中学校の学校関係者は「中学校」)について、より良い教育環境や地域との連携を実現するため、通学区域の見直し等、学校配置について検討する必要があると思いますか？(1つ)

○小学校配置の見直しの必要性は、【市民】、【保護者】では「検討する必要は無い」(それぞれ37.6%、44.4%)が多くなっている。一方、【学校関係者】では「検討する必要がある」が45.9%と多くなっている。

○中学校配置の見直しの必要性は、【保護者】では「検討する必要は無い」が42.5%と多くなっている。一方、【学校関係者】では「検討する必要がある」(37.8%)と「検討する必要は無い」(36.9%)が同程度となっている。

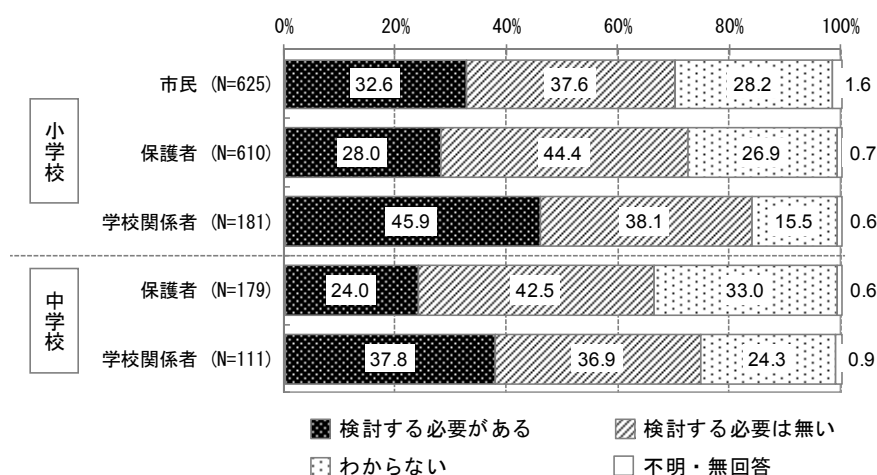


図 35 学校配置の見直しの必要性〈市民調査・保護者調査・学校関係者調査〉

(2) 現在の学校配置の適正状況

＜市民＞問10 亀岡市の現在の小学校の配置(学校数、通学区の範囲)は適正だと思いますか？(1つ)

＜保護者＞問12 亀岡市の現在の小学校(※中学校の保護者は「中学校」)の配置(学校数、通学区の範囲)は適正だと思いますか？(1つ)

＜学校＞問10 亀岡市の現在の小学校(※中学校の学校関係者は「中学校」)配置(学校数、通学区の範囲)は適正だと思いますか？(1つ)

○現在の小学校配置の適正状況は、【市民】、【保護者】、【学校関係者】ともに「学校によっては問題が生じており、一部に見直しが必要である」が最も多くなっている。特に、【学校関係者】では約7割と高くなっている。

○現在の中学校配置の適正状況は、【保護者】では「大きな問題は無く、現行の通りで良い」(36.9%)が最も多くなっている。一方、【学校関係者】では「学校によっては問題が生じており、一部に見直しが必要である」(53.2%)が最も多くなっている。

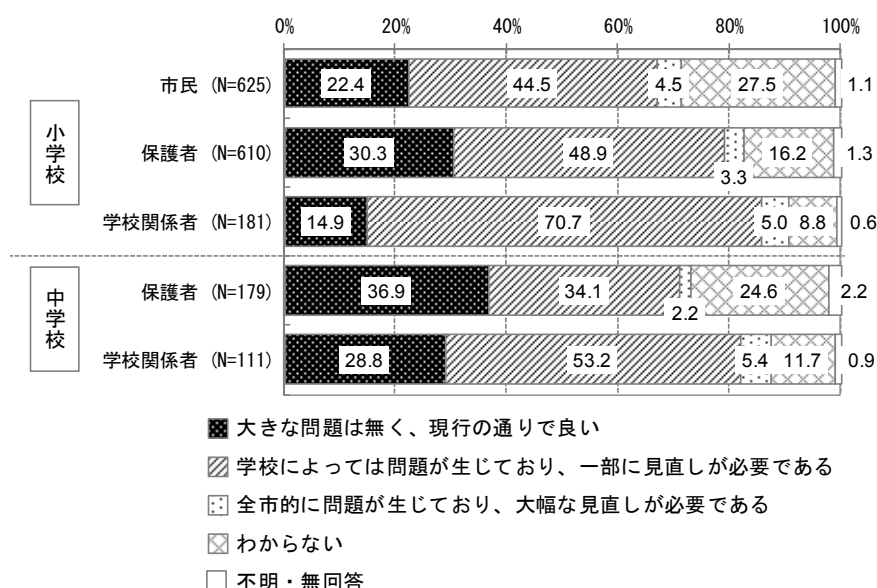


図 36 現在の配置の適正状況＜市民調査・保護者調査・学校関係者調査＞

(3) 学校配置を見直す上で配慮すべきこと

＜保護者＞問13 より良い教育環境を実現するために、もしも学校区の見直しや統廃合を行うとしたら、児童・生徒・学級数以外で最も配慮すべきことは何だと思いますか？(1つ)

○学校配置を見直す上で配慮すべきことは、小学校では「安全性」が最も多く57.0%、次いで、「通学距離」(28.2%)となっている。

○中学校では、「通学距離」(41.9%)と「安全性」(40.2%)が同程度となっている。

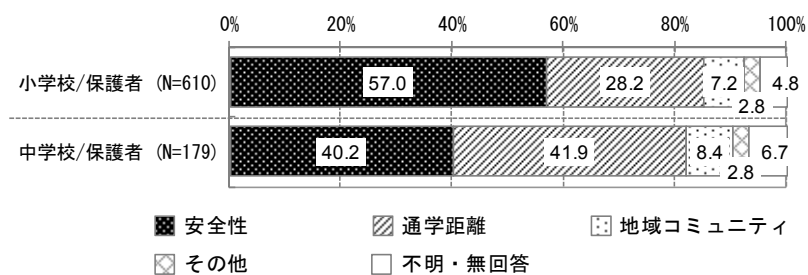


図 37 配置を見直す上で配慮すべきこと＜保護者調査＞

6. 学校生活の状況について 〈保護者調査〉

〈保護者/子ども聞き取り〉問16 あなたの学校生活で、次のようなことはどれくらいあると思いますか？(①～⑥それぞれに1つ)

○学校生活で「よくある」と回答した割合が最も高いのは、小学校、中学校ともに『①同じ学年の児童・生徒と仲良くなること』となっている。次いで、小学校では『③担任の先生がていねいに勉強を教えてくれること』、中学校では『⑤運動会や文化祭などが盛り上がること』が多くなっている。

○小学校と中学校を比べると、小学校の方が『③担任の先生がていねいに勉強を教えてくれること』や『②他の学年の児童と仲良くなること』が「よくある」割合が高くなっている。一方、『④担任の先生以外の先生と話したり相談すること』や『⑤運動会や文化祭などが盛り上がること』は中学生の方が「よくある」割合が高くなっている。

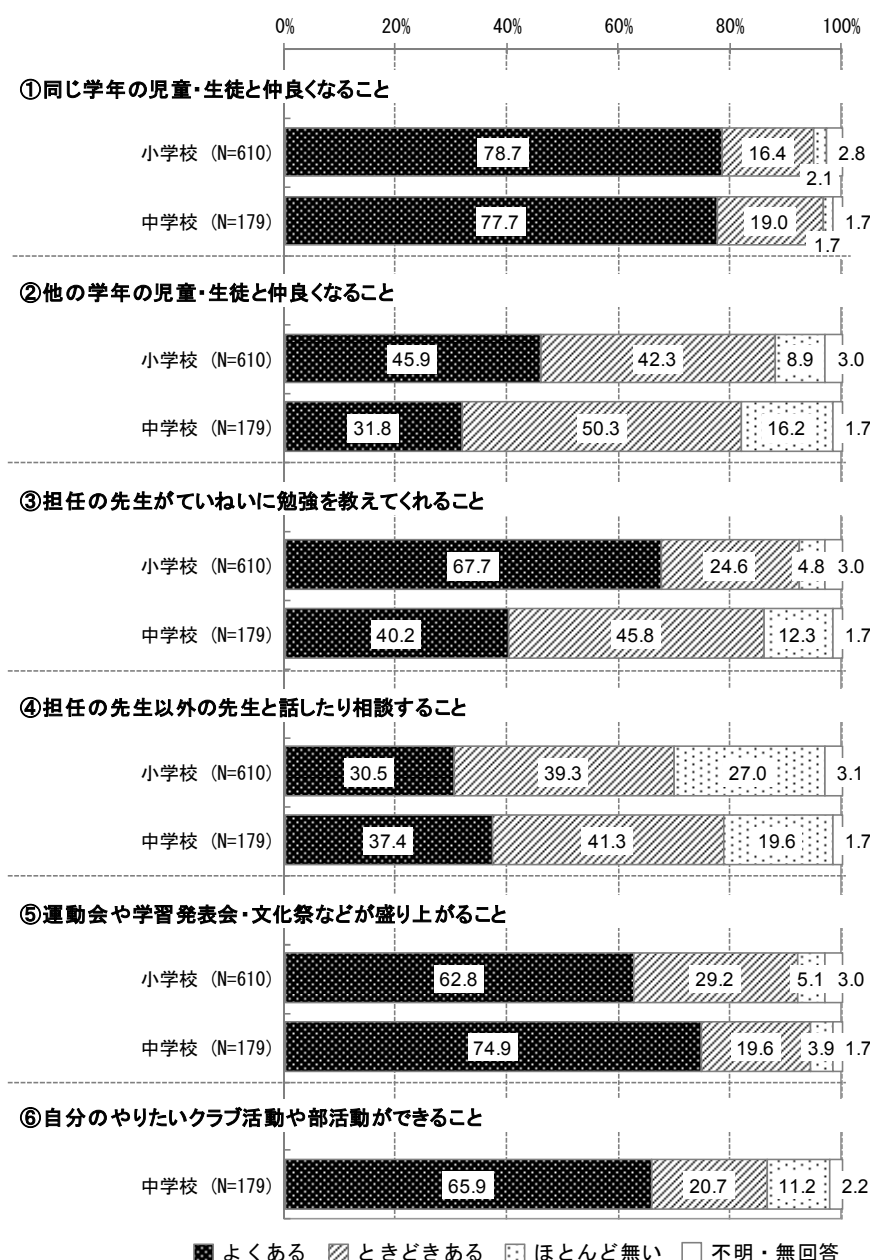


図 38 学校生活の状況〈保護者調査〉

亀岡市
子どもたちのより良い教育環境について
考えるアンケート調査
【学校関係者調査】

学校規模による強み・弱みについての考え（問6）

■学校規模による強み・弱みについて 〈学校関係者調査〉

〈学校〉問6 あなたは、大規模校、小規模校それぞれの強みおよび弱みについてどのようにお考えですか？ 教育を受ける生徒の立場と、教育を行う教員の立場の両面から主なものを具体的に記入ください。

(1) 大規模校 × 強み × 児童・生徒の立場から考える意見

表 1 大規模校×強み×児童・生徒の立場から〈学校関係者調査〉

小中別	大規模校×強み×児童・生徒の立場から
小学校	いろいろな人間関係が構築できること。
小学校	クラス替えにより、人間関係のリセットをすることができる。切磋琢磨し合える集団を作りやすい。
小学校	たくさん子どもたちと触れ合うことができる。多様な考え方を知ることができる。
小学校	たくさんの友達を作ったり交流することができる。
小学校	学校生活の活性化。切磋琢磨。強い向上心。
小学校	集団が大きく、多様な子どもと繋がりができる。
小学校	切磋琢磨でき、様々な場面での成長が期待できる。
小学校	多勢いると多くの人に関われる。
小学校	多様な考えに触れ、社会性や協調性が身に付く。
小学校	多様な考え方から学べる。
小学校	多様な考え方に触れられる。
小学校	多様な人間関係、多様な考え方に触れることができる。
小学校	多様な他者と学べる。
小学校	多様な友達と接することができる。
小学校	大集団で様々な体験ができる。
小学校	大勢の友達に触れることができる。
小学校	友達の良い所を学び、自分に取り入れることができる。
小学校	友達関係を広げやすい。友達を選びやすい。
小学校	集団の中で多様な考え方に触れ、幅広く社会性や協調性が身に付けられる。
小学校	多くの友達と接する機会がある。
小学校	いろいろな個性を持つ友達から様々な刺激を受け、更に自分を高めようとしたり、自分の良さにも気づけたりできる。
小学校	いろいろな考えに触れることができ、学び合いができる。人との関わり方を学ぶことができる。
小学校	いろいろな子の影響を受けられて刺激になる。
小学校	いろいろな児童との関わりが持て、経験が豊かになる。
小学校	いろいろな児童と触れ合い、集団生活の中で社会性が身に付く。
小学校	いろいろな児童と接し、成長できる。
小学校	いろいろな集団活動を体験して社会性を育てる。
小学校	いろいろな人と関わりながら生活できる。クラス替えを行うことで、友人関係を変えられる。
小学校	いろいろな人間関係を作り出すことができ、新しい集団で新たに出発することができる(集団が固定化しない)。
小学校	いろいろな性格の子がいることを学べる。上を目指せる。
小学校	いろいろな友達が作れる。行事がダイナミックで楽しい。
小学校	いろいろな友達と関わるることができる。
小学校	いろいろな友達と関わる機会がある。友達が作りやすい。いろいろな得意なことのある友達と競い合える。
小学校	いろいろな友達と触れ合い、人間関係が広がる。
小学校	いろいろな友達と触れ合うことができる。
小学校	クラス替えなどや少人数学級によって、人間関係がコントロールできる。
小学校	クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができる。
小学校	クラス内の人間関係に変化が持て、人間関係を学ぶ機会が多様にできる。
小学校	コミュニケーション力の向上。
小学校	たくさんの人と関われ、中学生になってから対応しやすい。
小学校	たくさん友だちができる。いろいろな友達の意見を聞くことができる。
小学校	たくさん友達といろいろな関係作りができる。人間関係作りを多く経験できる。学び合える。
小学校	たくさん友達との関わりの中で得るものも多い。

小中別	大規模校×強み×児童・生徒の立場から
小学校	たくさんの友達と知り合える。ある程度の人数が揃っている方が取り組みにも幅がでる。
小学校	みんなでできた達成感が大きい。
小学校	ライバルが多く、目標を高く設定できる。張り合いがある。クラス替えで友達関係を変えられる。いろいろな考えが聞ける。
小学校	学級同士で切磋琢磨できる。またクラス替えにより、いろいろな友達と触れ合うことができ、固定化されにくい。
小学校	頑張りの意欲、クラス替えの楽しみ。集団でもしっかりと聞いとかなないと…という意識が強い。集団で活動する時の面白さ。友達が多く、いろいろな人がいる。
小学校	競争意識も高く、多様な考えや多種の遊びができる。集団でのスポーツや学校行事など多種多様な体験ができる。新しい人間関係作りやコミュニケーション能力を高められる。
小学校	交友関係が広められる。
小学校	広い人間関係がある。多面的に刺激が受けられる。
小学校	行事など全員で1つのものを作り上げた時、迫力があるものができ達成感が味わえる。いろいろな人と関わられる。
小学校	行事の盛大な取り組み。
小学校	合唱、合奏、集団演技などダイナミックな取り組みが経験できる。
小学校	刺激を受けることができる。
小学校	子どもたち自身で学び合う力が強くなり、行事の盛り上がりがある。人数の力で学級を作り上げることができる。
小学校	子供同士の関係から競争し合い、学び合いながら伸び合える。
小学校	自分と似ている友達を見つけられる。
小学校	集団での発表にやりがいがある。
小学校	集団の中での力が身に付く。
小学校	集団の中で育つ。クラス替えがあり、リセットできる。
小学校	集団の中で多様な考えに触れられるので、社会性が育つ。
小学校	集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性が育まれる。人間関係に変化があり、成長のチャンスを探みやすい。自己変革しやすい環境がある。
小学校	集団の中で多様な考え方に触れ合える。
小学校	集団の中で様々な人間関係を体験することで、コミュニケーション力の修練となる。
小学校	集団の中で揉まれることで、精神的・社会的に学べることが多い。多様な考え方や性格の子がいることで、価値観の違いなどを学べる。人間関係の上でトラブルになった時、逃げ場がある。
小学校	集団の面白さ。
小学校	集団の力により、ダイナミックな活動ができる。
小学校	人慣れする。本番に強い。集団としての高まりがある。
小学校	人間関係が広がり、いろいろな物の見方や考え方を学べる。
小学校	人間関係が上手くできなかった場合、クラス替えなどで再編成できる。
小学校	人間関係が多様にできる。発表会など団体で動く際に、チームワークを感じやすい。
小学校	人間関係が豊かになる、広がる。
小学校	人間関係に変化があること。
小学校	人間関係の交流(クラス替えなど)が図れ、幅広い交友関係が持てる。
小学校	人間関係の輪が広がりやすい。
小学校	人間関係や異学年との交流に深まりがある。
小学校	他学年との交流で、上級生の姿から集団の力を学ぶことができると考えるから。
小学校	多くの子と関わることでコミュニケーション能力が磨かれ、友達から刺激を受け成長に繋がる。
小学校	多くの人と出会える。
小学校	多くの仲間や先生がおり、自分にはないものを得る機会がある。
小学校	多くの友達、教師などに関われ、影響を受けることができる。
小学校	多くの友達とのコミュニケーションする場、力の育成。自分に合う友達が見つかりやすい。
小学校	多くの友達と学び合うことができる。
小学校	多くの友達と関わることで切磋琢磨される。
小学校	多人数で演技・演奏でき、ダイナミックな発表ができる。多くの友達から刺激を受けることができる。
小学校	多様な考え、人に触れられる。競争意識が働く。クラス替えなど人間関係の変化。
小学校	多様な考えに触れることができる。
小学校	多様な考え方、価値観などに触れられる。行事や活動で切磋琢磨できる。
小学校	多様な考え方があるので、授業が深まる。様々な人間関係を築くことができる。

小中別	大規模校×強み×児童・生徒の立場から
小学校	多様な考え方ができ、児童間での切磋琢磨が生まれる。
小学校	多様な考え方が感じられる。揉まれて強くなる。
小学校	多様な考え方に触れ、社会性や協調性が身に付く。人間関係が刷新でき、過ごしやすい。
小学校	多様な考え方に触れられる。
小学校	多様な考え方に触れる。自分と合った友人関係。
小学校	多様な考え方に触れることができ、自分の意見に対する反応を得られる。
小学校	多様な考え方や思いがあることを、多くの友達と関わる中で感じ、考えが広がる。
小学校	多様な刺激の共有。
小学校	多様な集団活動と人間としてのコミュニケーションの多様化。切磋琢磨して高まり合える。
小学校	多様な人間関係。社会性を培う。
小学校	多様な人間関係が結べる。人間関係が固定化しにくい。
小学校	多様な人間関係が築ける。
小学校	多様な人間関係を築く場が増える。社会性がより身に付く。
小学校	大勢の中で鍛えられる。人間関係が変わる。
小学校	大勢の中で揉まれ、競争しながら育つことができる。クラス替えによって人間関係が様々に変わる。
小学校	大勢の友達と触れ合い、学ぶことも多い。
小学校	能力、興味などいろいろな個性がある友達と出会う。
小学校	友達がいることにより、揉め事もあるが集団の中で育てられる力がつけられる。
小学校	友達がたくさんでき、社会性がつく。
小学校	友達がたくさんできる。社会性がより身に付く。
小学校	友達が増え、交友関係が広がる。
小学校	友達が多くできる。多人数の中で揉まれながら成長する。
小学校	様々な考え方、個性、違いの良さを知ることができる。みんなで協力することを体感できる。
小学校	様々な集団活動が可能。
小学校	様々な人と関わることで、社会的な行動が身に付く。
小学校	様々な人間関係が持てる。
小学校	様々な人間関係が築ける。
小学校	様々な友人と触れ合い、考えを広げることができる。友人関係が広く持てる。
小学校	様々な友達と交流することができる。競争力があり刺激がある。
小学校	話し合いの活発化。多様な意見の収集。良い意味での競争ができる。教え合いができる。団結力が味わえる。
小学校	(集団での行動から)様々な児童と関わり、学習・生活面共に学べる。
小学校	いろいろな友達との関わりの中で、学びや成長が期待できる。
小学校	クラス替えにより、人間関係、気持ちの面でのリセットができる。
小学校	たくさん子どもたちがいるので、自分(子ども)に合う友達を見つけやすい。
小学校	たくさん友達と遊んだり、勉強したりできる。
小学校	より多くの人間関係が生まれる。良い意味での“競争意識”が生まれ、共に高まり合うことができる。
小学校	学年やクラスの人間関係が固定化せず、社会性や協調性を伸ばすことができる。
小学校	競争意識が生まれる。活気がある。人間関係、社会性を学びやすい。
小学校	児童相互の人間関係。競争意識が高まり、良い意味で成長できる。
小学校	人間が関係の広がり。多様な人、考え方との触れ合い。
小学校	多くの人と知り合える。
小学校	多くの友達と触れ合い、互いに高まり合うことができる。
小学校	多くの友達と接することができ、多様な集団の中で活動できる。
小学校	多様な考え方と出合える。競争意識。
小学校	多様な刺激。気の合う仲間が見つかりやすい。
小学校	多様な人間関係が築ける。
小学校	大勢に在りて、社会性を身に付けやすくなる。
小学校	大勢の児童の中で生活することにより、多様な人間関係を体験することができる。競争心が育つ。
小学校	仲間が多いとたくさん刺激がもらえる。紛れたい時、紛れられる。
小学校	いろいろな児童と交流ができる。
小学校	いろいろな取り組みや行事など活気がある。遊ぶスペースが限られる。
小学校	たくさん友人と広く交流できる。
小学校	学習面、運動面など、児童が互いに切磋琢磨し、その能力を高めていくことができる。クラス替えにより人間関係に変化ができる。

小中別	大規模校×強み×児童・生徒の立場から
小学校	規模だけでそれぞれの特徴を表すのは難しいが、同年齢、異年齢の集団が大きいと多様なこと(行事、人間関係)の選択肢が広がり得ると思う。
小学校	集団の中で多様な考え方に触れられる。人間関係に変化を持たせることができる。
小学校	人間関係が多様である(クラス替えもできる)。活動に幅がある。
小学校	多くの友達と関わることで切磋琢磨できる。クラス替えをきっかけに人間関係をリセットできるチャンスがある。
小学校	多くの友達と交流でき、いろいろな人の意見や考えを知ることができるため、社会性や協調性を身に付けられる。
小学校	勉強や運動など、様々な面でお互いに刺激を受け、切磋琢磨できる。人間関係に変化を持たせることができる。
小学校	たくさんの友達と仲良くやっていく力が身に付く。
小学校	運動会や学習発表会などの学校行事が盛り上がる。
小学校	社会性が身に付く。人付き合いなど。
小学校	集団からの学びができる。
小学校	多勢の子に揉まれ強くなれる。多様な物の考えに触れられる。
小学校	いろいろな人間関係を体験できる。
小学校	たくさんの人と触れ合うことができ、多様な考え方や人を受け入れる経験ができる。
小学校	気の合わない人がいても、気の合う人もいる。
小学校	競争したりすることが増え、全体としてやりがいのある行事になる。
小学校	行事が活性化して楽しい。
小学校	集団生活の中での体験ができる。集団の中での規律の下、個人の果たす役割の自覚。
小学校	切磋琢磨できる。
小学校	多くの人と関わりを持つことができる。運動会、音楽会など大人数でできるので、出来栄えが華やかになる。
小学校	友達がたくさんできる。
小学校	友達がたくさんできる。互いに教え合い、励まし合える。競争心も芽生える。
小学校	様々な友人と出会うことができ、世界が広がりやすい。
中学校	競争意識が働く。
中学校	競争意識の高まり。
中学校	人間関係を広げることができる。
中学校	多様な考え方や性格の生徒に触れることができ、人間関係が広がる。
中学校	多様性に触れる機会。
中学校	部活の人数、種類が多くなる。
中学校	部活動の種類が多く、また互いに刺激し合える仲間が多い。学習面でも多様な生徒がいるため、井の中の蛙にならない。自立という面では有利。
中学校	いろいろな人間関係を築ける。
中学校	いろいろな生徒や教師と出会うことができ、様々な価値観に触れることができる。
中学校	クラス替えにより人間関係の変化が期待できる。行事が盛り上がる。
中学校	たくさんの生徒と切磋琢磨できる。人間関係に変化ができる。
中学校	競争がある。多くの刺激がある。
中学校	競争できる。人間関係のやり直しができる。
中学校	競争意識が出る。
中学校	交友関係が広がる。
中学校	行事・部活動での競争意識。
中学校	行事が一層盛り上がる。
中学校	行事が盛り上がる。
中学校	行事が盛大に行える。
中学校	行事など活発に行える。
中学校	刺激があり、目標を持てる。たくさんの部活があり、個に応じた選択肢がある。
中学校	自分に合う仲間が見つけられる。様々な価値観に出会える機会がある。
中学校	小規模校での経験がないので、よくわかりません。
中学校	人間関係が固定化せず、新しい友人を作りやすい。切磋琢磨することができる。
中学校	人間関係に変化がある。様々な生徒たちと触れ合える。
中学校	人間関係に変化が起こしやすい。
中学校	人間関係に変化が生まれやすい。社会性や協調性が育ちやすい。

小中別	大規模校×強み×児童・生徒の立場から
中学校	生徒同士、教員全てにおいて刺激がたくさんある。
中学校	多い人数の中で、様々な友人と触れ合い、競い合うことができる。部活動の種類が多く、活発である。
中学校	多くの個性を持った生徒が存在することから、人間関係を築くことができる。多様の価値観に触れることができる。
中学校	多くの者と生活する中で社会性が養われる(コミュニケーション能力など)。
中学校	多くの生徒と関わるができる。対人コミュニケーション能力の育成。
中学校	多くの生徒達が力を合わせて集団のパワーを発揮し、行事や部活動でも力が高まる。
中学校	多くの仲間の中で、様々な経験や体験をすることができる。
中学校	多様な人との関わりが持てる。
中学校	多様な人間と関わるができる。
中学校	多様な人間関係が作りやすい。
中学校	多様な生徒を見る。
中学校	特活が楽しい。
中学校	部活や行事の活性化。
中学校	部活動の種類も多く、選択の幅が広い。人が多く、過去やしがらみに縛られない。
中学校	友達が増える。
中学校	様々な価値観を学ぶ。
中学校	様々な生徒がいるため、自分と合う者も見つけやすい。
中学校	様々な生徒と関わりを持つことができる。
中学校	様々な発見。
中学校	あまり強みはない。
中学校	いろいろなタイプの友人と交流できる。大掛かりな取り組みができる。部活動が活発にできる。
中学校	いろいろな考えに触れることができる。
中学校	いろいろな部活がある。
中学校	クラブなどの活動が活発化する。
中学校	クラブなどの選択の幅が広がる。体育祭など行事が盛り上がる。
中学校	たくさんの人と接することができる。様々な活動に選択肢の幅ができる。
中学校	たくさんの友達と出会える。新しいクラス時に新しい人間関係を作り、出直しをすることができる。多人数でなければできない大規模な行事を体験することができる。
中学校	やはりエネルギーがあり、学校行事に花がある。また様々な教師(大人)と触れ合うことができる。
中学校	安定している。逃げ場がある。
中学校	競争心を育むことができる。
中学校	行事(体育祭、文化祭)、講演会、PTA の取り組みが大規模な物になり、より盛り上がる。友人も多くなる。
中学校	行事・部活の活性化。
中学校	行事など盛り上がったたり、集団での力がつく。
中学校	行事など盛り上がる。
中学校	集団の中で過ごせる。
中学校	進路に関わるデータが豊富。
中学校	人間関係が広まる。
中学校	人間関係の輪を広げることができる。部活動の選択範囲が広い。
中学校	人間関係を結ぶ上で機会や選択が多い。
中学校	人数の多い中、競い合ってお互いに高め合える。
中学校	生徒数が多く、より多くの人と関わるができる。
中学校	多くの個性と出会える。大人数の中で切磋琢磨することができる。集団の力を感じられる。
中学校	多くの人との関わりの中で、対人関係の構築を図れる。
中学校	多くの人と接しているので、人間関係の面でタフである。次に進学する時も知り合いが多い。
中学校	多くの生徒と関わることで、競争意識が生まれる。
中学校	多くの生徒と交わり、多様な考え方に触れることができる。
中学校	多くの部活動の中から選択できる。
中学校	多様な考えに触れ、価値観が広げられる。
中学校	多様な考えに触れ、視野が広がる。
中学校	多様な人間関係を築き、ダイナミックな行事体験ができる。
中学校	大きな集団でのダイナミックな取り組みの中で社会性が磨ける。多様な価値観に触れられる。
中学校	仲間がたくさんできる。

小中別	大規模校×強み×児童・生徒の立場から
中学校	表彰される生徒が多く、部活の層が厚いので強い。学校の名が上がる中で、その一員として意識が高い。
中学校	様々な人間関係が作れる。クラス替えを機械にやり直したりできる。
中学校	クラスの人間関係に変化が持て、いろいろな考え方に触れることができる。
中学校	学習においても部活などにおいても多くの刺激を受けることができ、向上心が育つ子も出てくる。
中学校	多くの人とコミュニケーションを取り、いろいろな人と人間関係を築いていける。競争心が身に付く。積極性が出る。
中学校	勉強でも部活でも切磋琢磨できる。
中学校	いろいろな人と繋がることできる。部活動でも競争できる。
中学校	クラス数が多いことで行事などがかなり盛り上がる。
中学校	友達がたくさんできる。またはたくさんの中で選べる。
中学校	互いに優れた面を吸収し合える。
中学校	多人数の中でいろいろな生徒と触れ合うことで、揉まれて成長できることが多いと思う。
中学校	多勢の中で切磋琢磨できる。
中学校	部活動の数が多く、選択肢が増える。友人関係が縛られにくい。
中学校	友達が選べる。部活が多くできる。
中学校	多くの部活動の部がある。

(2) 大規模校 × 強み × 教員の立場から考える意見

表 2 大規模校×強み×教員の立場から〈学校関係者調査〉

小中別	大規模校×強み×教員の立場から
小学校	ダイナミックで子どもたちが活躍できる場面を多く作り出すことができる。
小学校	ダイナミックな活動が計画・実行できる。切磋琢磨させやすい。
小学校	安定した校風作り。組織の活性化と人材育成。
小学校	学級づくりや授業で、多様な考え方をもとに組み立てられる。集団として育てることができる。
小学校	学校行事や特別活動などが多様かつダイナミックに展開できる。多くの実践に触れられる。
小学校	規模の大きい集団での教育機会を設定でき、活性化する。
小学校	教員数が多いので、それぞれの長所を活かした運営ができる。
小学校	子どもたちの多様な考え方を交流させることができる。
小学校	取り組みが大きなものになること。
小学校	取り組みや行事など、学年で分担したり、協同活動を行ったりできる。
小学校	集団意識を高めることができる。
小学校	専門的に分掌や教科ができる。
小学校	多様な意見を聞くことができる。行事などの準備などが捗ること。
小学校	多様な考えに触れ、社会性や協調性が身に付く。
小学校	多様な考え方・能力などにより刺激を受け、成長に繋がる。
小学校	多様な考え方が引き出せる。
小学校	大勢で何かすることによるダイナミックさや切磋琢磨することの良さを味わわせることができる。
小学校	適切なリーダーを活用することが可能。
小学校	学年単位で様々な取り組みができ、教員としての力量が身に付けられる
小学校	同僚から刺激を受け、学級経営にプラスになる。
小学校	(強いて挙げれば) 様々な教員と仕事をし、刺激が得られる。
小学校	1～2 人突出した児童がいても、大勢の中では相互に打ち消し合う。会議が多い。
小学校	いい意味での競争意識、運動や学習意欲を向上させることができる。
小学校	いろいろな意見が出され、学習を深め合うことができる。お互い刺激し合って高め合える場面がより多く持てる。
小学校	いろいろな教員の目で子どもたちを見れる。
小学校	いろいろな教師の目で見てやれることで、その子のいろいろな良さを見出すことができる。
小学校	いろいろな行事の中で協力の大切さや面白さ、達成感を感じることができる。
小学校	いろいろな子どもがいて、子供同士で学ぶことができる。
小学校	いろいろな先生から指導してもらえる。
小学校	いろいろな先生に相談ができる。大きな行事の際、手が足りる。
小学校	いろいろな先生の考えを聞いて実践できること。
小学校	お互いに切磋琢磨し合える。様々な学びがある。
小学校	クラスや子供のことについて学年で話し合うことができたり、教授力の向上に活かせたりできる。
小学校	それぞれの個性を活かした学年経営ができる。
小学校	ダイナミックなものができる(行事で)。
小学校	ダイナミックな取り組みができる。
小学校	ダイナミックな集団での取り組みができる。
小学校	たくさんの経験を指導できる。
小学校	たくさんの先生に関わってもらえる。
小学校	たくさんの他の教員から実践を学ぶことができる。
小学校	チームで取り組むことができる。
小学校	リーダーを育て、集団として動かしていける。多数の教員から多くのことを学ぶことができる。
小学校	一人一人の児童に関わることは難しいが、たくさんの教師集団で行事などが成功させやすい。
小学校	運動会、学習発表会などの行事で作り上げる演技・発表で、児童に集団の中の一員として自覚を持たせることができるから。
小学校	運動会や音楽発表では迫力のあるパフォーマンスが出せる。
小学校	運動会や学習発表会など、見応えがある。いろいろな発言が出て、授業が盛り上がる。
小学校	何かにつけ、複数の教員で指導に当たれる。担任外も配置され心強い。
小学校	何人かの教員が力を合わせて 1 つの物を作り上げられる。
小学校	学ぶ内容や方法の多様性がある。
小学校	学年の担任団による教材の深め合いが、より多方面の切り口から行える。校務などが分担できる。

小中別	大規模校×強み×教員の立場から
小学校	学年集団としてチームで動けるので、教育効果は大きい(生指、学習面)。
小学校	学年団が組めると、相談しやすい。
小学校	学年団で相談して教育できる。
小学校	学年団で相談しながら、教育活動を進められる。
小学校	活気があり楽しい。様々な境遇、性格の児童があり、多様なケースを経験できる。
小学校	競争意識が働き、運動や学習意欲が向上する。同じ学年の教員同士、分担したり研究ができる。
小学校	協調性を育むことができる。分担して仕事ができる面もある。特に行事など。複数の目で見られる、意見・アイデアが出る。
小学校	教員の数も多く、1人の子を多様な価値観で評価できる。
小学校	教員同士が協力し合って、たくさんの目で子どもたちを育てることができる。
小学校	教員同士で相談できる。
小学校	教員同士の交流が行われ、指導の幅が広がる。
小学校	教材研究、指導方法研究の活性化。
小学校	教材準備が分担できる。相談し合える。競争心がつく。様々なタイプの友達と関わりが持てる。
小学校	教師が多く、得意分野が学び合える。教育実践の創意工夫が広がる。
小学校	教職員が多い分、学べることが多くある。
小学校	教職員間で連携し、授業アイデアなどがたくさん生まれる。指導法などの相談ができる。
小学校	研究が協同でできる。同じ学年の学級を意識していける。
小学校	研究授業など学年団で考え、多く模範授業ができる。学年団でいろいろな話、相談ができる。
小学校	校務分掌などの役割分担も多くの人数で取り組めるので、協力した体制で仕事ができる。校務の量も分担することで1人でする量も減る。相談しながら進めることができる。
小学校	校務分掌の割り振り。授業研での話が活発になる。
小学校	校務分掌の分担。組織的に。
小学校	行事では迫力のあるものができる。
小学校	行事など見栄えが良い。いろいろな子がいるので、活かしやすい。多様な考えがあり、授業が楽しい。
小学校	行事など大きな規模で行える。クラス替えて人間関係をリセットできる。
小学校	行事に迫力が出る。団体(大勢)で手分けできる。
小学校	合唱、合奏、集団演技などダイナミックな取り組みを経験させられる。様々な意見を交流させられる。
小学校	仕事の分担ができる。アイデアがたくさん出される。
小学校	仕事を分担したり、意見を出し合ったりできる。
小学校	子どもたちの多様性を活かした教育活動を組みやすい。
小学校	子どもの中から渦を作り、行事などを盛り上げることができる。
小学校	事務作業など、職員で役割を分担し、負担が少ない。専門性が活かされやすい。
小学校	授業づくり、行事など意見を出し合い、協力しながら取り組みを進めることができる。
小学校	集団で児童を見ることができ、多面的に育てられる。
小学校	集団としての高まり。
小学校	集団として児童を動かす力が身に付く。
小学校	集団の中で多様な考え方を触れさせることができる。
小学校	集団作りの面白さがある。集団で力を合わせる楽しさがある。いろいろな意見、考えが出て面白い授業になる。
小学校	職員数が多いので、分掌など複数の人数で相談することができる。備品の数が揃えられる。
小学校	人間関係に変化をもたらすことができる。
小学校	人数を必要とする大掛かりなことに取り組める。いろいろな意見を取り上げた授業を組み立て、内容を深めていくことができる。
小学校	先輩教員からいろいろなことが学べる。
小学校	全ての発表に迫力が出てきて、達成感を感じられる。
小学校	全体で個を支えあいながら学習させることができる。特定の児童の弱さが目立ちにくい。多くの教師で仕事の分担ができる。
小学校	組織的な動きが各部複数人員で取れるため、体制的に良いものとなる。
小学校	多くの教員から学べる。役割を分担できる。
小学校	多くの職員の教育に触れる機会が多くなる。
小学校	多くの目で子どもたちを見ることができ、子どもたちにとってもいろいろな教員と関わるができる。
小学校	多様な形態の教育活動を考えることができ、社会性や協調性を身に付けることができる。学校行事などダイナミックな取り組みができ、その中で意欲などを育める。
小学校	多様な考えを持つことにより、より広がりのある学習を行うことができる。

小中別	大規模校×強み×教員の立場から
小学校	多様な児童との関わりの中で、児童の考えや思い、行動への対応力が身に付く。
小学校	多様な取り組みができる。担任団の幅が広がり、広い考え方ができる。
小学校	多様な発言を活かしながら授業を進められる。学年で話し合うことができ、活動の幅がでる。
小学校	打たれ強いたくましさが育つ。
小学校	大規模な行事。
小学校	担任団が3～4人なら、多少の相性の食い違いがあっても協力できる。
小学校	同じ学年で研究などが話し合って進められる。
小学校	能力の高い児童がいることで、切磋琢磨できる。
小学校	迫力のある発表や活動ができる。複数の教師で協力して作業ができ、効率的に作業ができる。
小学校	必然的に競争原理が働きやすい。
小学校	複数の担任で多様に考えながら学習指導ができる。
小学校	複数学級あるので、学年の先生やベテランの先生から学べることが多い。
小学校	分担して仕事ができる。
小学校	様々な考え方に触れる機会がある。
小学校	様々な行事がダイナミックな物が組める。
小学校	様々な児童に対する指導の仕方を学べる。
小学校	様々な児童や保護者と関わる中で、教育の幅を広げることができる。多くの教員がいることで、実践を学ぶ機会が増える。
小学校	様々な特徴を持つ子から子供同士が学び合える。刺激し合える。
小学校	話し合いの活発化。多様な意見の収集。良い意味での競争ができる。教え合いができる。団結力が味わえる。
小学校	「個別」「特別支援」の視点と合わせて、集団の中で子ども自身が学び合う視点が必要だと考えている。その両輪の取り組みができやすい。
小学校	ダイナミックな取り組みができる。
小学校	各種の行事や取り組みの際、多様な内容が実践できる。
小学校	学び合い、競い合いができる。
小学校	学校行事などで迫力のある発表ができたり、学級、学年の絆が高まったりする。
小学校	学校行事のダイナミックさ。
小学校	教師間の悩み、研究など相談できる。教師としての力量も先輩教員からより広く学べる。
小学校	校務分掌を協力しながら行える。
小学校	仕事分担ができる。
小学校	児童が切磋琢磨できる環境を作りやすい。
小学校	自ずと職員も増えるため、いろいろな考えで児童の指導に当たれる。
小学校	授業、行事が盛り上がる。リーダーの育成がしやすい。様々な子どもたちの良さが見られ、活かせる。
小学校	集団の中で学ばせる機会が多くなり、社会性が育つ。レベルアップする気がする。
小学校	多くの教師から専門性、指導法など多面多角的な指導が行える。
小学校	多くの教師と助け合える。
小学校	多様な意見を交換し合う、学び合いの場が充実する。教員数が多いため、教材研究や教材作りが充実する。
小学校	多様な考え方に触れさせることができ、自分を見つめさせることができる。
小学校	担任団でアイデアの交流や役割分担ができる。集団活動に幅が生まれる。
小学校	担任同士が相談でき、教師の力量を向上させること。
小学校	複数(チーム)で相談しながら教育活動を行える。
小学校	様々な教員からアドバイスを受けることができる。
小学校	運動会、音楽会など大人数であると、見応え、聴き応えがある。
小学校	子どもの数が多い分、作業も多いが分担しながら作業ができる。複数学年あり、同学年で相談しながら進められる。
小学校	集団としてのモチベーションが上がり、達成感を味わわせることで次のステップに繋がる。
小学校	職員が多い。
小学校	職員数が多いので、校務分掌が分担でき、多様な意見交流や協力ができる。
小学校	人間関係に変化を持たせることができる。
小学校	相談できる方が多い。
小学校	多くの児童の指導や対応に当たるため、様々な指導方法や対応の仕方など、学ぶことが多い。
小学校	体育の団体競技や運動会、学習発表会など、ある程度の人数がいる方が運営しやすい。
小学校	様々な体験、事例を経験することができる。多くの先生の実践を学べる。

小中別	大規模校×強み×教員の立場から
小学校	たくさんの教師の刺激がある。
小学校	教員同士の連携のもと、行事などへの指導ができる。
小学校	行事や研究など、たくさんの意見で進められる。
小学校	多様な考えを引き出すことができる。集団としての意識を高めやすい。
小学校	多様な考え方の教員に触れ、多様な社会性や協調性を身に付けるヒントを与えてもらえる。
小学校	いろいろな先生方の知恵を出し合い、工夫した教育ができる。
小学校	パワーのある取り組みができる。
小学校	学校行事、学年行事など、学年の担任集団として動くことができる。
小学校	教員数も多いので、様々な立場、考え方の中で学び合える。
小学校	教員同士で相談、協力できる。
小学校	職員が多いことでお互い学ぶ機会が増える。
小学校	人間関係に変化を持たせることができる。
小学校	人間関係を幅広く持てることで、コミュニケーション能力を高めることができる。
小学校	多様な活動が組める。
小学校	多様な考え方が得られる。教材研究など広がりが見られる。
中学校	リーダー性のある生徒を中心に質の高い組織づくりができ、部活動が活性化される。
中学校	各担当を複数で担当することが可能で、異動があってもシステムの中でノウハウを継承できる。教員数が多いため、教科を専門の教師が担当できると共に、5教科は複数となるため、相互の中で教科指導力を高めることができる。
中学校	学校を活性化させやすい。
中学校	行事が大規模に行うことができる。
中学校	集団としての高まり。
中学校	人間関係の学習。
中学校	部活の人数、種類が多くなる。生徒間の競争力、人間関係の力が強くなる。
中学校	「学年」という枠で区切りを持ち、指導する体制が取れる。教員配置人数が多く、仕事が分担される。
中学校	いろいろな集団づくりができる。
中学校	クラスや集団を意識した指導ができる。
中学校	リーダー性を伸ばしやすい。様々な生徒と関われる。
中学校	学校行事など大人数で活発にできる。
中学校	活発。大きな取り組みに挑戦させることができる。
中学校	競争させることができる。連携しやすい。
中学校	競争し合える(学年の中で)。
中学校	競争の中で力が磨かれる。
中学校	競争意識が高まる。多様な考えに触れ、人間の幅が広げられる。
中学校	協力体制が機能すれば生み出されるものが大きい。
中学校	教員がチームとして働けるので、策を練りやすい。
中学校	行事など大規模で力がある。
中学校	行事や取り組みが様々な形態で展開できる。どの場面でどの生徒を活かすか、リーダーの育成ができる。
中学校	仕事の分担ができる。
中学校	集団としての団結力を感じさせることができる。
中学校	集団としてまとまった時の迫力がある。
中学校	職員数が多いため、教材数や受け持ち学年が少なく、準備・評価がしやすい。校務分掌の負担が少ない。
中学校	人数は大きな力です。まとまれば大きな力になります。
中学校	先輩が多いため、学ぶべき対象が多い。
中学校	相談相手が多い。校務の負担が軽い。
中学校	他クラスなどの工夫を取り入れることができる。
中学校	多くの教師の目で生徒たちを見ることができ、指導もできる。
中学校	多くの教職員がパワフルに力を発揮し、指導できる。
中学校	多くの視点で考えることが可能。
中学校	多くの人と関わることで、学ぶことが多い。人間関係での良くない面が薄まる。
中学校	多くの生徒と触れ合う中で、緊張感を持って毎日過ごせる。
中学校	大きな集団の中での時間管理状況判断をしての動きが様々な人との関係の作り方、保ち方が自然と身に付く。

小中別	大規模校×強み×教員の立場から
中学校	大人数で大きな取り組みができる。
中学校	担当する範囲が狭いため、深く教材の準備ができるのではないと思う。
中学校	担任の交流ができる。様々な考え方が学べる。
中学校	仲間と共に高め合う関係を築くことができる。
中学校	部員数も多く、いろいろな視点から生徒指導ができる。
中学校	部活動が多く設置でき、様々な分野で教員の活躍が期待できる。
中学校	部活動で人数不足になることがない。
中学校	分掌が少ない。学校全体で動ける。
中学校	分掌の種類が少なく、専念しやすい。
中学校	役割を上手く分担できる。
中学校	あまり強みはない。
中学校	いろいろな環境の生徒がいる中で、集団を良くしていき、みんなで良い方向に向かえるという実感が味わえ、成長もできる。
中学校	ダイナミックな取り組みができる。多様な価値に。
中学校	チームが大きいので、いろいろ相談とか分担とか協力とかできる。
中学校	より専門的な教科、領域、委員会をそれぞれが担当し、兼ねなくても良い。
中学校	リーダーなどの人数が多い。
中学校	学校に活気が出る。
中学校	学校の活動全体が活発化する。
中学校	競い合う力がつく。
中学校	教員の員数が多いので、得意な所で力を出せる(専門性)。役割分担が上手くいくと、多くの生徒が誰かと繋がりがやすく、信頼関係が築ける。
中学校	教員数が確保できる。
中学校	教員数が多いので、一人一分掌で自分の仕事に専念できる。また各教師の個性・特技が活かしやすい。
中学校	教員同士カバーしやすい。
中学校	教師の仕事分担ができる。
中学校	教師集団の層が厚く、部活を担当できる教師が多い。
中学校	校務分掌がしっかり分けられ、事務的な面で分担がしっかりできる。
中学校	校務分掌が分担できる。
中学校	校務分掌を多くの人数で分担できる。
中学校	行事などで人員がいる(余裕ができる)。
中学校	行事など広い領域の活動をさせることができる。
中学校	行事やクラブ活動に活気が出る。
中学校	集団を動かす力がつく。
中学校	生徒も教員も人材が豊富。
中学校	組織的な動きが取れる。
中学校	他の先生方の実践を学びやすい。仕事を分担しやすい。
中学校	多くの教員で生徒を見守ることができる。役割分担をしやすい。
中学校	多くの生徒と接することができる。リーダーを育てやすい環境にある。
中学校	大きい集団としての育成ができる。
中学校	大人数の教師で生徒を見ることができる。
中学校	担当学年に集中して指導できる。部活動などもより高いレベルを目指して指導できる。
中学校	同じ教科の教師が多く、相談などがしやすくなる(刺激を受けられる)。校務分掌が明確になり、取り組みやすい。
中学校	部員の人数が多いので、必然的にそれぞれの分掌を担当する人数も多くなり、より組織的な活動ができる(層が厚い)。一人の生徒に対して、たくさんの教師で関わるができる。
中学校	部活動において人数の観点からいうと、活性化が図られる。
中学校	様々なタイプのクラスが作れ、人間関係の問題を考慮したクラス作りができる。
中学校	様々な学習活動が展開できる。
中学校	様々な行事が多彩に、ダイナミックに行うことができる。
中学校	学校行事などが活発になり、活性化できる。
中学校	教員の数が増えることで校務分掌での担当が減り、事務処理の仕事は減る。
中学校	生徒からの多様な考え方を活かして授業の組み立てができる。
中学校	多くの教師が意見を出し、検討し、役割分担し、取り組める。
中学校	教員数が多いことにより、一人一人に与えられる仕事量に偏りがあまり出ない。

小中別	大規模校×強み×教員の立場から
中学校	行事が盛り上がる。
中学校	集中の中で社会性を身に付けることができる。
中学校	教職員が多いので、いろいろな視点、考え方から子どもを見られる。一つの校務分掌に集中できる。
中学校	人数が多いことを活かした授業や部活動、行事ができる。
中学校	切磋琢磨する生徒の指導。指導方法や授業の進め方(各教科)について相談できる。
中学校	多人数を動かすことで、行事などでの完成度などスケールの大きい物ができる。
中学校	多様な人間関係を作らせられる。

(3) 大規模校 × 弱み × 児童・生徒の立場から考える意見

表 3 大規模校×弱み×児童・生徒の立場から〈学校関係者調査〉

小中別	大規模校×弱み×児童・生徒の立場から
小学校	いろいろな人間関係の中に入りにくい子どもにとって、刺激が多すぎる。
小学校	クラブや行事などで自分の思いが通らない場合がある。
小学校	一人一人に関わってもらえる時間が少なくなる。
小学校	一人一人に目が届きにくく、きめ細かな指導が難しいこと。
小学校	一人一人の良さが活かされず、集団の中に埋没してしまうことがある。
小学校	活躍の場が制限されることが多い。
小学校	強み(多様な考えに触れ、社会性や協調性が身に付く。)の逆。
小学校	強み(学校生活の活性化。切磋琢磨。強い向上心。)の逆。
小学校	教師の関わりが少なくなる(そのことで育つ面もあるが、学力課題への対応などは)。
小学校	個に関わってもらえない。
小学校	細かい支援が受けられないこと。
小学校	集団に埋もれてしまうことがある。
小学校	先生との関わりが薄くなる。友達同士の繋がりも弱い場合もある。
小学校	大集団の中に埋没してしまうこともある。
小学校	豊かな個性を持った児童が、集団の中で発揮できないことがある。特に秀でていないと、教師から取り上げてもらえないことも多い。
小学校	遊び場が少ない。
小学校	落ち着いた関係づくりが難しい。
小学校	児童一人一人のきめ細かな指導や支援が受けられない。
小学校	自分が集団の中に埋もれてしまう。
小学校	「話を聞いてもらえない。自分も見てもらえない」「自分がやらなくても誰かが」という消極的思考が生まれる。
小学校	いい意味でも悪い意味でも刺激を受けるので、落ち着いて学習や生活ができない。
小学校	きめ細かな教員の指導を受けることに課題が出てくる。
小学校	きめ細かな指導(一人ひとりにあった)が受けにくい。
小学校	きめ細かな指導(特に学習面で)を受ける機会が減る。
小学校	きめ細かな指導がしにくい。
小学校	きめ細やかな教育に欠ける。集団が育っていないと、大きな荒れに繋がり、通常の教育が受けられない。
小学校	クラス替えがあるので友達関係が心配。
小学校	クラス内の人間関係が上手くいかにことが、クラスの学級経営、集団作りにも影響を及ぼす場合。
小学校	たくさんの人数は埋もれてしまって、自分と向き合う時間や機会が減る。
小学校	どうしても一人一人が活動する場面が減る。
小学校	トラブルが発生しやすくなる。人数が多いために、活動量が減る。
小学校	よく自分を知ってもらえない。
小学校	わからないことがわからないままになってしまう。
小学校	一人一人があまり個別に見てもらえない。
小学校	一人一人が埋もれてしまうこともある。
小学校	一人一人にきめ細かな指導ができていく。
小学校	一人一人に関わってもらえる時間が少ない。チャンスが(リーダーなど)回ってこない。
小学校	一人一人に目が行き届かない。
小学校	一人一人に目が届かない。
小学校	一人一人の発言時間や役割の分担数が少ないため、したいことや言いたいことが言えないことがある。1つのことをするのに時間が掛かるため、一人当たりの活動時間は短くなる。
小学校	一人一人の役割、存在が明確になりにくい。
小学校	一人一人活躍する場が限られてしまう。
小学校	一人一人丁寧に…ということがされにくくなってしまう。
小学校	雨の日など遊ぶ場所が少ない。
小学校	運動場、体育館などの施設が余裕を持って利用できない。
小学校	課題を見過ごされやすい。
小学校	外での遊びに制限がかかる。
小学校	学習活動など、学校生活全てにおいて、できることの限度があり、子どもの経験の幅が狭くなる。
小学校	学力が低い児童が見逃されやすい。

小中別	大規模校×弱み×児童・生徒の立場から
小学校	学力面や人間関係の面で上手くできない児童はしんどい。
小学校	活躍できる場が少ない。
小学校	活躍の場が減る。
小学校	競争意識だけでは、ほんの一部の者だけしかたくましくならない。
小学校	教員が一人一人が活躍できる場を意図的に作り出さないと、多勢の中に紛れてしまう。
小学校	教員に教えてもらう機会が少ない。教具や設備が十分に使えない。
小学校	教員の目が行き届きにくい。集団に馴染みにくい子も…。
小学校	教員の目が小規模校に比べ行き届きにくい。
小学校	教具など実際に利用する機会が少ない。
小学校	教師からの支援が必要な子が十分に支援を受けられない。
小学校	教師に相談しにくく、問題が深刻化しやすい。
小学校	教師の指導の目が届きにくい。新興住宅地などがあると、落ち着きに欠ける。
小学校	教師の目が行き届かないことが多くなる。
小学校	教室、運動場がいっぱいで狭い。個人の物を置く所が少ない。
小学校	繋がりが薄い。地域の繋がりが作りにくい。
小学校	個が集団に埋没しやすい。
小学校	個人の活躍の場が限定されたり、一部の者に偏る傾向がある。
小学校	個性が埋もれる。
小学校	個別に対応してもらう時間が少ない。
小学校	個別の関わりをしてもらいにくくなる。
小学校	個別の支援が受けにくい。待ち時間が長くなる。大勢で少ない教具や資料を分けないといけない。
小学校	行事・取り組みなどで活躍する機会が少なくなる。教師との関わりが少なく、丁寧に見てもらえない。
小学校	細かい指導が受けられない。
小学校	思いや意見が汲み取られない時もある。多人数での人間関係に疲れる場合もある。
小学校	支援の必要な児童に手厚い支援が得られない。一人一人の児童にとっても目が掛けられない。
小学校	施設、設備が余裕を持って利用できない。活躍の場が少ない。
小学校	施設、設備の利用時間や回数が限られる。
小学校	自分が十分出し切れないことがある。教師など十分関われないことが起こり得るかもしれない。
小学校	自分の思いを表現できなかったり、良さを発揮できなかったりする。
小学校	自分をしっかり見てもらえない。個別対応がしてもらえない。
小学校	集団が苦手な子には辛い。グループ化による心理的負担。学級数の多さによる活動の制限。例：運動場が使えない、タブレットの台数が足りない。教員の目が届きにくく、学習・生活面や人間関係で問題が生じやすい。
小学校	集団の中で埋もれてしまい、見落とされる児童が生まれる。
小学校	集団の中に個性が埋もれてしまうことがある。
小学校	集団の中に埋もれて、個性が発揮しにくい。
小学校	集団の中に埋もれてしまい、力を発揮しにくい。
小学校	集団の中に埋もれて見てもらえない。
小学校	小規模校よりも友達との関係が広く浅くなる。
小学校	上手いかないと集団としてまとまりにくい。
小学校	新しく出会う友達関係が良くも悪くもなりやすい。学年によってリセットできることが多いが、人間関係が長期的に不安定である。
小学校	人間関係を作ることが難しい児童にとっては、大集団で自分を出すことが難しい。
小学校	性格上合わない友達とのケンカが多い。個に応じた指導を受けにくい。
小学校	先生の適切な支援を得にくくなる。
小学校	全学年で活動することになると、なかなか先生に自分のことを見てもらえない。
小学校	全体の中に埋もれる。主役として活躍できる機会を得にくい。
小学校	多くの児童がいると、自己主張できない子が見い出せず、とすれば活躍できない。
小学校	多すぎると目立ちにくく、個性が出しにくい。個人の活躍の場が少なくなる。
小学校	多人数に埋もれて、一人一人の良さが生かしきれない。
小学校	対抗意識が強くなる。
小学校	大きい集団の中で、自分を活かした活躍をする人が限られてしまう。
小学校	大勢の中で個人が埋没する。
小学校	大勢の中で埋もれてしまう。
小学校	知らない子が多く、悪口やかからかいの怖さがある。

小中別	大規模校×弱み×児童・生徒の立場から
小学校	丁寧な生活・学習の支援が行き届かない。
小学校	同年齢の繋がりは強いが、異年齢の繋がりが弱い。
小学校	特別な支援が必要な児童が、必要なケアが受けられない。
小学校	発表会など役割が当たらない児童がいる。
小学校	備品に限りがあり、直接体験できにくい。
小学校	複雑な人間関係を築いてしまう。
小学校	目が行き届かず、学力に不安がある子どもへの対応が。
小学校	目が行き届かないので、ケガなどトラブルが増える。
小学校	目立たない子は、集団の中に埋もれがちになってしまう。
小学校	一人一人のスペースが狭く、落ち着きにくい。個別に関わってもらい、また活躍できる場が限られる。
小学校	一人一人の活躍場面が少ない。人間関係を結ぶことが難しい(トラブルが多い)。運動場が狭い、教室が狭い。
小学校	活動・活躍できる場面が限られる。特に学力が低い児童が十分理解するための時間が取れない。
小学校	活躍の場が小規模校に比べると少ないため、リーダー性が育ちにくい。
小学校	個々の活動内容が薄くなりやすく、活躍の場面が少ない。
小学校	今、配慮のいる子が増える中、柔軟に使えて、安心して教室に戻るスペースが必要になってきている。そのゆとりがない。
小学校	思いを伝えられない(友達や先生に)ことが多い。グラウンドなどが狭い。
小学校	施設面や備品など不十分。
小学校	事象、問題を見過ごされる。個が埋もれる。個々の繋がりが希薄。
小学校	児童一人一人に対して、きめ細かい指導を受けることができない。
小学校	自分を出せない。活動量の少なさ。
小学校	集団の中で埋もれてしまう。主体的な力がつきにくい。学習がわかりにくい。
小学校	人数が多すぎて個性が出せなくなる。
小学校	制限される活動が多い(場所など)。
小学校	大集団に埋没し、良いことも悪いことも目立たなくなってしまう。
小学校	目立たないと目に留めてもらえない。
小学校	落ち着いて学習しづらいことがある。1つのことをするのに時間が掛かる。多数の中で個人が埋もれてしまう。
小学校	落ち着かない。刺激が多すぎる。機会が少なくなる。
小学校	一人一人に掛ける時間が少ない。運動場や体育館で遊ぶ際の一人当たりの面積が狭く、自由に使えない。ケガも多い。
小学校	一人一人の活動の場が少なくなるため、責任を持ってやり抜く力が育ちにくい(やる子はやる、やらなくてもよい子はやらないなど)。
小学校	各担任は一人一人の把握はできていると思うが、学校全体となると把握しきれない。
小学校	教職員から個別に関わってもらえる時間が短い。教職員の目をすり抜けて、力をつけられない児童もいるのではないと思う。
小学校	個々に声掛けがされにくい。
小学校	施設、設備が使いにくい(制限される)。
小学校	全校児童の名前、顔がわからない。知らない人がいっぱいいる。
小学校	大きな集団の中で自分の思いが十分出せない。能力や個性を十分発揮できない児童もいる。
小学校	大人から一度も声を掛けられずに帰宅する児童がいると思う。
小学校	煩雑になりがち。
小学校	学習の細やかな指導はできない気がする。全体指導のみ。
小学校	個々の力が発揮される機会、活躍できる場が少ない。
小学校	児童相互の人間関係が希薄になり、真の友人関係が築けにくい。
小学校	十分に配慮してもらえない。
小学校	大勢の中に埋もれてしまい、自分の持ち味を出す場が少ない。
小学校	1学級の人数が多く、発表などの回数も少なくなる。
小学校	グラウンドや体育館での活動が狭められる。
小学校	一人一人を見てもらえない。
小学校	個別に関わってもらえる時間が少ない。リーダー性(責任感)が育ちにくい。
小学校	集団の中で埋もれる場合がある。
小学校	人間関係が希薄である。
小学校	大勢の中で埋没してしまう。

小中別	大規模校×弱み×児童・生徒の立場から
小学校	配慮してもらえないことが多い。
小学校	目立たない児童とリーダー性のある児童の差(活動)が出るので、やる気にも差が生まれる。
中学校	きめ細かい指導が受けられない可能性がある。
中学校	個性を発揮しにくくなる。
中学校	行事や部活動などで活躍できる割合が減る。
中学校	自分の居場所、存在感を見つけることが難しくなることがある。
中学校	生徒一人一人へのきめ細やかな指導ができない。
中学校	多数の中の一人というレベルで捉えることが多い。施設面で窮屈な中での生活となる。数が多すぎるとまとまりという点で難しい面が出てくる。
中学校	大多数の考え方に流されやすい。
中学校	“その他大勢”になってしまうと嫌だ。
中学校	いろいろな役職を経験できない。大勢の中に埋もれて、力を十分に発揮できない。
中学校	その他大勢の中の1人になりがち。
中学校	トラブルが起こりやすい。
中学校	一人の存在が薄まる。
中学校	一人一人の活躍の機会が少ない。
中学校	一人一人を丁寧に構ってもらうことができないことがある。
中学校	学年の中でも知らない生徒がいて、全校での活動も学年セク特的で関係が希薄である。
中学校	活躍できる回数が減る。
中学校	競争についていくのが厳しい。
中学校	苦手な人とも顔を合わせないといけない。
中学校	個が集団に埋もれがちになる。
中学校	個々の繋がりが希薄で、集団の中に埋没してしまう。多数の中で息苦しさを感じる子には辛い。
中学校	個人に応じた指導をしてもらえない。
中学校	行事など一人当たりの時間、活動が多く取れない。
中学校	自分から発信しないと見てもらえない。自分らしさを周りに理解してもらえない(受け入れられない)。
中学校	自分の意見や主張を持ちながら、埋もれてしまう可能性もある。
中学校	自分の力を発揮せずに終わってしまう場合もある。
中学校	集団が崩れると元に戻しにくい。全体が見えにくい。
中学校	集団の意識が薄れる。
中学校	少集団に分裂し、トラブルが発生すると様々な面に広がりを持つ。
中学校	生徒とも教師とも深く関わられる。
中学校	他人に流されてしまうことがある。
中学校	多くの衝突。
中学校	多くの生徒の中で埋もれてしまう。話したことがない先生がいる。
中学校	多様な生徒がいるため、合わない者も多くなる。
中学校	大勢の中で個性が埋没してしまう傾向あり。
中学校	仲の良い生徒と同じクラスになれない。
中学校	同学年の人がわからない。
中学校	雰囲気や良くも悪くも作ってしまい、グループ化する。
中学校	勉強についていけない。
中学校	様々な生徒がおり、対応に苦しむこともある。
中学校	落ちこぼれるとついていけない。
中学校	あまりにも人数が多すぎると、たくさんのグループに分かれる。
中学校	クラブでレギュラーになりにくい。一人当たりの校地面積が狭くなり、活動しにくくなる。
中学校	クラブなどの人数や種類が多いが、中心メンバーになれる可能性が減る。使える施設や場所が限定される。
中学校	できることが限られる。
中学校	一人一人の先生に自分のことを深く見てもらいたい。
中学校	一体感が得にくい。
中学校	学年の中ですら、名前のわからない生徒がいる。関係の希薄化。
中学校	活躍の場が限られる。
中学校	活躍の場が少ない。施設や設備が全員使うには不十分。
中学校	関わりの少ない同級生が見られる。
中学校	疑問があっても、質問したり解決できないまま、授業が進む。

小中別	大規模校×弱み×児童・生徒の立場から
中学校	教員も多く、知らない先生もいる。部活の人数も多く、練習場所や時間が少ない。
中学校	教師から自分を見てもらえない。
中学校	個々の力が全体の場で発揮しにくい。
中学校	細かい点で見てもらえたり、関わってもらえない。
中学校	集団が大きすぎて、活躍できない子どもが出る。
中学校	真面目で控えめな生徒が集団の中に埋もれてしまいがち。活躍の場を与えるのが難しい。
中学校	人間関係がともすれば希薄になる。
中学校	人間関係が希薄になりやすい。一部の生徒のみの活躍に陥りやすい。
中学校	人間関係が希薄になる。
中学校	人数が多いので、目立たないと教師から見てもらいにくい。
中学校	生徒一人に対して教師の目が行き届きにくい(特に学習面)。
中学校	先生に関わってもらえる時間が少なくなる。
中学校	全員の団結心は生まれにくい。何となくやってもらう感じで事が進んでしまいがちで、責任感が生まれにくい。
中学校	全体の中で「自分」を発揮する場や活躍する機会が少ない。
中学校	全体の中に埋もれてしまう。個性が発揮しにくい。
中学校	大人数の中で個が埋もれてしまうことがある。
中学校	大多数の中で目立たない。
中学校	仲間関係が希薄かも。個別の活動の機会が持ちにくい。
中学校	同学年の仲間の名前を覚えることができなかつたりして、人間関係が希薄。学年や全校で移動や集合する時に時間が掛かる。先生たちから一人一人を大切に扱ってもらってないような気がする。
中学校	部員数の多いクラブでは試合に出場できなかつたり、活躍の機会が少ない。
中学校	無責任体質になりやすい。
中学校	細かくきめ細やかに手を掛けてもらうことが難しい。
中学校	自分の個性が出しにくい？
中学校	目立ったこと、目立つ子ばかりが認められたり、逆に叱られたりすることが増え、目立たない子が置き去りにされることが多くなる。
中学校	生徒間の人間関係が希薄になる。
中学校	一部の生徒としか関わらない。
中学校	部活動がしにくい。授業において目立つ子と目立たない子の差が激しい。
中学校	教師の目が届かない。全ての生徒に平等と言えない。
中学校	多い人数のため、活躍できる場が少なくなつたり、埋もれてしまう生徒ができると思われる。
中学校	多勢の中に紛れてしまう。
中学校	大勢に紛れて人任せになる。目立たない子は先生に見てもらえない。
中学校	発言したり活躍したりする機会が少なくなりかねない。

(4) 大規模校 × 弱み × 教員の立場から考える意見

表 4 大規模校×弱み×教員の立場から〈学校関係者調査〉

小中別	大規模校×弱み×教員の立場から
小学校	1 学級当たりの人数が多い場合、きめ細かな指導がしにくい。
小学校	きめ細かな指導がなかなかしにくい。
小学校	一人一人お互いの繋がり方が弱い。学級集団づくりが難しい。
小学校	一人一人に寄り添ったきめ細かな指導が難しい。
小学校	一人一人に目が行き届かない。回後の時間が取れず、学力が生指の時間がない。事務量が多い。
小学校	一人一人の活躍の場面を設定することが確保しづらい。
小学校	一人一人の良さを十分に見とってやれないことがある。
小学校	一人一人へのきめ細かな対応はできない。
小学校	課題を持つ児童の増加で対応に追われる。
小学校	強み(多様な考えに触れ、社会性や協調性が身に付く。)の逆。
小学校	強み(安定した校風作り。組織の活性化と人材育成。)の逆。
小学校	個が埋没しやすく、手をかけなければならない子に手をかけにくくなる。事務作業や生指などに時間が取られてしまう。
小学校	個に関われない。
小学校	個を活かす支援が難しくなる。
小学校	行事など時間が掛かりすぎたりする。
小学校	児童把握や指導面で行き届きにくい。
小学校	集団の中の一人として捉えることとなり、一人一人の背景を考え、個性を尊重できにくい状況となる場合がある。
小学校	体育館、運動場、特別教室の割り当てが不利。
小学校	物事の徹底が難しいこと。
小学校	児童一人一人に教職員の目が届きにくく、きめ細やかな指導が行えない。
小学校	重要な校務分掌に付きにくく、力もつきにくい。
小学校	きめ細かい指導が図りにくい。
小学校	きめ細かな指導ができにくい。
小学校	きめ細やかさに欠ける。
小学校	チームワークが弱い。
小学校	まとめにくい。校外学習で見学、体験しにくいことがある。
小学校	やはり人数が多いと大変。
小学校	ゆっくり丁寧に見ることができない。まとめることが難しい。
小学校	一人一人があまり個別に丁寧に見られない。
小学校	一人一人が活躍できる場を意図的に作り出す必要がある。やはり一人一人との関わりが薄くなり、きめ細やかな指導に欠ける。
小学校	一人一人が見えにくい。
小学校	一人一人が見えにくい。目立たない子が出てしまう。個に応じた指導がしにくい(手が回らなくなる)。
小学校	一人一人に十分に目が行き届かない。学力、生徒指導面。
小学校	一人一人に対する細かな支援ができにくい。
小学校	一人一人に対応する時間が少なくなったり、一人一人を細かい所まで見にくくなる。発言や意見を聞く時間も短くなり、児童との交流が薄くなる。
小学校	一人一人に目が行きにくい。動きが取りにくい。
小学校	一人一人に目が行き届かない時もある。
小学校	一人一人に目が行き届きにくい。
小学校	一人一人のきめ細かい指導が難しい。
小学校	一人一人のニーズに答える教育が十分にできない。
小学校	一人一人の学習状況の把握が難しく、またその補習の確保が難しい。
小学校	一人一人の学力を上げることが難しい。中間～上の子を放っておきがち。
小学校	一人一人の子どもの様子をじっくり見れない。関われない。
小学校	一人一人の児童と、ゆったり触れ合える時間がない。
小学校	一人一人の児童に関わりにくい。
小学校	一人一人の児童への目配り気配りが十分にできないことがある。
小学校	一人一人への気配りが難しくなる。
小学校	一人一人を細かく支援していくための時間が取りにくい。

小中別	大規模校×弱み×教員の立場から
小学校	一人一人を細かに見ることが難しい。
小学校	会議、打ち合わせに時間を要す。
小学校	会議、連絡、調整に時間が掛かる。
小学校	会議が多い。
小学校	会議が多く、放課後の時間(教材研究に使える時間)が少ない。連絡、調整、事務処理に時間が掛かる。
小学校	会議や意思統一の段取りなどが多く、学級の仕事になかなか取り掛かれない。
小学校	各学級の事務が多い(丸付けなど)。
小学校	各教員が持っている個性が出しにくい。動きにくさがある。
小学校	学校が常に騒々しく落ち着かない。何をやるにしても児童の把握が大変。
小学校	学習活動など、学校生活全てにおいて、できることの限度があり、子どもの経験の幅が狭くなる。
小学校	学習状況の細部に目が届きにくい。行事や社会見学の行動が制限される。
小学校	学年セクトに陥りやすい。
小学校	学年で固まってしまうと、他学年への関心が薄くなり、他の学年に関わっていくことが少なくなる。
小学校	学年で同一歩調を取らねばならず、教員個々の個性が出しにくい。
小学校	学年会などを開く時、また部会などで集まる時に時間が掛かる。
小学校	学年毎のまとまりで行動するので、他学年の様子や問題事象が把握しにくい。
小学校	活動するための場所の確保が大変。
小学校	教員同士うまくコミュニケーションが取れないと厳しい。
小学校	個に応じた指導が行き届きにくい。
小学校	個への対応をきめ細かくしていくことが難しい場合がある。
小学校	個々の課題に応じた指導が困難。
小学校	個別に関わったり、きめ細かに指導しづらい。
小学校	個別の対応すべき事象を見逃す時が出てくる可能性がある。
小学校	個別指導が困難である。
小学校	行事などの企画・立案が大変。打ち合わせなどの意思統一に時間が掛かる。
小学校	行動面など、時間が掛かる。いろいろな子がいるので、1つにまとめるのに難しい。
小学校	細かい指導が(個別の)できない。
小学校	仕事量が増える。
小学校	子どものサポートがどうしても見えにくく、気づかないことが多い。教具や施設が自由に使用できない。事務作業に追われることばかりになる。
小学校	子ども一人一人への対応がきめ細かくない。担任としての業務が増える。
小学校	施設、特別教室、備品などの配当が難しい。専科の先生との調整も難しい。
小学校	施設面による制約があり、十分な教育を保障できない場合がある。1人の荒れがクラスの荒れ、学年の荒れに繋がり、通常の教育活動が行えない。きめ細やかな目配りができない。
小学校	事象などで子どもの顔が浮かばないこともあるかも？
小学校	事務処理が追いつかない。
小学校	事務処理や打ち合わせに時間が取られる。
小学校	事務的な仕事が多い。一人一人を丁寧に見られない。
小学校	児童の状況把握や対応に、日々体力、精神力が多くなる。
小学校	児童一人一人にきめ細かい指導が行き届かない。
小学校	児童一人一人にきめ細かな指導がしにくい。
小学校	児童一人一人に関わる時間が足りない。会議が多くなる。
小学校	児童一人一人に合わせた指導が行いにくい。
小学校	児童一人一人に目が届きにくい。
小学校	児童数が多いと、きめ細やかな指導が難しい。
小学校	自己主張の強い人の協調性が難しい。
小学校	手厚い支援が不可能。もどかしさがある。
小学校	集合に時間が掛かる。話し合いに時間が掛かる。テスト、プリントの丸付けが多い。
小学校	小規模校ほどは一人一人をきめ細やかに見れない。
小学校	職員の意思疎通がしにくい。
小学校	人に任せてしまうことがある。
小学校	人数が多いので、日々の丸付けなどに時間が掛かり、勤務時間が長くなる。
小学校	人数が多すぎると学年全体を把握するのが大変。一人一人にかけてあげられる時間が少しくなる。
小学校	人数制約され、できないことがある。
小学校	生徒指導上の問題が起きやすい。

小中別	大規模校×弱み×教員の立場から
小学校	生徒指導上の問題や、成績処理に時間が掛かる。学年会に時間が掛かると、自分の時間が少なくなる。
小学校	設備や特別教室の使用する際に、様々な調整が必要で、使用が困難である。
小学校	全ての児童に目が届かない。自分の思う通りに授業を進めにくい(変更などが難しい)。
小学校	全員に同じように目が行き届かない。子ども(様々な)がいるため。
小学校	全体の把握、統一した指導。
小学校	組織の構成が大きくなりすぎ、会議などで時間を取られすぎる。
小学校	他学年の先生との交流が少ない。
小学校	多人数すぎることで事務処理、様々な事象対応に追われる。
小学校	打ち合わせが多くなる。1学級の人数が多いと学級事務に追われる。
小学校	打ち合わせに時間が掛かる。
小学校	担任が全ての教科を受け持つため、学習指導の負担が大きい。人数が多い分、トラブルも多くなり、親への対応も増える。
小学校	中間層の子どもに目が届きにくい。
小学校	統率することが大変(ルール・規律)。精神的負担。
小学校	同じ学年の先生と何かと揃えないといけない。
小学校	日々の仕事の量が多い。
小学校	負担が大きい、研究授業に当たる割合が大きい(丸付け、成績、生徒指導、行事など全般)。備品が不足、小回りがきかない。
小学校	目が行き届きにくい。事務処理が多い。時間が拘束される。指示の徹底が難しい。
小学校	きめ細かい、丁寧な指導が行き届かない。
小学校	この活動機会を設定しにくい。一人一人に目が届きにくい。
小学校	一人一人にきめ細かな指導支援ができてにくい。
小学校	学級事務に時間が掛かり、教材研究の時間を確保しにくい。
小学校	活動場所や教具(用具)の制限により、十分な体験活動ができない。入学式、卒業式などの学校行事に全員が参加できない。
小学校	教員の意思統一が図りにくい。
小学校	教職員間のコミュニケーションが希薄になる。確認したことが確実にやり切れない(足並みが揃わない)。
小学校	個々の活動内容が薄くなりやすく、活躍の場面が少ない。
小学校	個々気になる児童にかける(関わる)時間が短い。手が回らない。事務作業に時間が掛かる。意思疎通が十分にできない。
小学校	行事や取り組みの際に、どうしても追い立てる形になり、ゆとりが持てない。
小学校	仕事量。個別指導など難しい。
小学校	施設・設備利用の制限が大きく、学習活動に余裕を持てない。授業内に学力差への対応が十分できない。
小学校	児童をどの子も同様に捉えられず、何かあった時の対応に遅れる。
小学校	児童一人一人に深く関わりきれない。
小学校	児童一人一人へのきめ細かな手立てが難しいことがある。
小学校	児童理解が十分でない時、できない時があるかもしれない。
小学校	小さな事象まで目が行かない。対応できない。
小学校	適切な支援がしにくい。丁寧な指導がしにくい。学力面で十分力をつけにくい。
小学校	目が行き届かない。全体が見えにくい。設備が不十分になりがち。
小学校	様々な活動において大掛かりな計画が必要となる。
小学校	きめ細かい指導ができてにくい。
小学校	一人一人に目が届かないこともあると思う。
小学校	共通理解しにくい。時間の余裕がない(児童対応、保護者対応など)。
小学校	効率を重視しないといけないことがあり、個々に目が行き届かないことがある。共同で使用する所(トイレなど)を清潔に保つことが難しい。
小学校	行事をする時にまとまりにくい。指導がしにくい。集団としてまとまりにくい。
小学校	児童一人一人に対し、きめ細かい指導や関わりをするためには膨大な時間が必要。仕事量が多い。
小学校	児童一人一人に目が届きにくい。施設、設備や特別教室、教材備品などが十分使えない。
小学校	職員全体で共通認識がされにくい。
小学校	全体の動きが把握しにくい。事務的なこと(記録の記入や丸付けなど)が多すぎる。
小学校	仕事量が多い。
小学校	子ども一人一人にきめ細かな指導がしにくい。
小学校	児童一人一人にあったきめ細やかな指導が行えない。

小中別	大規模校×弱み×教員の立場から
小学校	生徒指導のことが増える。
小学校	きめ細やかな指導がどうか。
小学校	一人一人の子どもと丁寧に向かい合うことができない。
小学校	学校全体に目を届かせるという点で課題が多い。
小学校	事務処理、テストやノートの丸付けなどに時間が掛かる。1学級の人数が多く、全ての子に学力をつけるのに限界がある。
小学校	児童一人一人の把握が困難。事務量も多い。
小学校	児童一人一人を全教職員で把握することが難しい。
小学校	時間がない。
小学校	時間を合わせることが難しい。人任せになる場合がある。
小学校	情報の共有がしにくい。
小学校	大勢で動くので、活動が制限されることがある。
中学校	いわゆる「普通の生徒」の個性が軽視されがち。
中学校	一人で担当する生徒の数が多く、全てに細かく対応することは難しい。クラスや生徒数が多いことで、校外活動などでも動きにくい。
中学校	一人一人に目が届きにくい。
中学校	一人一人に目を配る割合が減るとともに、事務的な仕事も負担が大きい。
中学校	学級・学年単位での動きが中心となる。
中学校	人に頼る。連携。チーム力。
中学校	多すぎると一人一人に掛ける時間・意識が薄れる。
中学校	クラスによってこだわりが異なり、統一するのが難しい。
中学校	一人一人と関わるのが難しくなる。
中学校	一人一人と接する時間が少ない。
中学校	一人一人に見切れないことが起こり得る。
中学校	一人一人に目が届かない時がある。
中学校	一人一人に目を配ることが困難である。
中学校	一人一人を見れない。
中学校	一人一人を丁寧に見ていけない。
中学校	一枚岩になりにくい。
中学校	何をやっても白けたムードになり、集団としてまとまるのに時間が掛かる。どうせクラス替えをして、バラバラになるのだからと生徒も教師も思ってしまう。
中学校	学校や学年間の連携が取りにくい。
中学校	関わりを持たない生徒が一定数いる。
中学校	規律を保ちにくい。
中学校	協力・連携が困難。
中学校	教師の目が届かない。
中学校	教師間の連携・意思疎通が疎かになる。
中学校	教師集団が一つになりにくい。
中学校	個々の対応に時間が掛かる。
中学校	細やかな指導ができにくいことがある。
中学校	指導が行き届かない部分がある。
中学校	手が回っていない感がある。学年による統一ができていない。→「他の学年では許されているのに…」という文句が出る。
中学校	人数が多いため、個としての活躍の場が狭い。
中学校	生徒(全ての)小さな変化に気づきにくくなる。情報が全職員に伝わらないこともある(後手対応になる)。
中学校	生徒の名前を覚えるだけでも大変で、学年全員まで意識できない。教職員の学年セクト意識が強く、一体感が薄い。
中学校	生徒一人一人と向き合う時間が確保しにくい。
中学校	生徒数が多く、成績処理や事務作業の負担が大きい。
中学校	他クラスとの授業の調整。
中学校	他学年との関わりが薄い。仕事量の偏りが大きい。
中学校	知らない子が多い。
中学校	統一しながらの指導が難しい。
中学校	動かすことが大変。1つの行事でも多くの整理事項が必要となる。
中学校	突出生徒に振り回され、個々の生徒への目配りが不十分になる。

小中別	大規模校×弱み×教員の立場から
中学校	忙しい。授業数、その他含めて。
中学校	目が行き届かない。一人一人に平等に対応できない。
中学校	目が行き届かない所。丁寧な指導ができないこと。
中学校	連携の難しさ(学年)。
中学校	連携をしっかり取る必要性を全教員が理解していないと、動きを作りにくい。
中学校	連携不足になりがち。
中学校	一人の教師が一部の生徒にしか関われない。
中学校	一人一人と接する時間が少ない。名前のわからない子などもある。
中学校	一人一人にきめ細かく指導できない(気になる生徒に手を取られる)。事務量が多い。
中学校	一人一人に目が届きにくい。
中学校	一人一人に目を行き届かせるのが困難。
中学校	一人一人を丁寧に見てあげられない時がある。個よりも集団を守ることをしなければならない時がある(そのため少数意見は反映されない)。クラス間や学年間での情報の交流や連携ができにくくなる面がある。
中学校	一部の教師のみの動きに陥りやすい。
中学校	学校全体を把握しにくい。
中学校	学年サイドの動きになり、教師が一致した指導体制を取りにくいことがある。
中学校	教員数が確保できない。
中学校	教師の意思統一が難しくなる。
中学校	個の生徒を見にくい。
中学校	個々の生徒の生活指導がしづらくなりやすい。
中学校	個々の生徒の面倒を見切れない。
中学校	個々の生徒への理解が十分にできにくい。特別教室などの設備を利用しにくい。
中学校	個別の細やかな指導が行いにくい。大人数を動かすのは大変。
中学校	校外での活動を考える時に、大人数を受け入れてもらえる施設が少なかったり、交通手段の選択肢がない。学年セクトで動くことが中心になり、他学年が見えにくくなる。
中学校	行動分担や役割が細分化されすぎると、全体が見えなくなる。
中学校	細かな所に目が行き届かなかったり、行動、行事などに小回りが利かない。校外活動の場に制限ができる。
中学校	集団との関わりが主となり、個人的に生徒と向き合う時間が減る。
中学校	職場体験など校外での活動場所に制限を受けやすい。
中学校	新しい教育や指導の取り組みがあまりなされない傾向がある。
中学校	生徒が多すぎて目が届かないことがある。
中学校	生徒との関わりが少なくなったり、指導が行き届かなくなる傾向がある。他学年の教員との関係が稀薄になりがちで、全体のまとまりに欠ける。
中学校	生徒の名前がなかなか覚えられなかったり、事務処理に要する時間が多くなる。
中学校	生徒一人一人に目が行き届かないこと。
中学校	生徒一人一人に目が行き届きにくい。
中学校	他学年のことが見えにくいこともある。
中学校	担当している生徒以外と関係を持ちにくく、全校生を把握することが難しい。
中学校	担当する人数が多いので、どうしても機械的な対応になる。
中学校	知らない人がたくさんいる。
中学校	統一して物事に取り組みにくい。
中学校	特色ある教育がやりにくい。
中学校	目が行き届きにくい。
中学校	目が届きにくく、生徒が崩れた時に立て直して苦労する。学力向上が難しい。
中学校	目立たない生徒に対しての話し込みや、内面理解が不十分になる時がある。
中学校	きめ細やかな指導が難しい。
中学校	一人一人と深く関わることができにくく、目の届かない把握ができない所もある。
中学校	保健室の来室者が増え、事務処理の量も増え、余裕がなくなる。
中学校	一人一人をきめ細かく見ることが難しい(見ていますが)。
中学校	学年間の繋がりが取りにくい。
中学校	子どもたち一人一人に目が行き届きにくい。学校、行事なども動きにくくなる。
中学校	全体指導がしにくい。学年によってやり方が違ったりするので…。他学年と授業がかぶったりして、やりたい授業ができなかったりする。

小中別	大規模校×弱み×教員の立場から
中学校	一人一人を丁寧に見にくい。
中学校	細かい所に目が届かない。
中学校	細かい配慮や指導がなかなかできにくいと思う。
中学校	生徒・特活など専門職化して、他分掌を見ることができない。一人一人の子どもに目が届かない。
中学校	知らない生徒ができる。

(5) 小規模校 × 強み × 児童・生徒の立場から考える意見

表 5 小規模校×強み×児童・生徒の立場から〈学校関係者調査〉

小中別	小規模校×強み×児童・生徒の立場から
小学校	いつも見守られているという思いを持ちやすい。
小学校	きめ細かな関わり。確かな学力。落ち着いた生活。
小学校	異年齢集団の活動など、各々が学年や立場に応じて役割を持ち活躍できる。
小学校	一人一人が中心となる活動、活躍する場がたくさん持てる。
小学校	一人一人に関わって指導してもらえること。活躍の場が増えること。
小学校	一人一人に合った教育をしてもらえる。
小学校	一人一人の活動が焦点化でき、活躍の場面が多い。
小学校	活躍の場があり、経験が積める。
小学校	児童同士の理解ができやすく、互いに支え合える関係が築きやすい。
小学校	親密度が高まる。
小学校	人との関わりが安定化しやすい。
小学校	先生に密に関わってもらえる。施設を十分に使用できる。
小学校	全員と仲良くできる。
小学校	全校生とコミュニケーションが取りやすい。
小学校	大規模校の裏返し。
小学校	密な人間関係を構築しやすい。幼い頃からの友達関係が維持できる。
小学校	友達との関わりが深く、絆が強まる。
小学校	少人数であるため、きめ細かな指導や支援が十分に受けられる。
小学校	勉強をしっかりと見てもらえる。
小学校	お互いのことがよくわかって、助け合える部分が増える。良さも課題もよくわかる。
小学校	お互いのことを理解し合い、助け合える。
小学校	きめ細かい指導や目がかけてもらえる。
小学校	きめ細かな配慮のもと、教育が受けられる。
小学校	きめ細やかな指導ができる。
小学校	きめ細やかな指導が受けられる。
小学校	きめ細やかな指導をしてもらえる。固定した人間関係における安心感。いろいろな役割の体験や活動経験ができる。
小学校	きめ細やかな指導を受けることによって、自分を見つめる機会が増えたり、よく知った仲間と生活や勉強ができる。異学年と交流できる。
小学校	きめ細やかな対応をしてもらえる。
小学校	しっかりと見てもらっている感、すぐに教えてもらえる、聞いてもらえる。待つことが少なく、自分がすぐに使えるものが1つある。
小学校	じっくり学習など指導してもらうことができる。
小学校	それぞれの児童の特性を相互に認知している。
小学校	ゆったりした中で人格形成できる。
小学校	ゆったりと関わってもらえる。つまづきにも時間を掛けて指導してもらえる。
小学校	より深く教師と関われ、丁寧な指導を受けられる。
小学校	わからない所があればすぐに尋ねられる。
小学校	安心して過ごせる。
小学校	意見が出しやすい。仲間意識が高まる。
小学校	異学年の児童と仲良く遊べる機会が多い。
小学校	異年齢との交流が持てる。
小学校	異年齢の結びつきが強くなり、クラス以外にも関係が作りやすい。
小学校	異年齢集団での関わりができる。
小学校	一人一人が使える設備や関わってもらえる機会が多い。
小学校	一人一人が主役となり得る。
小学校	一人一人にきめ細かく指導がなされる。
小学校	一人一人にきめ細かな指導が受けられる。
小学校	一人一人に丁寧に指導してもらえる。
小学校	一人一人に目が行き届く。丁寧に指導してもらえる。
小学校	一人一人の活躍の場がある。仲良しの友とクラス替えで離れる。
小学校	一人一人の活躍の場が増える。

小中別	小規模校×強み×児童・生徒の立場から
小学校	一人一人の活躍の場が多い。人任せにせず、自分がやる機会が増える。
小学校	一人一人の児童が丁寧に指導してもらえる。
小学校	一人一人の存在感。
小学校	一人一人の友だちとの仲が深まり、絆が生まれる。
小学校	一人一人の良さを発揮し、認めてもらえる場が多い。
小学校	一人一人へのきめ細かな対応がしやすい。
小学校	一人一人をよく知ることができると思う。
小学校	一人一人を丁寧に見られる。
小学校	一人一人活躍できる場が多く保障される。支えがしっかりする場合が多く、安心して活動できる。
小学校	運動会や音楽会での表現活動の工夫が必要。
小学校	運動場、体育館などの施設が余裕を持って利用できる。
小学校	家庭的な雰囲気の中で過ごせる。一人一人が個別化される。
小学校	学校行事や学習において、個に合った課題で学ぶことができる。
小学校	学習の目が細かく見てもらえる。
小学校	学年を越えた人間関係が作れる。指導が統一できる。
小学校	学年を越えて繋がりが持てる。
小学校	学年を越えて仲良くすることができ、優しさ思いやりの気持ちを育むことができる。
小学校	学年を越えて仲良くできる。教材(タブレットなど)を個人で使用しやすくなる。
小学校	学力の定着が図りやすい。わかるまで聞ける。相談しやすい。
小学校	活動がしやすい。学年間の連携が取りやすい。体育館や運動場が使いやすい。
小学校	頑張る場(機会)が多い。
小学校	競争できない。
小学校	教員から指導してもらいやすい。設備が十分に使える。
小学校	教員が目と手を掛けてくれるので、学習・生活の両面での成長が期待できる。深い人間関係を築くことができる。
小学校	教師がすぐ見てくれるので、勉強がよくわかる。
小学校	教師との関わりがしやすく、きめ細やかな指導が行える。
小学校	繋がりが強くなる。仲が深まる。縦の繋がりも強い。
小学校	個々の活躍の場が与えられ、一人一人にスポットを当てた教育ができる。
小学校	個々の思いを汲み取ってもらえる機会がある。
小学校	個人個人の絆が深まる。先生に「話を聞いてもらえない。見てもらえない」と思う子が少なくなる。
小学校	個別の支援を受けやすい。教具、教材が十分に行き渡り、活動しやすい。待ち時間が短い。
小学校	個別の対応を多く受けられる。
小学校	個別指導など、一人一人に目が行き届くため、個人の力が発揮できる。
小学校	細やかな指導が受けられる。誰もがリーダーとして活躍できる。
小学校	子どもたち同士の関係が温かく、家族のような雰囲気なので、落ち着いて学習や生活ができる。
小学校	子どもの相互の関わりが濃密になる。落ち着いた学習環境が望める。
小学校	子供同士の絆の深まり。
小学校	児童一人一人に向けてきめ細やかな教育ができる。
小学校	児童相互の関係が築けやすい。
小学校	児童同士の繋がりが持ちやすい。
小学校	自分の意見などを汲み取ってもらいやすい。
小学校	自分の良さや得意なことを発揮できる機会が多い。
小学校	集団として、団結力が強まる。一人一人が活躍しやすい。
小学校	少集団として1つの仲間意識が持ちやすく、温かく過ごしている。自分の活躍できる場が多く、落ち着いて生活できる。
小学校	少人数なので、活躍の場が多くある。異年齢活動が多くあり、全校生の仲が良くなる。
小学校	上手いけば安定した人間関係が長期的に続く。
小学校	深い繋がりができる。
小学校	深い人間関係の構築ができる。きめ細やかな指導ができる。
小学校	人との繋がりを深められる。
小学校	人間関係が作りやすい。
小学校	人間関係が濃くなる、強くなる。
小学校	人間関係の面で絆が深まる。
小学校	先生との関係が持ちやすい(わからない所を質問するなど)。

小中別	小規模校×強み×児童・生徒の立場から
小学校	全校での集団づくりがしやすい。
小学校	全校の児童と関係を築き、クラス以外にも居場所ができる。
小学校	全校の名前を覚えやすい。まとまりやすい。
小学校	相互のことをよく理解している。
小学校	他学年との繋がりが深く、お兄さん・お姉さんから学べることが多い。
小学校	大人(教師)とのコミュニケーションの度合いがより大きい。
小学校	地域のことなどきめ細かに学ぶことができる。
小学校	仲間意識が強くなる。
小学校	仲間一人一人の生活や考えを理解できていること。
小学校	丁寧な指導が受けられる。
小学校	同じ仲間で絆が深めやすい。
小学校	友達との関係が深く、安心して暮らせる。知っている先生ばかりで安心できる。
小学校	友達同士、対教師などの密な関係。
小学校	良さ悪さともにわかってくれる友だちがいること。
小学校	絆が強まる。
小学校	絆が深まる。
小学校	アットホームな雰囲気の中、落ち着いた学校生活が送れる。
小学校	安心した人間関係、安定した時間の流れがより多くできる。
小学校	異年齢の繋がりが強まる。同年齢同士の繋がりが強くなる。
小学校	一人一人が大切にされる。活動量、学習量が多い。
小学校	一人一人が様々な活動に主体的に関われる機会が多い。
小学校	一人一人の活躍する場が多く、力を高めることができる。
小学校	一人一人の活躍の場が増える。
小学校	一人一人への手立てが手厚い。
小学校	運動場など遊ぶ時に広く使える。教材、教具の使用がしやすい。
小学校	家族のように接することができる。学習が主体的である。
小学校	家族的付き合い。
小学校	学年を越えた絆がしやすい。
小学校	個が活かされる。自分を活かす、表現する場が多い。リーダーとして動きやすい。
小学校	個別指導など、手厚い指導が受けられる。相手を思いやる気持ちが育つ(みんな仲良し)。
小学校	少人数なので、学力の保障がしやすい。
小学校	深い人間関係(友人関係)。
小学校	先生に全て知ってもらえて安心。先生との距離が近く、すぐに先生に対応してもらえる。縦割りの友達とも仲良くなれる。
小学校	担任はもちろん、他の先生からも関わってもらえる機会が多い。発表や活躍の場が一人一人にある。
小学校	役割・責任を担う場の設定が多く取れる。絆の深まり。
小学校	友達の顔や名前をみんながわかり、仲良くできる。学年を越えた関わりが自然にできる。丁寧に教員に関わってもらえる。
小学校	落ち着いて学習できる。機会が多くなる(何にしても)。施設がゆったり使える。
小学校	あらゆる場面で、きめ細かな指導が受けられる。運動場や体育館など、余裕を持って利用できる。そのためケガも少ない。
小学校	クラス内の人間関係の絆が強まる。施設、設備が余裕を持って使える。
小学校	それぞれが体験、活動をする場を多く与えてもらうことができる。
小学校	一人一人が活躍できる場がある。他学年との繋がりがしやすい。
小学校	一人一人を大切にしてもらえる。一人一人に役割が与えられ、責任・自覚を持って頑張ることができる。
小学校	学校生活全般において、きめ細やかに見てもらえる。
小学校	学年を越えての交流が日常的にあり、優しい雰囲気、人間関係の中で学校生活が過ごせる。
小学校	個別指導がされやすい。
小学校	細やかに学習指導を受けることができる。運動場でも思いっきり遊べる。
小学校	先生との距離感が近い。全校みんな友達(名前と顔がわかる)。
小学校	きめ細かく対応してもらえる。
小学校	一人一人の責任が大きく、最後までやり遂げる力がつきやすい。
小学校	運動場・体育館などの施設や特別教室、教材備品など余裕を持って利用できる。
小学校	個々の児童の課題に目を向け、よりきめ細やかな指導ができる。
小学校	きめ細かに接してもらえる。

小中別	小規模校×強み×児童・生徒の立場から
小学校	きめ細やかに関わってもらえる。
小学校	まとまりやすい。わからないことなど聞きやすい。
小学校	一人一人と深く関わり合うことができる。他学年との関わりも多くなる。
小学校	一人一人の役割が合って、活躍できる場面が多い。
小学校	一人一人の役割が明確になり、多くの経験ができる。
小学校	学校全体が家族的な雰囲気となり、見てもらいやすい(サポートしてもらえる)。
小学校	人間関係が深まる。
小学校	人間関係に深まりが見られ、わかり合える仲間になる。
小学校	友達関係を深められる。
小学校	幼い頃から同じ集団で上がっているの、友達の良い所も悪い所もわかっている。
中学校	きめ細かい指導を受けることができる。
中学校	一人一人に目が届いてくれる(人間関係、学力など)。
中学校	学年を越えて他学年とも交流しやすい…まとまりがある。教師からきめ細かい指導を受けやすい。施設面で余裕がある。上手くいった時には仲間との絆が大変強いものとなる。
中学校	個に応じた学習環境。
中学校	人間関係のストレスが少なく、親しい友人関係が作れる。
中学校	相互によく知る生徒が多く、上手くいけば信頼が強まる。
中学校	1人1役ができる。
中学校	お互いがお互いをよく知っているの、安心して自分の良さを出すことができる。
中学校	きめ細かい指導が受けられる。
中学校	きめ細かに対応してもらえる。
中学校	安心して過ごすことができる。
中学校	一人一人がより大切にされる。きめ細かい指導を受けることができる。
中学校	一人一人が個人として認識され、大切にされる。
中学校	一人一人が互いを理解でき、学年・学校でも相互理解しやすい。
中学校	一人一人に指導をきめ細かくしてもらえる。
中学校	一人一人の活躍が生きる。
中学校	一人一人の活躍の場が持てる。
中学校	一人一人の個性が大切にされ、互いに理解し合えているので、気持ちが安定している。
中学校	一人一人の人間関係がより深く、お互いに理解し合える。支え合える。
中学校	一人一人をしっかりと見てもらえる。
中学校	学年を越えた交流が密にできる。
中学校	学年関係なく、子供同士のネットワークが形成される。
中学校	活躍の場が多い。
中学校	慣れた人同士になる。
中学校	教師との距離が近くなり、より良い関係を築く。
中学校	繋がりが深くなる。
中学校	繋がりが濃い。
中学校	個別にきめ細かい指導をしてもらえる。少ない人数で和気あいあい生活できる。
中学校	互いをよく知る中で、落ち着いた学校生活を送ることができる。
中学校	自分のことをみなに知ってもらいやすい。指導者(教師)との関わりが持ちやすい。
中学校	授業中に質問、発言がしやすい。
中学校	集団がブレにくく、過ごしやすい。
中学校	少ない人数で絆が深められる。
中学校	少人数の中で落ち着いて学習に取り組める。
中学校	上・下級生も含め、一体感のある日々が過ごせる。
中学校	生徒やそれぞれの先生方と接する時間が増え、より充実した時間を過ごすことができる。
中学校	全校生徒が仲良くなれる。
中学校	仲が深まりやすい。
中学校	否が応でもいろいろな人との関わる機会がある。
中学校	比較的落ち着いた生活が送れる。
中学校	目を向けてもらいやすい。
中学校	様々な役割をすることができる。
中学校	お互いの関係性を濃いものにできる。
中学校	お互いの距離が近く、団結力が増す。

小中別	小規模校×強み×児童・生徒の立場から
中学校	きめ細かい指導を受けられる。
中学校	きめ細かい指導を受けることができる。
中学校	みんなと仲良くできる。
中学校	リーダーになれる機会が多い。代表に選ばれる機会が多い。
中学校	一人一人にきめ細かく対応してもらえる。
中学校	一人一人をよく見てもらえる。
中学校	一人一人をよく見てもらえる。力を伸ばしてもらえたり、支援を仰ぐことができる。
中学校	一人一人役割を担い、活躍できる場面が多い。
中学校	一致団結して取り組むことができる。
中学校	活躍する機会があらゆる活動で保障されやすい。
中学校	活躍の場が多い。体育祭など出場しっぱなしである。
中学校	競争を意識し過ぎることなしに伸び伸び学習できる。
中学校	個々の自覚が高まる。
中学校	個々の内面をよく知ることができる。部活動、行事など、様々な場面で活躍できる機会が多い。
中学校	互いに理解し合い、コミュニケーションが取りやすい。
中学校	手厚い指導を受けられる。
中学校	人間関係が深められ、安心して生活できる。
中学校	人間関係を深めることができる(理解も深まる)。より強い絆を作ることができる。教師との距離感が非常に近く、学年が違う先生であっても、どの先生であっても繋がりを持つことができやすい。
中学校	生徒一人に対して教師の目が行き届きやすい。
中学校	生徒同士の絆が深まる。
中学校	生徒同士や教師と関われる時間が多い。
中学校	先生に関わってもらえる時間が増える。
中学校	地域の方々のことが知りやすく、深い関係が築きやすい。
中学校	仲間同士の強い繋がりを持つことができる。
中学校	仲間同士の絆を築きやすい。
中学校	丁寧に見てもらえる。
中学校	濃い関係の中から強い連帯感が生まれる。
中学校	部活数が多く、その中から希望するクラブが選択できる。
中学校	友人とより深い関わりができる。一人一人が主役となれる機会が増える。教師との距離が近い。
中学校	友人の数は少ないが、深まる。
中学校	連帯感が生まれる。
中学校	少人数で学べる。
中学校	友人を深く理解でき、相手に合った関わり、手助けができる。
中学校	様々な場面できめ細かい指導を受けられる。多くの子の活躍の場がある。
中学校	きめ細かく見てもらえる。
中学校	学校全体の絆がより深いものになる。
中学校	縦横の繋がりが密な所。どの学年とも交流できる。
中学校	小学校からずっと同じ人間関係が続く。
中学校	1人1役2役と、いろいろな部分場面で責任を持って行動したり活躍する機会がある。異年齢の関わりができる。
中学校	一人一人の活躍の場がある。教師に見てもらえているという実感がある。
中学校	一人一人の優れた面を認めてもらいやすい。
中学校	一人当たりの責任が重くなり、人任せにできなくなるため個々の力がつく。
中学校	少ない人数でまとまり、みんなと仲良く一致した方向に進みやすい。

(6) 小規模校 × 強み × 教員から考える意見

表 6 小規模校×強み×教員の立場から〈学校関係者調査〉

小中別	小規模校×強み×教員の立場から
小学校	きめ細かな指導ができる。
小学校	きめ細かな指導ができる。一人一人の活動機会が増える。
小学校	きめ細かな指導を行うことができる。全校児童に教員全員で指導するという一体感が得られる。
小学校	きめ細かな対応が可。
小学校	一人一人きめ細かな指導が可能。
小学校	一人一人にスポットを当てた取り組みを計画、実行することができる。
小学校	一人一人に行き届いた教育ができる。
小学校	一人一人に手厚い教育をしたり、家庭とも繋がりやすい。
小学校	一人一人に丁寧に接し、学力向上を図りやすい。
小学校	機動力のある学校運営。地域との密着感。
小学校	個に応じてきめ細かく指導できる。
小学校	個別な指導がしやすい。
小学校	行き届いたきめ細かな指導ができる。
小学校	仕事量が減る(打ち合わせ、調整することが減る)。
小学校	指導が行き届くこと。
小学校	大規模校の裏返し。
小学校	丁寧に指導することができる
小学校	目が届きやすく、掌握しやすい。事務作業が早く終わり、教材研究や生活指導などに時間が使える。
小学校	学校運営への参加意識が強くなる。研究が進み、効果が出る。
小学校	少人数で一人一人の児童について、きめ細かな指導や支援ができる。
小学校	お互いいろいろな意味で仲良くなれる。一人の子どもにじっくり関わられる。
小学校	きめ細かい指導ができる。
小学校	きめ細かい指導ができる。
小学校	きめ細かい指導ができる。保護者との繋がりがつけやすい。
小学校	きめ細かく指導でき、学力向上を保障しやすい。
小学校	きめ細かな指導ができる。
小学校	きめ細かな指導が行える。
小学校	きめ細かな指導と個に応じた支援ができる。
小学校	きめ細やかな指導ができる。学年以外の児童の認識がしやすい。
小学校	どの教員も学年を越えて子どもたちを知ることができやすい。
小学校	まとめやすい。
小学校	ゆっくり子どもと接しられる。
小学校	ゆったりと個に応じた丁寧な指導ができる。
小学校	ゆとりを持って児童に関わることができる。
小学校	一学級当たりの事務処理が少なく、1人に目をかけられる。
小学校	一人一人がよく見える。
小学校	一人一人が見えやすい。連携が取りやすい。
小学校	一人一人が見えやすく、きめ細やかな指導ができる。
小学校	一人一人に応じて、ゆっくりと指導することができる。心にもゆとりがある。
小学校	一人一人に合ったきめ細かい指導ができる。
小学校	一人一人に合った指導・支援ができる。
小学校	一人一人に合わせた計画が立てられる。子どもと毎日じっくりと関わられる。
小学校	一人一人に対してきめ細やかな指導ができる。
小学校	一人一人に目が行き届き、学力の充実が図れる。
小学校	一人一人に目が行き届き、丁寧に関わりができる。
小学校	一人一人に目が行き届く。フットワーク軽く、行事が組める。
小学校	一人一人に目が届き、きめ細やかな指導を行いやすい。
小学校	一人一人に目が届きやすい。学力を保障しやすい(個別支援)。
小学校	一人一人に目が届く。
小学校	一人一人の顔と名前を一致させ、理解しながら指導に当たることができる。
小学校	一人一人の細かい所まで目が行き届き、手厚いサポートができる。
小学校	一人一人の子どもがよく見えることにより、学力や生活面でサポートを強くすることができる。

小中別	小規模校×強み×教員の立場から
小学校	一人一人の子どもの様子を見ることができる。
小学校	一人一人の子にじっくりと向き合うことができる。
小学校	一人一人の児童について、深く理解し指導できる。
小学校	一人一人の児童理解がしやすい。
小学校	一人一人の実態に合わせた指導がじっくりできる。リーダーとして活躍させる場が多く持てる。
小学校	一人一人の良さや変容が捉えやすく、指導の手立てが打ちやすい。
小学校	一人一人へのきめ細かな対応ができやすい。
小学校	一人一人への目が届きやすい。子どもの成長が掴みやすい。
小学校	一人一人を丁寧に見て、支援できる。良さを伸ばす指導ができる。
小学校	一人一人を丁寧に見てやることできる。
小学校	会議の回数が少なく済み、放課後学級事務に当たれる。
小学校	各個人の個性が発揮しやすい。
小学校	学級での業務量が少ない分、校務や学習の準備がしやすい。予定変更や突然に起こったことでも対応はしやすい。生徒指導の事象など少なく、積極的な生徒指導がしやすい。
小学校	学級内の人数が少なければ、教師の目が行き届く、きめ細やかな指導ができる。成績処理に掛かる時間の減、教材研究などに当てられる。
小学校	学校行事や活動が少人数のため取り組みやすい(設定しやすい)。教材、教具が余裕を持って使える。
小学校	学習をきめ細かく見られる。
小学校	学習面・生活面共にきめ細かに指導できる。
小学校	学習面で個別に対応しやすい。児童との関わりが深められる。
小学校	学年間のコミュニケーションがすぐ取れる。
小学校	教員のチームワークが良い。
小学校	教員の考えを十分に指導に活かせる、独自の教育が行いやすい。
小学校	教師間の意思疎通が図りやすい。児童一人一人に目が行き届く。
小学校	教師同士の連携が取りやすい。
小学校	教職全員が一致団結しやすい。一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導が行える。施設など、ゆとりを持って使用できる。
小学校	極細かく一人一人をゆとりを持って指導することができる。一人一人に目が行き届く。
小学校	個に応じたきめ細やかな指導ができる。
小学校	個に応じた指導を全教職員共通理解のもと徹底。
小学校	個の理解がしやすい。きめ細かい指導ができる。
小学校	個を活かしたり、個に応じた指導がしやすい。
小学校	個々がよく見え、個に応じた指導ができる。その時間が確実に取れる。
小学校	個々の指導が徹底できる。
小学校	個々の児童に目や手が行き届く。
小学校	個々の児童の指導の充実。
小学校	個別に対応できる時間が多く取れる。採点が早くできる。持ち帰りの仕事が少ない。
小学校	個別指導ができる。丸付けが少ない。成績処理が早い。
小学校	個別支援ができる。丸付け、成績処理に掛かる時間が早くなる。
小学校	行事の準備や計画段階でみんなが共通理解し、みんなで活動ができる。
小学校	行事練習などしやすい。考えが偏る。互いに知り合えた中で4月のスタートが切りやすい。
小学校	高学年のリーダー性を育てる上では、しやすい面がある。
小学校	仕事の打ち合わせが少なく、残業が減りそう。
小学校	子どもたちと深い関わりが持てる。単学級なら異学年の先生方と協力できる。
小学校	子への対応が行き届く、(隣接)学年の繋がりが深く、系統性を立てて指導できる。
小学校	児童のトラブルが少ない。一人一人に目が届く。
小学校	児童一人一人に沿った教育実践を進めることができる。
小学校	児童一人一人に対して目が届き、きめ細かな指導ができる。
小学校	児童一人一人に目が行き届き、きめ細かな指導ができる。
小学校	児童一人一人に目が行き届きやすい。一人一人が実験器具を操作できる。←数が限られているので、人数が多いと難しい。
小学校	児童一人一人に目が届き、細かい指導(時間)が取りやすい。いろいろな企画(特活など)について、教師間の連携が取りやすく、早い。
小学校	児童一人一人に目が届きやすく、比較的きめ細かな指導が行える。
小学校	児童一人一人の課題に時間を掛けて向き合える。

小中別	小規模校×強み×教員の立場から
小学校	児童一人一人を全教職員できめ細かく見ることができる。
小学校	自分の思うペースで教育できる。
小学校	手厚く見れることができる。
小学校	小回りが利き、様々な行事ができる。
小学校	全員の児童を把握することができる。他の学年の児童への関わりができる。
小学校	全校児童のことをよく知り、一人一人の良さを認めてあげられる。
小学校	全校児童の把握ができる。
小学校	打ち合わせなど、時間が短縮できる。
小学校	地域や保護者と密な連携が取れる。
小学校	特別支援が必要な児童の支援ができる。
小学校	目が行き届きやすい。
小学校	目が行き届きやすい。
小学校	目が行き届く。校内が静かで指導が行き渡りやすい。
小学校	目が行き届く。事務的な仕事(丸付けなど)が少なくなるので、教材研究する時間がしっかり取れる。
小学校	目が届きやすい。
小学校	目が届く、丁寧に見れる。
小学校	連絡事項が早く全員に行き渡る。
小学校	アットホームな雰囲気。
小学校	きめ細かい指導ができ、一人一人に目が行き届く。
小学校	きめ細かい指導を行うことができる。
小学校	きめ細かな指導が行き届く。
小学校	きめ細かに見られる。適切な支援ができる。
小学校	きめ細やかな指導ができる。
小学校	きめ細やかな指導に当たれる。一人一人をしっかり見ることができ、より深い児童理解に繋がる。
小学校	一人一人にきめ細かな指導支援を行うことができる。また、活躍の場を保障しやすい。
小学校	一人一人の児童に丁寧にに関わり、声を掛けられる。より多くの児童を理解することができる。
小学校	一人一人への対応に時間が保障されやすい。
小学校	学年、学校全体で子ども一人一人の良さや課題を共有しながら取り組める。
小学校	個々にきめ細やかな支援ができる。
小学校	個々の児童に丁寧にに対応できる。全校児童の様子を共有し、複数の目に対応できる。
小学校	個々への細やかな対応。施設・設備を多く有効に活用できる。学習活動を計画的に進めやすい。
小学校	個別指導の充実。個の指導力で行き届く取り組みを充実させる。
小学校	指導者の指導方針を一致しやすい。お互いの動きがわかりやすい。
小学校	児童一人一人に深く関われる。
小学校	児童一人一人の習熟度や個性に応じた指導がしやすい。
小学校	全体に目を向けられる。連携しやすい。
小学校	目が行き届く。共通認識のもと指導ができやすい。きめ細かな指導ができる。保護者により密な連携が取れる。
小学校	目の行き届くことが増える。個に対応する時間が増え、指導方法も充実する。
小学校	一人一人と人間関係を築きやすい(児童・保護者全員の顔がわかる)。
小学校	一人一人に目が行き届きやすい。
小学校	個別指導がしやすい。アットホームである。
小学校	事務作業がゆとりを持ってできる。トイレや手洗い場などの衛生環境作りがしやすい。
小学校	児童一人一人にきめ細かい指導ができる。
小学校	児童一人一人に教職員の目が行き届きやすい。
小学校	児童一人一人に対し、きめ細かな指導や対応ができる。
小学校	小規模なので取り組みの決定が早く、浸透もしやすい。
小学校	全職員が全児童のことを知っている(アレルギー、家庭状況など)。
小学校	大規模校に比べ、作業量が少なく負担にならない。
小学校	1人ずつをじっくり指導できる。
小学校	個をしっかり捉え、個別の指導がしやすい。
小学校	児童の一人一人に教職員の目が行き届きやすく、きめ細やかな指導が行える。
小学校	集団に合わせた指導内容方法が可能になる。
小学校	きめ細やかな指導ができる。
小学校	一人一人に目が行き届き、細やかな対応ができる。

小中別	小規模校×強み×教員の立場から
小学校	一人一人の細かい所が見れる。
小学校	一人一人の子どもと密に関わることができる。
小学校	一人一人の児童に対して目が行き届く。
小学校	教職員の結びつきが深くなる。
小学校	系統的に児童の成長を見ることができる。
小学校	子どもたちのことを把握しやすい。地域との連携が密になる。事務処理など短時間で済む。
小学校	子どもへの目が行き届けられる。
小学校	丁寧に指導できる。教材など一人一人に十分に割り当てられる。
小学校	丁寧に接することができる。
中学校	一人一人にきめ細かな指導ができる。教職員全員が全校生徒に目を配りやすい。
中学校	一人一人に目が届く。
中学校	行事などの準備・運営が短時間に効率的に行うことができる。
中学校	深い人間関係を作れる。
中学校	生徒一人一人に目が行き届き、各種の指導もきめ細かく行うことが可能となる。クラス数が少ないため、施設面で不足することがなく、余裕がある。小回りが利くため、校外活動面で工夫できる範囲が広い。
中学校	目が届きやすい。
中学校	1つ1つの活動に小回りが利く。
中学校	1つのことをやらしきりやすい。
中学校	いろいろな経験をさせてもらえる。
中学校	きめ細かな指導(一人一人に関わる)がしやすい。
中学校	きめ細かな指導ができる。
中学校	きめ細やかな学習指導ができる。
中学校	きめ細やかに指導できる。
中学校	きめ細やかに全校生徒に声掛け指導ができる。
中学校	まとまりやすい。
中学校	より一人一人に応じた対応ができる。
中学校	一人一人に教職員の目が届きやすく、きめ細やかな指導が行える。
中学校	一人一人に指導をきめ細かくできる。
中学校	一人一人に目が行き届き、丁寧な指導ができる。
中学校	一人一人のニーズに合わせて教えることができる。丁寧な指導ができる。
中学校	一人一人の生徒と関わりを持つ機会が増える。
中学校	一人一人の生徒を指導しやすい。目が届きやすい。
中学校	一人一人の理解ができ、全校の生徒に声掛けや励ましをしやすい。
中学校	一人一人への支援体制が取りやすい。
中学校	一人一人をよく見れる。
中学校	学年、クラスに拘らず、生徒との関わりが密になる。
中学校	教師の目が届きやすく、手厚い対応ができるのではないと思う。
中学校	決め細かい指導、ほぼ個別の指導ができる。
中学校	個に対応する時間が取りやすい。目が届く。
中学校	個々の生徒に目が行き届きやすい。
中学校	個々の対応が丁寧にでき、寄り添える関係が作りやすい。
中学校	個別の生徒指導がしやすく、生徒を動かしやすい。
中学校	細かい指導ができそう。
中学校	細かく見ていくことができる。
中学校	細やかな指導ができる。
中学校	自分の思いを指導しやすい。
中学校	自分の思ったことを行動に移しやすい。たくさんの研修ができる。
中学校	集団行動が容易であり、動きやすい。
中学校	深い教材研究。
中学校	生徒一人一人が見えやすい。
中学校	生徒一人一人と向き合う時間が確保しやすい。
中学校	全ての生徒を全教師で見守り、変化に気づけ、対応が後手に回りにくくなる。
中学校	全教員が生徒・児童と係ることができる。
中学校	多様な授業形態ができる。
中学校	目が行き届きやすい。一人が学年全てのクラスを教え、指導内容を統一できる。

小中別	小規模校×強み×教員の立場から
中学校	目が行き届く。
中学校	きめ細かく、アットホームな雰囲気です授業や行事を行うことができる。
中学校	きめ細かく指導できる。個に適した指導。
中学校	きめ細かく生徒を見ることができる。
中学校	一人で学年を全て担当することができ、自由度が高まる。
中学校	一人一人きめ細かく指導できる。
中学校	一人一人に目が届き、きめ細かい指導ができる。
中学校	一人一人に目が届く。丁寧な指導ができる。
中学校	一人一人のことが大規模校よりもわかりやすい。
中学校	一人一人の生徒の状況を把握して、対応しやすい。
中学校	一人一人の生徒を丁寧にみてやることができ、内面に迫れる指導ができる。
中学校	一人一人をよく見られる。
中学校	学年を越えて課題を把握しやすい。
中学校	教科指導、生徒指導において丁寧に一人一人の生徒に対応できる。
中学校	個々に応じた教育(手が行き届く)。
中学校	個々の生徒と関わりを持ちやすく、理解を深めやすい。
中学校	個々の生徒に関わることができ、生徒理解がしやすい。教職員が全校生を知ることができる。
中学校	個々の生徒に目が行き届く。
中学校	細かく対応できる。
中学校	子どもに目が行き届きやすい。多くの学習機会が与えられる。
中学校	指導が細かくできたり、いろいろさせてあげられる可能性が広がる。
中学校	小規模校だからできる活動ができる。
中学校	人間的な強い絆で指導ができる。
中学校	生徒が掴みやすい。
中学校	生徒一人一人に対応しやすい。指導に余裕が持てる。
中学校	生徒一人一人に目が行き届くこと。
中学校	生徒一人一人を把握しやすい。
中学校	生徒理解を深めることができる(情報の共有も)。学年が上がるにつれ、生徒と教師、学級の繋がりも強くなるため、より高いレベルの活動がやりやすくなる(経験させることができる)。環境や設備の面で小回りが利くので、時間などが短縮できたりする。
中学校	設備利用に余裕があるから、いろいろな工夫ができる。
中学校	全員の個性を把握し、能力に応じた教育が可能。
中学校	全学年生徒と関わる事ができる。
中学校	全教職員の一体感がある。
中学校	全校職員が全生徒の教育に関われる体制が作れる。
中学校	全校生徒と関われる。
中学校	全体の管理がしやすく、対応もスピーディーに行える。
中学校	地域に密着した指導や教育がしやすい。
中学校	仲間同士の絆を築きやすい。
中学校	部活数が多く、様々な分野のクラブで生徒を活躍させることができる。
中学校	きめ細やかな指導。
中学校	一人一人の子を丁寧にみることができる。
中学校	一人一人の生徒を深く理解し、丁寧に指導できる。
中学校	きめ細かく見ることができる。
中学校	よく相手のことがわかる。学年関係なく交流できる。
中学校	学校体制で何事も取り組むことができる。
中学校	縦横の繋がりが密な所。全職員で取り組める。生指も学習指導も。
中学校	いろいろな分掌を複数受け持たざるを得ないため、様々な経験が積める。個々の子どもとの結びつきが強い。
中学校	きめ細かな指導ができる。
中学校	きめ細やかな対応ができる。
中学校	個に合わせた指導ができる。
中学校	細かな指導、個別の指導ができやすく、一人一人を丁寧に指導できる。
中学校	全校生徒の把握ができる。

(7) 小規模校 × 弱み × 児童・生徒の立場から考える意見

表 7 小規模校×弱み×児童・生徒の立場から〈学校関係者調査〉

小中別	小規模校×弱み×児童・生徒の立場から
小学校	サッカーや野球など一定の人数が必要なゲームができない。
小学校	強み(きめ細かな関わり。確かな学力。落ち着いた生活。)の逆。
小学校	刺激が少ない。
小学校	集団が形成しにくい。
小学校	集団が変わらないので、人間関係が固定する。
小学校	集団における位置の固定化。
小学校	集団の中で人間関係が固定化してしまう。
小学校	人との関わりが固定化しやすい。
小学校	人間関係が詰まってきた時に退避することができない。多様な考えに触れることが少なくなる。
小学校	人間関係が固定される。
小学校	人間関係が固定化。力関係が固定化。
小学校	人間関係の固定化。競争意識の低さ。
小学校	多様な考え方が持てず、社会性に弱さがある。受身的な傾向がある。
小学校	大規模校の裏返し。
小学校	友達関係の固定化、逃げ道のない閉塞感。
小学校	人間関係が固定化され、児童が互いに切磋琢磨することが薄れる。
小学校	友達との関係が一度崩れると改善が難しい。
小学校	あまり少なすぎるとグループ活動が充実しない。
小学校	いつも同じメンバーで、亀裂が入ると修復しにくい。競い合う力が身に付かない。
小学校	いつも同じ人間関係なので、変わり映えがない。
小学校	いろいろな面で刺激が少ない(スポーツ)。友達人間関係の固定化。
小学校	きめ細やかな対応のせいで依存心が強くなる。
小学校	クラスが固定されてしまい、人間関係が難しい。
小学校	ドッジボールの人数が足りないなど活動に制限がある場合がある。
小学校	みんなで作り上げる喜びが小さい。
小学校	ライバル心や強くなる力が弱い。
小学校	委員会やクラブ活動が限られてくる。
小学校	意見を深めることに限りがある。
小学校	井の中の、になることがある。
小学校	一度できた人間関係がずっと続く。なかなか崩れない。
小学校	運動能力(球技など)が弱い。
小学校	何をするにも少ないと限度がある。
小学校	学級での関係が一度崩れると、立ち直ることが難しい。
小学校	学級での係活動などがしにくいことがある。
小学校	学級内の人間関係が固定化しやすく、保護者の見方も変容しづらい。
小学校	学習、生活における情報・刺激が少ない。
小学校	関係性ができあがっているの、イメージを脱却できない。輪が広がりにくい。授業の意見が広がらない。
小学校	競い合うことが少ない。
小学校	決まった人間関係を直すことは難しい。
小学校	固定されたグループができると、その仲を変えるのが大変。一度こじれると元に戻るのに時間が掛かる。
小学校	固定化してしまう(個の存在、位置)。
小学校	固定的な人間関係となってしまうがち。
小学校	交友関係が一度こじれると居づらくなる。
小学校	考えが広がりにくく、視野が狭くなりがち。友人関係が固定しがち。
小学校	高い目標を設定しにくい。
小学校	子ども一人一人の関係が固定されすぎる。
小学校	視野が狭くなる。
小学校	児童、保護者の人間関係が固定化される。
小学校	児童の目当てが低い所で留まる気がする。
小学校	児童間で揉まれることが少ない。人間関係が上手いかわないと、ずっとそれを引きずることになる。
小学校	自ら切り開いていこうとすることより、誰かに助けてもらおうとする気持ちが強い。

小中別	小規模校×弱み×児童・生徒の立場から
小学校	自分と合わなくなってしまうと居場所が見つけない。
小学校	自分の価値観が固定されすぎたり、様々な考え方を知る機会が少なくなる。
小学校	自分を主張しすぎ、多人数の中で気持ちをコントロールするという経験が持てず、わがままを出してしまいがち。
小学校	社会(大学、高校)に出た時に、対人関係が心配。(この子はこういう子とわかってもらえてるから)
小学校	集団から好ましい行動を学んでいきにくい。
小学校	集団が大きくなった時の対応を学ぶ機会が少ない。
小学校	集団での経験値を育めない。競争意識(人間関係の固定化)。
小学校	集団としての成長や相乗効果が得にくい。いつも特定のメンバーとしか関わっていないので、新人間関係を作っていく経験ができない。
小学校	集団としての動きが取りにくく、意識も個人へ向く。
小学校	集団の固定化が良くない場合がある(固定化で安心できるとも言えるが)。
小学校	集団の中で揉まれないので、大勢の前に出た時の弱さがつく。特活面での制限が出る。
小学校	集団行動が苦手。大人に頼りやすい。同じ人間関係で、リセットできない。
小学校	小さな交友関係。例えば同級生がいなかったりすると、同世代の人間とのコミュニケーションの取り方を学ぶ際、弊害となり得る。
小学校	少集団の中でわがままが出やすい。
小学校	人間関係(序列)が固定化しています。
小学校	人間関係が気詰まりになる場合がある。
小学校	人間関係が固定され、友好的な繋がりを持てていない時は辛いものがある。
小学校	人間関係が固定される。
小学校	人間関係が固定してしまい、新しい発想が生まれにくい。
小学校	人間関係が固定化。変わりたくても変われない…という状況になりやすい。
小学校	人間関係が固定化されやすい。
小学校	人間関係が固定化されやすい。
小学校	人間関係が固定化される。
小学校	人間関係が固定化される。
小学校	人間関係が固定化し、行き詰まった時など苦しい状態になりやすい。多様性、広がり欠ける。
小学校	人間関係が固定化して、しんどい関係が続いてしまうかもしれない。
小学校	人間関係が固定化してしまい、なかなかリセットしにくい。
小学校	人間関係が固定化してしまう。
小学校	人間関係が固定化しやすい(1～6年まで同じ集団)。切磋琢磨しにくい。
小学校	人間関係が固定化しやすい。
小学校	人間関係が固定化しやすく、友達が広がりにくい。より良いライバルが作りにくい。
小学校	人間関係が固定化する。保護者の関係が子どもの関係に影響しやすい。教師の目が届きすぎ、自由が少ない。授業の中で多くの意見に触れることができない。
小学校	人間関係が広がりなく、固定化してしまう。多様な考えを持って広がりにくい。
小学校	人間関係に変化がないので、その子に持つイメージが変えられない。
小学校	人間関係の固定化。
小学校	人間関係の固定化。クラス替えがないので、新鮮味に欠ける。
小学校	人間関係の固定化による上下関係がきつい。
小学校	人間関係の構築の面での幅の狭さ。
小学校	人間関係の幅が狭いので、社会に出た時にコミュニケーション力不足で困るのでは…。
小学校	人数が少ないと取り組みも限られてしまう。
小学校	人数が少なく刺激を受けにくい。多様な教育の機会が少ない、限定される。
小学校	盛大な行事ができにくい。
小学校	先生への甘え。
小学校	多くの友達と触れ合えない。
小学校	多様な意見や考えなど交流することができないため、考えや意見が固定化されやすい。多人数でゲームや遊びができないため、遊びやスポーツなど制限されてしまう。
小学校	多様な考えに触れられない。
小学校	多様な考えに触れられない。
小学校	多様な人間関係を築く機会が少なくなる。
小学校	対人関係が希薄になる。
小学校	大きな集団でのダイナミックな取り組みや経験ができない。

小中別	小規模校×弱み×児童・生徒の立場から
小学校	単学級などは集団内の位置が固定化され、変化することが難しい。
小学校	団体での遊びなど人数が足りない。人間関係に変化がない。
小学校	偏った人間関係。個の能力差を感じやすい。慣れ合いになってしまう。広い社会で生きていきにくい。
小学校	変化のない人間関係が、進学後など社会が広がった時に困難が生ずる場合がある。
小学校	友人関係が固執してしまう。多様な意見を聞く機会が少ない。
小学校	友達が少なく固定する。集団遊びの種類が少なく、揉まれにくい。
小学校	友達との交流が限られてしまう。
小学校	友達の輪が広がりにくい。
小学校	友達関係が固定化されてしまう。
小学校	友達関係が固定化してしまう。
小学校	友達関係が広がらない。
小学校	友達関係を変えにくい(集団が変わらない)。
小学校	様々な考え方の持ち主に出会えない。
小学校	揉まれにくい。
小学校	(教員の数に限りがあるが)柔軟に使えるスペースがあり、安定が図れることが多い。
小学校	1年～6年までの人間関係が固定され、慣れ合いになったりする。
小学校	クラス替えがないので、人間関係が固定的になりがちになる。
小学校	よく知った友達関係で、一度持った先入観・上下関係を崩しにくい。
小学校	井の中の蛙とならぬよう、注意がいる。
小学校	競争意識が弱い。
小学校	競争意識が低く、向上心を高く設定しにくい。人間関係のこじれ、修復が難しい。
小学校	行事などにできないことが多くなる(運動会種目、音楽会)。人間関係が固定化される。
小学校	刺激が少ない。
小学校	集団が小さく、また固定化されてしまう。
小学校	集団が変わらず、固定した見方が続いてしまう。
小学校	親や教師など大人との関わりが増えるが、子供同士の人間関係を築く力がつきにくい。
小学校	人間関係が固定してしまうこともある。
小学校	人間関係が固定化されやすく、なかなか状況が打破できないことがある。
小学校	人間関係が固定化されるのではないか。
小学校	人間関係が固定化し、集団が閉塞化しやすい。
小学校	人間関係の固定化。
小学校	友だち関係が崩れると、立て直しがききにくい。
小学校	友達との関わりが変わらない。
小学校	友達関係が固定される。互いに見方が変わりにくい。授業での練り合いができてにくい。
小学校	友達関係が固定しがちになる。
小学校	きめ細かく指導してもらえるが、教職員に頼りすぎる面もあると思う。人間関係の再構築が難しい。
小学校	クラス替えがなく、同じメンバーで学年が上がっていくため、固定した考えで友達との付き合いが進んでいってしまう。
小学校	クラス替えもなく、人間関係が固定されたままになる。ありのままの自分が出せない子もいる。集団遊びが成り立たないことがある。
小学校	競争心が育ちににくい。同じ人間関係で長い期間を過ごすため、個々のイメージが固定化してしまう。
小学校	固定化された人間関係で、協調性が身に付きにくい。
小学校	人間関係が固定化する。活動(クラブ、委員会など)の幅が狭い。
小学校	人間関係につまずくと逃げ場がない。
小学校	切磋琢磨する機会、多様な考え方に触れる機会が少ない。大きな集団に入ると萎縮してしまう場合がある。小さい時から固定した人間関係で過ごさなければならない(人間関係に変化がない)。
小学校	友達との力関係が固定化しやすい。
小学校	クラス内の人間関係が固定されがち。社会性が育ちににくいこともあり得る。
小学校	たくさんの人と関わり合うチャンスが少ない。
小学校	競争意識が薄れ、児童が互いに切磋琢磨しなくなり、たくましさなどが育たない。
小学校	大勢の前や大勢の中で自分が出しにくい。
小学校	クラス替えなど、子ども間の関係の変化が貧しい。
小学校	一人一人の児童のイメージが固定してしまい、“変わりたい”と思ってもそのチャンス・タイミングが難しい。
小学校	競争がない。

小中別	小規模校×弱み×児童・生徒の立場から
小学校	人との繋がりは強くなるが、世界が広がりにくい。
小学校	人間関係が固定される。
小学校	人間関係が固定化して、ひずみが生まれると改善の手立てが難しくなる。
小学校	人間関係が固定化する。
小学校	体験が制限される。人間関係も限られる。
小学校	友達に対する思いが固定されてしまう。そのため競争心も薄れる。
小学校	友達関係が広がらない。
中学校	限られた人間関係のため、上手いかない時に逃げ場がない。部活動の種類が少なく、自分の思いの部活ができるとは限らない。行事などでは小規模とならざるを得ない。他者に頼りがち。
中学校	固定化された人間関係で成長が妨げられる。
中学校	人間関係が固定化される。
中学校	人間関係が固定化しやすく、変化しにくい。
中学校	部活の人数、種類が少なくなる。
中学校	友達関係が固定化されてしまい、社会性が育ちにくい。
中学校	お互いに高め合い、良い意味での競争心が育たない。人間関係が固定化される。
中学校	コミュニティが小さい。
中学校	一度決まったパーソナリティや力関係から抜け出せない。
中学校	関係が悪化すると修正しにくそう。
中学校	競争心などに欠ける。
中学校	限られた人とししか関われない。
中学校	固定の人間関係になってしまう。
中学校	行事・部活動など十分に行えないこともある。
中学校	高校から上手くやっていけるか。狭い世界。
中学校	周りがいろいろに干渉してくるので、疎ましく感じる。人間関係が固定化されるので、そこから抜け出せない。
中学校	集団が固定化され、序列化や階層化しやすい。
中学校	集団で大きなことを成し遂げる達成感を味わいにくい。
中学校	小学校からの人間関係を引きずる。
中学校	小学校や幼・保の頃からの人間関係から抜け出せない。
中学校	人間関係が悪くなると居づらい。
中学校	人間関係が限られている。
中学校	人間関係が固定し、トラブルが長期化しやすい。一人の生徒が多くの仕事をしなければいけない。
中学校	人間関係が固定しがちになる。
中学校	人間関係が固定してしまい、変化しにくい。
中学校	人間関係が固定化され、仲間外れなどが解消されにくい。学校行事が行いにくい場合もある。
中学校	人間関係が固定化されがち。多様性がない。
中学校	人間関係が固定化される。
中学校	人間関係が固定化してしまう。
中学校	人間関係が固定化する。
中学校	人間関係が変わらない。
中学校	選べる部活動が少ない。
中学校	多数の中に入ると気後れを感じるかもしれない。
中学校	多様な考えに触れる機会が少ない。
中学校	多様な人との関わりが持ちにくい。同グループでの人間関係になりがち。
中学校	多様な人間関係を築けず、一度こじれると修復が難しく、薄まることができない。
中学校	多様性が育ちにくい。
中学校	大規模校に進学時に、多さに適合できない者が出てくる。
中学校	仲間関係(友人)を広げることが困難。
中学校	発想や価値観が狭くなりやすい。
中学校	部活に限られている。交友関係に限られている。
中学校	閉鎖的な人間関係しか作れない。
中学校	友人関係、部活など多くの面で狭い。
中学校	クラブなどの選択肢が減る。
中学校	それぞれの場面で。

小中別	小規模校×弱み×児童・生徒の立場から
中学校	たくさんの友達との出会いがない。人間関係が固定的。大規模な行事を作り上げ、味わうことができない。グラウンドなどが狭かったりして、伸び伸びとした活動ができない(正規の大きさでなかったりする)。
中学校	なあなあの関係。
中学校	競争意識が下がる。状況によっては目標が下がることもある。
中学校	競争心が起きにくい。
中学校	狭い世界しか知ることができない。
中学校	固まった(限られた)人間関係。
中学校	固定された人間関係から脱却できない。
中学校	行事などで集団で何かを作り出す時に、パワーが出にくい。
中学校	行事や活動の選択肢が少なくなる。人間関係に変化がない。
中学校	行事を盛り上げるのに負担が大きい。例:体育祭などでは休む時がなくなる。
中学校	集団が同じなので、人間関係の修復が難しい。部活動の選択範囲が狭い。人数が少ないので、活動が制限される。
中学校	小さい集団の経験しか積めない。
中学校	小中の人間関係のまま学校生活を過ごすことにより、高校生活で人間関係づくりに困ること。
中学校	人間関係がこじれても変化しない。縦社会がしやすい。
中学校	人間関係が固定されて、競争心が弱くなったりする。
中学校	人間関係が固定されてしまい、考えや視野が広められにくい。
中学校	人間関係が固定しがち。変化を持たせにくい。上級学校に進学した時に、多人数の中でしっかりとやっていけるのか心配。
中学校	人間関係が固定化される。
中学校	人間関係が固定化する。部活動の選択の幅が狭い。
中学校	人間関係でこじれると修復がききにくい。
中学校	人間関係の躓きを立て直しにくい。競争意識が高まりにくい。
中学校	生徒同士の刺激が少ない。
中学校	先生の目が常にある。
中学校	負の人間関係が固定化しやすい。
中学校	部活数が少なく、限られたクラブの中から選択するしかない。
中学校	部活動などにおいて制限される。人間関係が固定化されやすい。
中学校	部活動に制約がかかる。
中学校	友人関係に幅が持てない。個人の負担が増える。部活動に支障が出ることもある。
中学校	友達関係が上手く行かなくなると、他のグループなどに行きにくく、不登校になる子が多い。
中学校	幼い時からの人間関係に縛られることがある。
中学校	揉まれていないので、人間関係で躓きやすい。競争に弱い。
中学校	学力や体力などの順位がはっきりしすぎて、低い位置の子の頑張りがきかなくなる。
中学校	競争心が低く、自分の固定された位置から出ようとしない。
中学校	人間関係が変化しにくく、一度こじれると難しい。
中学校	人間関係が固定してしまう。
中学校	クラスのメンバーの入れ替わりが少ない、もしくは同じメンバー。部活動でチームが組めなかったりする。
中学校	小学校からずっと同じ人間関係が続く。
中学校	人間関係に広がりが見られない。
中学校	クラス替えがない。孤立した時、厳しい。長期間同じメンバーで過ごす。
中学校	少ないので、一旦相手のことを決めつけてしまうと変えることができない。
中学校	人間関係など固定化される。
中学校	部活動が限られる。友人の固定化。
中学校	良い意味での刺激も少なく、モチベーションが低下しかねない。
中学校	好きな部活動が選べない。

(8) 小規模校 × 弱み × 教員の立場から考える意見

表 8 小規模校×弱み×教員の立場から〈学校関係者調査〉

小中別	小規模校×弱み×教員の立場から
小学校	「井の中の蛙」的な発想。ダイナミックさの足りない活動。
小学校	家族的な雰囲気になりやすく、集団意識を育成しにくい。
小学校	活気に欠ける。競い合ったり、意見を交流したりする面が弱くなる。
小学校	強み(機動力のある学校運営。地域との密着感。)の逆。
小学校	個が育つ集団の規模が小さい。
小学校	児童の人間関係に変化を持たせることが難しい。
小学校	児童一人一人の多様な考え方、能力による教育効果に限りが出てしまう。
小学校	授業に変化を持たせにくい。
小学校	集団として捉えるのではなく、個に焦点を当てすぎる指導になりがちである。
小学校	人間関係が固定しているので、同じ事象やトラブルを繰り返すことがある。
小学校	人間関係の固定化。競争意識の低さからくる向上心の弱さ。
小学校	多様な人間関係が成立しにくい。
小学校	大規模校の裏返し。
小学校	大勢で何かをする時の迫力や良さは生み出せない。
小学校	担当分掌が多くなったり、専門的に取り組めない。
小学校	長所を活かした運営の難しさ。
小学校	いろいろな経験ができ、若い間に指導力が付く。
小学校	単学級で固定化され、他学級との交流や相談する機会がないため、学んでいくことが少なくなる。
小学校	(アイデアが乏しく、昨年度と同様の流れになることが多い)仕事の負担が大きい(一人当たり)。
小学校	1人で多くの分掌を受け持つことになる(学年内の仕事も)。
小学校	いろいろな活動をするのに広がりを持ちにくい。
小学校	クラス替えがあまりないと、子どもの人間関係が大変。
小学校	クラス替えなど人間関係に変化を持たせられない。
小学校	リレー、運動会のチーム分けなど限りがある。中学校へ行ってからギャップが大きい(中学校生活に順応するのが難しい面も見られる)。
小学校	意見の広がりがない。動きが取りやすい。
小学校	一人に掛かる校務分掌が多く、負担である。
小学校	一人の負担が大きい。
小学校	一人の分掌の責任が増える。学年間での相談(分担)ができないため、担任業務も増える。
小学校	一人一人が見えすぎ、指導や支援の中で手を掛けすぎてしまう面がある。切磋琢磨して伸びていくことがしにくい。
小学校	一人一人の個性が集団を左右し、指導しにくい。
小学校	一人当たりの分掌が多い。
小学校	会議は少ないが、一人の負担が多く、若い先生には粘り合いの場がない。
小学校	学び合いに課題が出る(教師同士の)。
小学校	学校内の仕事は大規模校と変わらずあるので、大変である。
小学校	学年で相談することができないので、一人で悩むことが多い。
小学校	学年経営の上で相談したり、協力したりできず、自己流になりがち。
小学校	客観的に比較する対象が少ないので、甘くなってしまうこともあるかな?と。
小学校	競い合う心が育ちにくい。
小学校	競争したり、学校行事の盛り上げが難しい。
小学校	競争意識低下。
小学校	教員が少ないし、協力体制が組みにくい。
小学校	教員数が少ないことによる、分掌の割り当て、雑務などの負担の増。
小学校	教員同士悩みを相談し合う人が少ない。
小学校	教材研究などが進まない。
小学校	教師と児童の関係が固定化する可能性がある。指導も単調になりやすい。
小学校	教師同士の横の繋がりが弱く、1人で学年を作り上げないといけないプレッシャーが大きい。
小学校	固定的な見方をしてしまいがち。教員同士の人間関係に気を使いすぎてしまうかも…。
小学校	固定的な見方をしてしまわないよう十分配慮すべき。発表会などで多勢で作り上げる良さ、満足感などを考慮し、教育内容を十分考える必要がある。
小学校	固定的な人間関係ができた場合、修正しにくい(保護者同士も)。

小中別	小規模校×弱み×教員の立場から
小学校	孤独感。学び合いの場を設定することが難しい。
小学校	効率的に作業しにくく、個人の負担が大きい。
小学校	校務の分担が多くなる。
小学校	校務分掌がどうしても集中し、出張に行かれた先生の埋め合わせが大変。単級だと相談しづらい。
小学校	校務分掌が増える。
小学校	校務分掌が多い。出張が多い。事務作業が多い。
小学校	校務分掌などの負担が多い。
小学校	校務分掌の負担が大きくなる。
小学校	考え方に広がり生まれにくい。学年のことで相談する相手がおらず、指導の幅に広がりが出ない。
小学校	行事がこじまりとし、ダイナミックな経験をさせにくい。
小学校	行事などの場合、できることに限りがある。
小学校	行事の迫力が欠ける。
小学校	刺激が少なく、固定的な人間関係の中で子どもを変えていくのは、とても労力がいる。駅伝などのチームが組めず、自信を失うばかり。
小学校	子どもにしてやれる活動に限られる。1人の教師に校務分掌の割り当てが増え、仕事や会議をこなすだけになりそう。専門性も薄れそう。
小学校	子供同士の固定概念を崩すことが難しい。
小学校	指導法の交流がしにくく、視野が狭くなりがちである。
小学校	視野が狭くなりがちかもしれない。
小学校	事務的な作業の負担が大きくなる。相談する相手が少なくなる。
小学校	児童が自分の立ち位置を変えようとしにくい。変化なくエスカレーター式の人間関係になりがち。競争の原理が働きのにくい。
小学校	児童と児童の人間関係が固定化してしまう。
小学校	児童の多様な考え方に触れたり、お互い深め合ったりする機会が持ちにくい。
小学校	時間などがルーズになる。
小学校	自分の考えだけでしか教育できない。
小学校	自分流のやり方になり、偏る懸念がある。
小学校	授業づくりに難しさがある。行事などもできることが限られる。
小学校	集団としての弱さ。
小学校	集団の中で児童を見る視点が養われない。
小学校	人間関係が固定化され、社会性、協調性を学ぶにきがある。
小学校	人間関係が行き詰まった時に逃げ場がなく、苦しい(グループなどから抜けたり、変わったりできない)。
小学校	人間関係が深まりやすい反面、固定した児童観が児童の中にもあるため、友達関係が難しい。
小学校	人間関係が難しい。
小学校	人間関係に何となく序列がついてしまう。懸念を崩しにくい。
小学校	人数が少ないので、できることが限られてくる。
小学校	人数が少ないので、大きい取り組みができにくい。
小学校	人数が少なく、集団での活動を通して力をつけようと思っても設定しにくい。
小学校	人数が足りず、取り組めない学習、行事などが出てくる。
小学校	人数を必要とすることに取り組みにくい。
小学校	切磋琢磨できない。
小学校	相談したくても同じ学年の先生がいないので不安。
小学校	多様な教育の場に触れる機会が減る。
小学校	多様な考え方など伸ばしにくい。行事や校務の分掌が多く、仕事が煩雑になりやすい。教職員同士でも人間関係が濃くなりすぎて、上手く対応しにくい時がある。
小学校	多様な実践に出会い、学ぶ機会が少ない。
小学校	体育など単元によっては授業が成立しにくい。
小学校	体育のチームを組んでのゲームなど、指導が難しい。
小学校	大まかなたくましい行事ができない。
小学校	大規模校との指導法の大きな違いに戸惑う。
小学校	大集団での活動を経験させにくい(他校と合同で取り組みができるが)。
小学校	大人数だからこそできる学びや社会性において、遅れを取る気がする。
小学校	単学級が多く、自分の実践だけでは不安が残る。
小学校	単学級で一人での判断で学年運営をすることになりやすい。
小学校	単学級なので、教材研究など同じ学年で交流ができない。

小中別	小規模校×弱み×教員の立場から
小学校	担任の仕事量が増える。担任外の教員が少ない。
小学校	担任の抱える仕事量が分散されず、高学年の担任は行事も多いので大変。
小学校	同じ学年の人がいないと、指導力を高めることが難しいことがある。
小学校	同学年から学ぶことで成長できる面が伸びづらい。
小学校	発表会などワンパターンになることがあるかもしれない。
小学校	放課後の時間にある程度ゆとりがある。
小学校	様々な集団としての教育活動の幅が広がらない。
小学校	チームスポーツ(サッカーなど)が成立しにくい。集団の力が小さいので、問題行動に全体が流されやすい。
小学校	一人に掛かる分掌などが多くなる。
小学校	一人の担任が進めるので、閉鎖的な指導になりやすい。分掌が多岐にわたり、多忙。会議に人が揃わない。
小学校	一人当たりの仕事の分担や責任が大きくなる。
小学校	駅伝などの行事に参加するに当たって、希望者ではなく全員参加となってしまう。
小学校	何事に対しても取り組みが制限される。
小学校	学年がないので、相談ができない。
小学校	学年のクラスが1～2になると、教員自身も相談しながら指導したり、計画したりできにくい。
小学校	学年のことを一人で全てしなくてはならず、相談しながら一緒にすることができない。
小学校	活気がない!?
小学校	教育活動の幅を広げにくい。
小学校	教師と子どもの関係に慣れ合い的な面が生じてしまう。
小学校	教職員の数も少なくなるので、校務分掌の負担が大きい。
小学校	固定化した児童の見方から離れにくい。
小学校	校務分掌が多くなり、学級事務がなかなか捗らない。
小学校	行事の盛り上がり。
小学校	児童の特性の把握が一面的になりやすい。緊急時などにおいての、対応する教員数が少ない。
小学校	手厚い指導が行きすぎ、児童に必要以上の関わりを持つ(何がやりたいのか先に理解でき、行動してしまう)。
小学校	多くの考えに触れさせることが難しいので、他者を受け入れる力を育てにくい。
小学校	友だち関係が崩れると、立て直しがききにくい。学級運営について、ほぼ1人で行っていくため、偏りが出やすい。
小学校	1人に課せられる校務分掌が多く、課せられることが多い。行事を行う時の人手不足。
小学校	いろいろな意見が出にくい。競争意識が弱い。
小学校	一人でいくつものことを掛け持ちしなければならない。
小学校	一人に掛かる負担が大きい。
小学校	競争意識が高まりにくい。集団として様々な作品に取り組むことが大変である。
小学校	教職員数が少ないため、出張が重なったり何か事象が生じると、たちまち人手不足になる。
小学校	少人数では成立しない(するのが難しい)授業や行事の際、運営や指導に考慮を要する。
小学校	職員数が少ないため、一人で持たなければならない校務分掌が多くなる。そのため、出張も多くなってしまう。
小学校	人間関係が濃くなりすぎる(教員－教員、教員－保護者)。人手が足りない。
小学校	役割(校務分掌)が1人に任される。
小学校	あまり変わらない環境の中で大きくなるので、社会に出た時の不安が大きい。
小学校	みんなで深めていったり進めていったりする活動がしにくい。
小学校	校務分掌の負担が重くなる。
小学校	多様な考え方の教員に触れられないので、固定的な社会性や協調性が身に付きやすい。
小学校	チーム対抗など人数的に成立しない時があり、集団としての活動が組織できない。
小学校	パワーがない。
小学校	ライバル意識が育たず、共に高まり合おうとする意識が薄い。
小学校	一人一人の校務分掌が増えて多忙である。
小学校	競争心がない。
小学校	校務分掌を複数担うことになり、負担が増える。相談できる相手が限られてくる。
小学校	手厚くなる分、自立させるというより手立てを打つ(助ける)方に力点が置かれる。
小学校	対戦的(ゲーム)なゲームがしにくい。一人で全て学年のこと、校務もこなさないとはいけない。
中学校	リーダー性のある生徒が少なく、集団の質の波が大きい。

小中別	小規模校×弱み×教員の立場から
中学校	強化担当が少人数となり、授業がマンネリになる。
中学校	教職員一人一人の校務分掌や担当する授業の学年が複数に渡るなどの負担が大きい。
中学校	教職員数が少なく、専門外の教科指導や複数の分掌を担当することが生じる。担当する部署を一人で切り盛りすることが多く、その人が異動すると、ノウハウがごっそり失われる。システムとして動くことが難しい。
中学校	社会に通用する力をどのようにつけるか。
中学校	人間関係が固定化。
中学校	その先の集団生活に不安が残る(高校)。
中学校	一人一人の仕事量が多量であり、負担がものすごく掛かる。
中学校	教員の人数が少なくなりすぎる。
中学校	教員配置人数が少なく、仕事が負担になることが多い。
中学校	教科を掛け持ちしないといけない学校がある。
中学校	教師の数が少ないため、分掌の負担が大きい。
中学校	緊張感がない。
中学校	見えすぎるため、過保護になりがちになる。ルーズ(慣れ合い)になりやすくなる(気を緩めると)。
中学校	校務など一人一人に掛かる負担が多い。
中学校	校務分掌が多い。
中学校	校務分掌が多い。一人の教員が3学年を見たり、複数教科を持たねばならない。
中学校	校務分掌の多さ。事務作業の多さ。専門外教科の指導。同じ教科の先輩に相談できない。
中学校	行事の盛り上がり欠ける。進学して大きな集団に入ると、戸惑ったり落伍してしまう卒業生も多い。
中学校	社会性を育てにくい。
中学校	出張が多くなり、担任などの業務がしづらい。
中学校	職員数がすくないため、専門外教科の指導や、多数の学年を持ち、教材数が増え、準備・評価が大変である。
中学校	人間関係がこじれると修復しにくい。
中学校	人間関係が固定している。
中学校	人間関係が固定化することが多い。社会性の低下。
中学校	人間関係を変えられない。
中学校	人間関係を崩しにくい。
中学校	人手が足りなくなる。
中学校	世界が狭くなっている。生徒間の関係を広げさせるのは難しい。
中学校	生徒会、部活などで“人数”がネックとなり、十分な活動ができにくくなる。
中学校	生徒間の活動を盛り上げにくい。
中学校	多くの授業を考えないといけない。分掌が多い。
中学校	多数の仕事をこなさねばならない。
中学校	多様な意見が出ない。仕事量が多そう。
中学校	大きい取り組みができない。
中学校	部活の練習試合に出にくい。競争(生徒の)が少なくなる。
中学校	分掌が多くなる。
中学校	分掌が多そう。
中学校	様々な考え方が身に付かない。
中学校	様々な立場、個性の中で切磋琢磨する機会を作ることにより心を砕く必要あり。
中学校	良い意味での競争心を育むことができない。
中学校	連携がしづらい。多くのことを一人で抱えなければならない。
中学校	それぞれのクラブ顧問の人数が少なく、一人顧問のクラブの先生は日常の指導、大会役員、審判など、とても大変苦労されています。
中学校	ダイナミックな取り組みを持ちにくい。
中学校	たくさんの分掌や教科を担当しなければいけない。
中学校	リーダーなどがなかなかいなかったりする。
中学校	一人で何役も担当するので、総合的には把握できるが、1つに掛ける時間が減り、深く追求することがしにくい。
中学校	一人担当の教科がほとんどであり、教科部会ができない。
中学校	各学年1クラスずつしかないような状況になると、学校行事をするのにも支障をきたすようになる。
中学校	学習活動の内容によっては取り組めないことがある。
中学校	慣習や前年度通りの風調に流されがちである。

小中別	小規模校×弱み×教員の立場から
中学校	競争させても広がりを持たせにくい。
中学校	教科指導などチェックが働きにくく、独善的になりがち。校務分掌が複数になり、どっちつかずになる。
中学校	教師集団の人数が少ない。一人で多くの仕事を抱えなくてはならない。
中学校	個の生徒と接しやすいが、馴れ馴れしくなる。
中学校	校務分掌が一人一人の教員に集中する。
中学校	校務分掌が多いため、出張も多い。
中学校	校務分掌など組織的に動けていないのでは？教師間連携があまりない。
中学校	校務分掌の負担が大きい。
中学校	行事やクラブ活動に活気がなくなる。
中学校	社会に出るに当たっての集団での力を生徒につけるのが難しい。
中学校	集団の意識、規律について指導しづらい時が出てくる。
中学校	集団を動かす力が弱くなる。
中学校	小さい頃からの力関係がそのまま維持されてしまう。クラブなどもできるクラブが限られてくる。
中学校	人間関係でこじれると修復がききにくい。
中学校	人間関係にトラブルが起こった際の対処がやりにくい。
中学校	人数が少ない分、行事での多彩さやダイナミックさの部分で弱くなる。
中学校	生徒が安定していなければ、隅々まで見渡すことができないので不安。どのような取り組みをするのも、全教員でしなければならぬので、やることが多い。
中学校	生徒と教師の関係も疎く難しくなる。いろいろな分掌や教科を持つ必要が出てくる。
中学校	専門の教科じゃない人が勉強を教える。
中学校	専門教科以外も担当しなくてはならない。
中学校	全体がよく見える。校務が多くなる。
中学校	大規模で味わえる感動や達成感がない。
中学校	部活動、行事などにおいてリーダーの育成などが難しい。
中学校	複数の仕事を抱えるが、その数が多くなる。
中学校	複数の分掌を持たなければならない。
中学校	分掌の担当が自分一人であったり、いくつも掛け持ちであったりする。にも関わらず、大規模校と同じレベルの活動や結果を要求されるため、非常に過重負担が生じやすい。施設や設備などの環境が乏しい場合が多く、満点いく教育活動ができない場合がある。
中学校	分掌の分担が多い。
中学校	教員が減ることで、本務以外の仕事が増える。
中学校	行事など小さくまとまる所もあり。
中学校	人数が少なく、取り組みに支障がある授業の内容もあり、工夫が必要となる。
中学校	教師一人に掛かる負担が大きい。
中学校	一人の生徒に掛かる負担が大きい。一人で何役もする。
中学校	一人一人の仕事量が多い。
中学校	行事などで手が足りない。
中学校	経験値が上がらない。競争意識を持たすことが難しい。
中学校	少ないので、問題が生じるとなかなか立ち直らせにくい。
中学校	専門外の教科や部活を担当しなければならない。
中学校	非常勤講師や許可免で対応のため、負担が多い。1人1役以上、負担が多い。
中学校	固定した人間関係となる。